

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

μ PD17012GF-058FM, MW, LWチューナ（車載）用
PLL周波数シンセサイザおよびコントローラ

μ PD17012GF-058は全世界対応のPLL周波数シンセサイザ方式FM, MW, LWチューナ用に開発されたCMOS LSIです。

PLL周波数シンセサイザ・コントローラ・プリスケラ，および周波数カウンタを内蔵しているため，ディタッチャブル・タイプで電子ボリューム対応の車載用ステレオをはじめとした高性能な時計付きFM, MW, LWチューナがコンパクトに構成できます。

特 徴

全世界のFM, MWバンドおよび欧州のLWバンドが受信可能

AMアップコンバージョン対応

マニュアル・チューニング，オートチューニング（シーク，スキャン）およびプリセット・メモリ・スキャンなどの豊富な選局機能



6ボタンでFM18局（FM1, FM2, FM3各6局）MAX, MW12局（MW1, MW2各6局）MAX., およびLW6局MAX.の独立したプリセット・メモリ

FM：3, MW：2, LW：1のラスト・チャンネル・メモリ

“ST”（ステレオ）表示（MWバンド，“ST”表示可能）

MTL（METAL）のコントロール出力と表示

オートプリセット・メモリ機能

“”（コンパクト・ディスク）/ “”（カセット・テープ）表示

LOUD（ラウドネス）コントロール出力および表示

12時間または24時間表示の時計機能

外部LCDコントローラ/ドライバ（ μ PD7225）接続

プリスケラ，周波数カウンタ内蔵

リモコン受信機能（ μ PD6121使用時）

KEY部分またはKEY, LCDパネル着脱可能

電子ボリューム機能（I²Cバス対応）

アラーム機能

オーダ情報

オーダ名称	パッケージ
μ PD17012GF-058-3BE	64ピン・プラスチックQFP（14×20 mm, 1.0 mmピッチ）

本資料は，この製品の企画段階で作成していますので，予告なしに内容を変更することがあります。
また本資料で扱う製品の製品化を中止することがあります。

機能の概要

受信周波数, チャンネル・スペース, 基準周波数, 中間周波数

地域	バンド	受信周波数	チャンネル・スペース	基準周波数	中間周波数
東 欧	FM1	65-74 MHz	50 kHz	25 kHz	10.7 MHz
	FM2 FM3	87.5-108.0 MHz	50 kHz	25 kHz	10.7 MHz
	MW	522-1620 kHz	9 kHz	9 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz
	LW	144-290 kHz	1 kHz	1 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz
西 欧	FM	87.5-108.0 MHz	50 kHz	25 kHz	10.7 MHz
	MW	522-1620 kHz	9 kHz	9 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz
	LW	144-290 kHz	1 kHz	1 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz
中 国	FM	87.0-108.0 MHz	50 kHz	25 kHz	10.7 MHz
	MW	531-1602 kHz	9 kHz	9 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz
豪 州 中近東	FM	87.5-108.0 MHz	100 kHz	25 kHz	10.7 MHz
	MW	531-1602 kHz	9 kHz	9 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz
米国1	FM	87.5-108.0 MHz	100 kHz	25 kHz	10.7 MHz
	MW	530-1620 kHz	10 kHz	10 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz
米国2	FM	87.5-107.9 MHz	200 kHz	25 kHz	10.7 MHz
	MW	530-1620 kHz	10 kHz	10 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz
米国3	FM	87.5-107.9 MHz	200 kHz	25 kHz	10.7 MHz
	MW	530-1710 kHz	10 kHz	10 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz
日 本	FM	76.0-90.0 MHz	100 kHz	25 kHz	- 10.7 MHz
	MW	522-1629 kHz	9 kHz	9 kHz	450 kHz/ + 10.71 MHz

ラジオ機能

(1) マニュアル・チューニング

種 類	機 能
マニュアル・アップ マニュアル・ダウン	ステップ送りと早送りができます。

(2) オートチューニング

種 類	機 能
シーク・アップ	放送局を検出すると、その周波数を保持します。
スキャン・アップ スキャン・ダウン	放送局を5秒間ずつ受信します。

(3) プリセット・メモリ・スキャン...プリセット・メモリの内容を5秒間ずつ受信します。

(4) プリセット・メモリ

FMバンド...FM1 : 6局, FM2 : 6局, FM3 : 6局

MWバンド...MW1 : 6局, MW2 : 6局

LWバンド...6局

- (5) ラスト・チャンネル・メモリ...FM1, FM2, FM3, MW1, MW2, LW独立に各1局
- (6) LOC (ローカル) のコントロール出力と表示 (オートローカル機能選択可能)
- (7) “ ST ” (ステレオ) 表示機能...FMバンドで有効
MWバンドでも表示可能 (切り替え機能あり)
- (8) オートストア・メモリ

テープ機能

- (1) テープ走行方向表示...早送り時は2.5 Hzで点滅可能
- (2) MTL (METAL) のコントロール出力と表示
- (3) “ TAPE ” (カセット・テープ) 表示機能

電子ボリューム機能

- (1) ボリューム/バス/トレブル/バランス/フェーダ機能
- (2) LCDパネルに “ VOL ” / “ BAS ” / “ TRE ” / “ BR ” / “ FR ” 表示
- (3) ミュート機能 (ミュート時はパネル全体の表示を点滅)
- (4) ラウドネス機能
- (5) ゲインを4段階に設定可能 (0, 3.75, 7.5, 11.25 dB)

時計機能

- (1) 12時間表示 (“ AM ”, “ PM ” 表示付き) および24時間表示選択可能
- (2) コロン (“ : ”) のフラッシング (1 Hz) 選択可能
- (3) 時計なしモードでは低消費電流 (10 μA MAX.) でのバック・アップ可能

セキュリティ機能

車の盗難防止のためのアラーム機能を設定可能

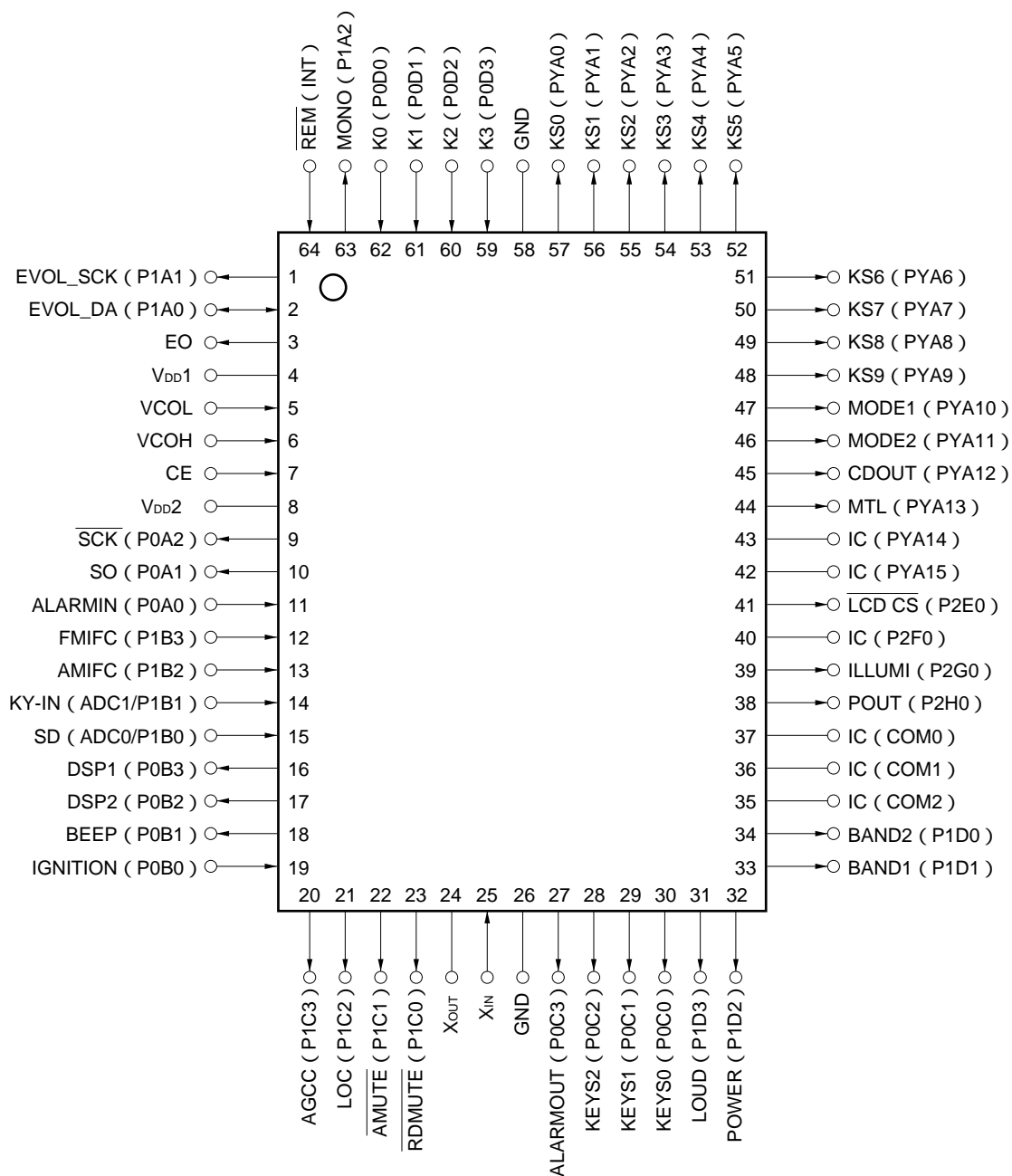
その他

- (1) LOUD (LOUDNESS) のコントロール出力と表示...ラジオ, テープ, CDモード共通
- (2) キー・アクノリッジ (ピープ) 出力...有効モメンタリ・キー・オンで出力
- (3) 表示切り替えおよび優先表示機能
- (4) “ CD ” (コンパクト・ディスク) 表示
- (5) 外部LCDコントローラ/ドライバ (μ PD7225) 接続
- (6) リモコン受信機能 (μ PD6121使用時)
- (7) KEY部分またはKEY, LCDパネル着脱可能

端子接続図 (Top View)

64ピン・プラスチックQFP (14 × 20 mm, 1.0 mmピッチ)

μ PD17012GF-058-3BE



備考1. ()内は μ PD17012GF- x x x-3BEの場合の端子名です。

2. IC (Internally Connected) : 内部接続端子です。オープンにしてください。

目 次

1. 端子機能 ...	7
2. キー・マトリクスの構成 ...	14
2.1 初期設定ダイオード, オルタネートまたはトランジスタ・スイッチ・マトリクスの配置 ...	14
2.2 スwitchの接続 ...	14
2.3 初期設定ダイオード, オルタネートまたはトランジスタ・スイッチ・マトリクスの接続 ...	15
2.4 モメンタリ・キー・マトリクスの配置 ...	16
2.5 モメンタリ・キー・マトリクスの接続 ...	16
2.6 キー・マトリクスの説明 ...	17
2.6.1 初期設定ダイオード・マトリクス ...	17
2.6.2 オルタネートまたはトランジスタ・スイッチ ...	28
2.6.3 モメンタリ・キー ...	29
3. アラーム機能 ...	51
3.1 アラーム機能の概要 ...	51
3.2 アラーム・モード設定 ...	52
4. モード遷移 ...	58
5. 表 示 ...	65
5.1 LCDパネル ...	65
5.2 字 体 ...	65
5.3 表 示 例 ...	65
5.4 LCD割り当て ...	66
5.5 LCDコントローラ / ドライバ (μ PD7225) のLCD端子割り当て表 ...	66
5.6 表示説明 ...	67
6. リモート・コントロール ...	69
6.1 リモコン・キーの配置 (μ PD6121Gを使用した場合) ...	69
6.2 リモコン・キーの説明 ...	70
6.3 リモコン・データ・コード一覧 ...	70
6.4 μ PD6121G-001を用いたリモコン回路例 ...	71
6.5 μ PC2800HAを用いたリモコン・プリアンプ回路例 ...	71
7. ミュート出力タイミング・チャート ...	72
7.1 ラジオ・ミュート ($\overline{\text{RDMUTE}}$ 端子) 出力タイミング・チャート ...	72
7.2 ラジオ・ミュート ($\overline{\text{RDMUTE}}$ 端子) とオーディオ・ミュート ($\overline{\text{AMUTE}}$ 端子) 出力タイミング・チャート ...	75
8. 端子の入出力回路 ...	77

9. 応用回路例 ... 81

10. 電気的特性 (暫定) ... 82

11. 外形図 ... 85

12. 半田付け推奨条件 ... 86

付録 電子ボリュームICとの通信 (I²Cバス方式) ... 87

1. 端子機能

端子番号	記号	端子名称	説明	入出力形式
1	EVOL_SCK	電子ボリューム用クロック出力	電子ボリューム用のクロック出力端子です。 出力されるデータについては、付録 電子ボリュームICとの通信 (I ² Cバス方式) を参照してください。	CMOS プッシュプル 出力
2	EVOL_DA	電子ボリューム用データ入出力	電子ボリューム用のデータ入出力端子です。 出力されるデータについては、付録 電子ボリュームICとの通信 (I ² Cバス方式) を参照してください。	入出力 CMOS プッシュプル 出力
3	EO	エラー・アウト	PLLを構成する位相比較器のチャージ・ポンプ出力端子です。発振周波数を分周したものが基準周波数より高い場合は、これらの端子からハイ・レベルが出力され、逆に低い場合は、ロウ・レベルが出力されます。一致するとフローティングとなります。	CMOS 3ステート 出力
4 8	V _{DD1} V _{DD2}	電源端子	デバイスの電源端子です。 デバイス動作時には5 V ± 10 % の電圧を供給します。 V _{DD} の立ち上がり時間は、500 ms以下 (0 4.5 V) であることが必要です。立ち上がり時間が極端に長い場合、また完全に0 Vに落ちないでなおかつ動作電圧以下から3.5 Vに立ち上がった場合には、初期設定用のダイオード・スイッチの状態を正常に読み込まないときがあります。	-
5	VCOL	AM局部発振入力	AM (MW, LW) バンドの局部発振出力 (VCO) を入力する端子です。 MWおよびLWを受信しているときはアクティブとなり、そのほかのときは内部でプルダウンされます。 交流アンプを内蔵しているため、コンデンサで直流分をカットして入力してください。	入力
6	VCOH	FM局部発振入力	FMバンドの局部発振出力 (VCO) を入力する端子です。 FMを受信しているときはアクティブとなり、その他のときは内部でプルダウンされます。 交流アンプを内蔵しているため、コンデンサで直流分をカットして入力してください。	入力
7	CE	チップ・イネーブル	デバイスの選択信号入力端子です。 常にプルアップしてください。	入力
9	$\overline{\text{SCK}}$	シリアル・クロック出力	LCDコントローラ / ドライバ (μ PD7225) 制御用のシリアル・クロック出力端子です。	CMOS プッシュプル 出力
10	SO	シリアル・データ出力	LCDコントローラ / ドライバ (μ PD7225) 制御用のシリアル・データ出力端子です。	CMOS プッシュプル 出力
11	ALARMIN	ドア・スイッチ入力	ドア・スイッチ入力端子です。 詳しくは3. アラーム機能を参照してください。	入力

端子番号	記号	端子名称	説明	入出力形式																				
12	FMIFC	FM中間周波数 入力	<p>FMバンドの中間周波数（IF）入力端子です。 交流アンプを内蔵しているため、コンデンサで直流分をカットして入力してください。 この端子は初期設定ダイオードENFMIF = 1のとき、オートチューニング中に放送局の有無を検出するために使用します。放送局ありと判断させるための入力周波数範囲と入力条件は次のようになります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 バンド</th> <th>入力周波数 範囲</th> <th>入力周波数 範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FM</td> <td>10.7 MHz ± 50 kHz</td> <td>10.7 MHz ± 12.5 kHz</td> </tr> </tbody> </table> <p>入力周波数範囲 は、PLLがロックしたあと20 ms以内に入力しなければならない周波数です。入力周波数範囲 と が両方満たされたとき、放送局ありと判断され、オートチューニングをストップします。</p>	項目 バンド	入力周波数 範囲	入力周波数 範囲	FM	10.7 MHz ± 50 kHz	10.7 MHz ± 12.5 kHz	入力														
項目 バンド	入力周波数 範囲	入力周波数 範囲																						
FM	10.7 MHz ± 50 kHz	10.7 MHz ± 12.5 kHz																						
13	AMIFC	AM中間周波 数入力	<p>AM（MW, LW）バンドの中間周波数（IF）入力端子です。 交流アンプを内蔵しているため、コンデンサで直流分をカットして入力してください。 この端子は初期設定ダイオードENAMIF = 1のとき、オートチューニング中に放送局の有無を検出するために使用します。 放送局ありと判断させるための入力周波数範囲と入力条件は次のようになります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 バンド</th> <th>入力周波数 範囲 [kHz]</th> <th>入力周波数 範囲 [kHz]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MW</td> <td>450 ± 5</td> <td>450 ± 2</td> </tr> <tr> <td>LW</td> <td>450 ± 5</td> <td>450 ± 0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>入力周波数範囲 は、PLLがロックしたあと20 ms以内に入力しなければならない周波数です。入力周波数範囲 と が両方満たされたとき、放送局ありと判断され、オートチューニングをストップします。</p>	項目 バンド	入力周波数 範囲 [kHz]	入力周波数 範囲 [kHz]	MW	450 ± 5	450 ± 2	LW	450 ± 5	450 ± 0.5	入力											
項目 バンド	入力周波数 範囲 [kHz]	入力周波数 範囲 [kHz]																						
MW	450 ± 5	450 ± 2																						
LW	450 ± 5	450 ± 0.5																						
14	KY-IN	キー入力	<p>モメンタリ・キー・マトリクス用キー・リターン信号入力端子です。</p>	入力																				
15	SD	SD入力	<p>SD（Station Detector）信号入力端子です。 この端子に次に示す電圧が加わると、SDありと判断します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">バンド</th> <th rowspan="2">LOCAL/ DXモード</th> <th colspan="2">SDありと判断する電圧</th> </tr> <tr> <th colspan="2">V_{DD} = 5 V時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">FM</td> <td>LOCAL</td> <td>$\frac{28.5}{64} \times V_{DD}$以上</td> <td>2.227</td> </tr> <tr> <td>DX</td> <td>$\frac{12.5}{64} \times V_{DD}$以上</td> <td>0.977</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MW LW</td> <td>LOCAL</td> <td>$\frac{15.5}{64} \times V_{DD}$以上</td> <td>1.211</td> </tr> <tr> <td>DX</td> <td>$\frac{12.5}{64} \times V_{DD}$以上</td> <td>0.977</td> </tr> </tbody> </table> <p>SD信号は、放送局ありの判断に使用します。</p>	バンド	LOCAL/ DXモード	SDありと判断する電圧		V _{DD} = 5 V時		FM	LOCAL	$\frac{28.5}{64} \times V_{DD}$ 以上	2.227	DX	$\frac{12.5}{64} \times V_{DD}$ 以上	0.977	MW LW	LOCAL	$\frac{15.5}{64} \times V_{DD}$ 以上	1.211	DX	$\frac{12.5}{64} \times V_{DD}$ 以上	0.977	入力
バンド	LOCAL/ DXモード	SDありと判断する電圧																						
		V _{DD} = 5 V時																						
FM	LOCAL	$\frac{28.5}{64} \times V_{DD}$ 以上	2.227																					
	DX	$\frac{12.5}{64} \times V_{DD}$ 以上	0.977																					
MW LW	LOCAL	$\frac{15.5}{64} \times V_{DD}$ 以上	1.211																					
	DX	$\frac{12.5}{64} \times V_{DD}$ 以上	0.977																					

端子番号	記号	端子名称	説明	入出力形式											
16 17	DSP1 DSP2	DSPコントロール出力	DSPチップのコントロール出力端子です。 詳しくはモメンタリ・キー DSP を参照してください。	CMOS プッシュプル 出力											
18	BEEP	ビーブ出力	モメンタリ・キーが押されたときのビーブ音出力端子として動作します。 モメンタリ・キーが押されたとき周波数3 kHz，デューティ50 % の方形波を約40 ms出力します。この時間は先出しミュートの時間と等しくなります。 モメンタリ・キーを押し，LCDパネルの表示または出力ポートの状態が変化する場合（有効キー）およびプリセット・メモリ・スキャンとスキャン動作中の5秒間のホールドが終了したときにビーブ音を出力します。 またビーブ音出力はアラーム機能時のアラーム出力に使用します。使用しない場合は，オープンにしてください。	CMOS プッシュプル 出力											
19	IGNITION	イグニッション入力	車のキーのイグニッション・スイッチに接続します。 デバイスに通常の動作をさせる場合はハイ・レベルを入力し，デバイスを使用しない場合はロウ・レベルを入力します。	入力											
20	AGCC	AGCカット出力	ラジオ・モード時のAGC（Auto Gain Control）カット信号出力端子です。 オートチューニング中に次のようにハイ・レベルを出力します。 キー・オン 放送局あり : キー・オン・チャタリング待ち : 先出しミュート : 後出しミュート	CMOS プッシュプル 出力											
21	LOC	ローカル信号出力	ラジオ・モード時のローカル信号出力端子です。 モードにより動作が次のように異なります。 (1) ラジオ・モード，テープ・ラジオ・モニタ・モード，CDラジオ・モニタ・モード時 ローカル状態でオートチューニング時のみハイ・レベルを出力します。 チューニング状態およびLOCAL/DX状態により，次のように端子の出力レベルを決定します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>オートチューニング状態</th> <th>LOCAL/DX状態</th> <th>LOC出力レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">動作中</td> <td>LOCAL</td> <td>ハイ</td> </tr> <tr> <td>DX</td> <td>ロウ</td> </tr> <tr> <td>動作外</td> <td>Don't care</td> <td>ロウ</td> </tr> </tbody> </table> (2) 上記モード以外 ロウ・レベルを出力します。	オートチューニング状態	LOCAL/DX状態	LOC出力レベル	動作中	LOCAL	ハイ	DX	ロウ	動作外	Don't care	ロウ	CMOS プッシュプル 出力
オートチューニング状態	LOCAL/DX状態	LOC出力レベル													
動作中	LOCAL	ハイ													
	DX	ロウ													
動作外	Don't care	ロウ													

端子番号	記号	端子名称	説明	入出力形式
22	AMUTE	オーディオ・ミュート出力	テープおよびCDのミュート信号出力端子です。 モードにより動作が次のように異なります。 (1) ラジオ・モード, テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード, パワーオフ・モード時 ロウ・レベルを出力します。 (2) CDモード, テープ・モード時 ハイ・レベルを出力します。 詳しくは7. ミュート出力タイミング・チャートを参照してください。	CMOS プッシュプル 出力
23	RDMUTE	ラジオ・ミュート出力	ラジオのミュート信号出力端子です。 モードにより動作が次のように異なります。 (1) ラジオ・モード, テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード時 ラジオ・オン/オフ時 バンド切り替え時 受信周波数切り替え時 ロウ・レベルを出力します。 (2) CDモード, テープ・モード時 初期設定ダイオードMUTESELにより出力方法を選択できます(2.6.1 初期設定ダイオード・マトリクス参照)。ただしラジオ・モニタ機能を使用するときはMUTESELを0にしてロウ・レベル出力を選択してください。 詳しくは7. ミュート出力タイミング・チャートを参照してください。	CMOS プッシュプル 出力
24	X _{OUT}	水晶振動子	水晶振動子を接続するための端子です。	-
25	X _{IN}		4.5 MHzの水晶振動子を接続します。	入力
26 58	GND	グラウンド	グラウンド端子です。 26番ピンと58番ピンは必ず同電位に接続してください。	-
27	ALARMOUT	アラーム・アウト出力	アラーム・アウト出力端子です。 詳しくは3. アラーム機能を参照してください。	CMOS プッシュプル 出力
28 30	KEYS2 KEYS0	キー・ソース 信号出力	モメンタリ・キー・マトリクス用キー・ソース出力端子です。	N-chオープン・ドレイン 出力
31	LOUD	ラウドネス出力	ラウドネス・コントロール信号出力端子です。 ラウドネス・オン時, ハイ・レベルを出力します。	CMOS プッシュプル 出力
32	POWER	パワー出力	POWER キーを押すごとに出力を反転します。 この端子はラジオのオン/オフなどに使用してください。 トランジスタ・スイッチRDSETに接続することにより, ラジオのオン/オフが可能となります。	CMOS プッシュプル 出力

端子番号	記号	端子名称	説明	入出力形式															
33 34	BAND1 BAND2	バンド切り替え信号出力	<p>ラジオ・モード時のバンド切り替え信号出力端子です。モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) ラジオ・モード, テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード時</p> <p>バンド切り替えキーにより受信バンドを切り替えると各バンドにおいて次のように出力します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>端子 バンド</th> <th>BAND1</th> <th>BAND2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MW</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>LW</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FM</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(0: ロウ・レベル, 1: ハイ・レベル)</p> <p>(2) テープ・モード, CDモード, パワーオフ・モード時</p> <p>ロウ・レベルを出力します。</p>	端子 バンド	BAND1	BAND2	MW	0	0	LW	0	1	FM	1	0	CMOS プッシュプル 出力			
端子 バンド	BAND1	BAND2																	
MW	0	0																	
LW	0	1																	
FM	1	0																	
35 37 40 42 43	IC	IC	<p>内部接続端子です。</p> <p>オープンにしてください。</p>	-															
38	POUT	着脱信号出力	<p>ディタッチャブル状態信号出力端子として動作します。</p> <p>DTHスイッチがオフのとき着脱信号出力端子として1 Hz, 1/2デューティの信号を出力します。</p>	CMOS プッシュプル 出力															
39	ILLUMI	イルミネーション信号出力	<p>イルミネーション信号出力端子です。</p> <p>初期設定ダイオードILLA, ILLBにより, 次のように出力方法を選択できます。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>ILLA</th> <th>ILLB</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>ラウドネス機能のみ</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>ラウドネス/イルミネーション機能</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>ラウドネス/イルミネーション機能</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>ラウドネス機能のみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	ILLA	ILLB	機能	0	0	ラウドネス機能のみ	0	1	ラウドネス/イルミネーション機能	1	0	ラウドネス/イルミネーション機能	1	1	ラウドネス機能のみ	CMOS プッシュプル 出力
ILLA	ILLB	機能																	
0	0	ラウドネス機能のみ																	
0	1	ラウドネス/イルミネーション機能																	
1	0	ラウドネス/イルミネーション機能																	
1	1	ラウドネス機能のみ																	
41	LCD CS	LCDチップ・セレクト信号出力	<p>チップ・セレクト信号出力端子として動作します。</p> <p>外部LCDコントローラ/ドライバ(μ PD7225)に対するチップ・セレクト信号出力端子として動作します。</p> <p>ロウ・レベルを出力時, 外部LCDコントローラ/ドライバがチップ・セレクト状態になります。</p>	CMOS プッシュプル 出力															

注意 外部LCDコントローラ/ドライバμ PD7225を使用する場合, μ PD7225のC/D端子をμ PD7225のV_{DD}端子と接続してください。

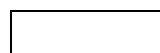
端子番号	記号	端子名称	説明	入出力形式																								
44	MTL	メタル信号出力	<p>メタル信号出力端子です。 METALのオン/オフ状態により次のように端子の出力レベルを決定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>METAL状態</th> <th>出力レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ハイ</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ロウ</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお端子からは、モードにかかわらずTPSETスイッチがオンのときMETAL状態に対応したレベルを出力します。</p>	METAL状態	出力レベル	ON	ハイ	OFF	ロウ	CMOS プッシュプル 出力																		
METAL状態	出力レベル																											
ON	ハイ																											
OFF	ロウ																											
45	CDOUT	CDモード出力	<p>CDモード出力端子です。 モメンタリ・キー <input type="button" value="CD"/> を押すごとにCDOUT出力を反転します。 次のモードではCDOUT出力は、常にロウ・レベルを出力します。 IGNITION = ロウ・レベル時 パワーオフ・モード (IGNITION = ハイ・レベルでラジオ, テープ, CDオフ時) トランジスタ・スイッチDTH = オフ時</p>	CMOS プッシュプル 出力																								
46 47	MODE2 MODE1	モード信号出力	<p>モード切り替え信号出力端子です。 各モードのときに次のように出力されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>MODE1</th> <th>MODE2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IGNITION = ロウ・レベル時</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>IGNITION = ハイ・レベルでラジオ, テープ, CDオフ時 (パワーオフ・モード)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ラジオ・モード時</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>テープ・モード時</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>CDモード時</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>テープ・ラジオ・モニタ・モード時</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>CDラジオ・モニタ・モード時</td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	モード	MODE1	MODE2	IGNITION = ロウ・レベル時	0	0	IGNITION = ハイ・レベルでラジオ, テープ, CDオフ時 (パワーオフ・モード)	0	0	ラジオ・モード時	1	0	テープ・モード時	0	0	CDモード時	0	1	テープ・ラジオ・モニタ・モード時	1	0	CDラジオ・モニタ・モード時		1	CMOS プッシュプル 出力
モード	MODE1	MODE2																										
IGNITION = ロウ・レベル時	0	0																										
IGNITION = ハイ・レベルでラジオ, テープ, CDオフ時 (パワーオフ・モード)	0	0																										
ラジオ・モード時	1	0																										
テープ・モード時	0	0																										
CDモード時	0	1																										
テープ・ラジオ・モニタ・モード時	1	0																										
CDラジオ・モニタ・モード時		1																										
48 57	KS9 KS0	キー・ソース 信号出力	キー・マトリクスのキー・ソース信号出力端子です。	CMOS プッシュプル 出力																								
59 62	K3 K0	キー・リターン 信号入力	キー・マトリクスのキー・リターン信号入力端子です。	入力																								

端子番号	記号	端子名称	説明	入出力形式																						
63	MONO	モノラル信号出力	<p>モノラル信号出力端子です。 ラジオ・モード，テープ・ラジオ・モニタ・モード，CDラジオ・モニタ・モード時にモノラル信号出力端子として動作します。 選択バンドおよびMONOのオン/オフ状態により次のように端子の出力レベルを決定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択バンド</th> <th>MONO状態</th> <th>出力レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">FM</td> <td>ON</td> <td>ハイ</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ロウ</td> </tr> <tr> <td>LW</td> <td>Don't care</td> <td>ロウ</td> </tr> </tbody> </table> <p>MWバンド選択時は，初期設定ダイオードMWSの設定により，次のように端子の出力レベルを決定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>MWS</th> <th>MONO状態</th> <th>出力レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>ON</td> <td>ハイ</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ロウ</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>Don't care</td> <td>ロウ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	選択バンド	MONO状態	出力レベル	FM	ON	ハイ	OFF	ロウ	LW	Don't care	ロウ	MWS	MONO状態	出力レベル	1	ON	ハイ	OFF	ロウ	0	Don't care	ロウ	CMOS プッシュプル 出力
選択バンド	MONO状態	出力レベル																								
FM	ON	ハイ																								
	OFF	ロウ																								
LW	Don't care	ロウ																								
MWS	MONO状態	出力レベル																								
1	ON	ハイ																								
	OFF	ロウ																								
0	Don't care	ロウ																								
64	REM	リモコン入力	<p>赤外線リモコン信号入力端子です。リモコン・プリアンプ (μ PC2800HAなど) の出力を接続します。リモコン送信機ICには，μ PD6121Gを使用します。</p>	入力																						

2. キー・マトリクス構成

2.1 初期設定ダイオード，オルタネートまたはトランジスタ・スイッチ・マトリクスの配置

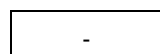
入力端子 (端子番号) 出力端子 (端子番号)	K3 (59)	K2 (60)	K1 (61)	K0 (62)
KS9 (48)	-	DISALARM	VOLATT_L	VOLATT_H
KS8 (49)	RDSET	ST	DTH	VKysel
KS7 (50)	FF	RL	CDSET	TPSET
KS6 (51)	IFAM	-	-	MWS
KS5 (52)	AUTO500	MUTESEL	AUTOLOC	FAD_SEL
KS4 (53)	CKHLT	ILLA	ILLB	KTAPE
KS3 (54)	NOCLK	CLKDISP	FLASH	DISAMEMO
KS2 (55)	ENFMIF	ENAMIF	PRI02	PRI01
KS1 (56)	ENFM	DISFM3	ENMW2	DISLW
KS0 (57)	-	AREA3	AREA2	AREA1



初期設定ダイオード・マトリクス



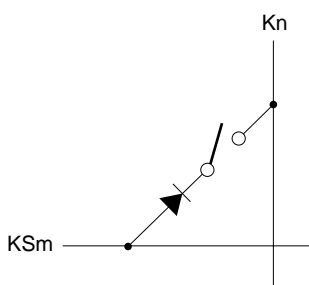
オルタネート・スイッチまたはトランジスタ・スイッチ



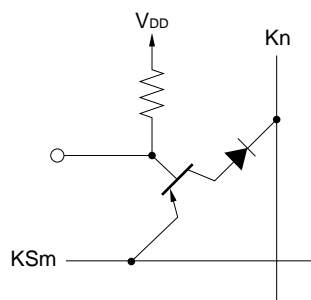
オープン

2.2 スイッチの接続

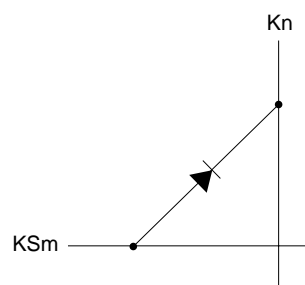
オルタネート・スイッチ



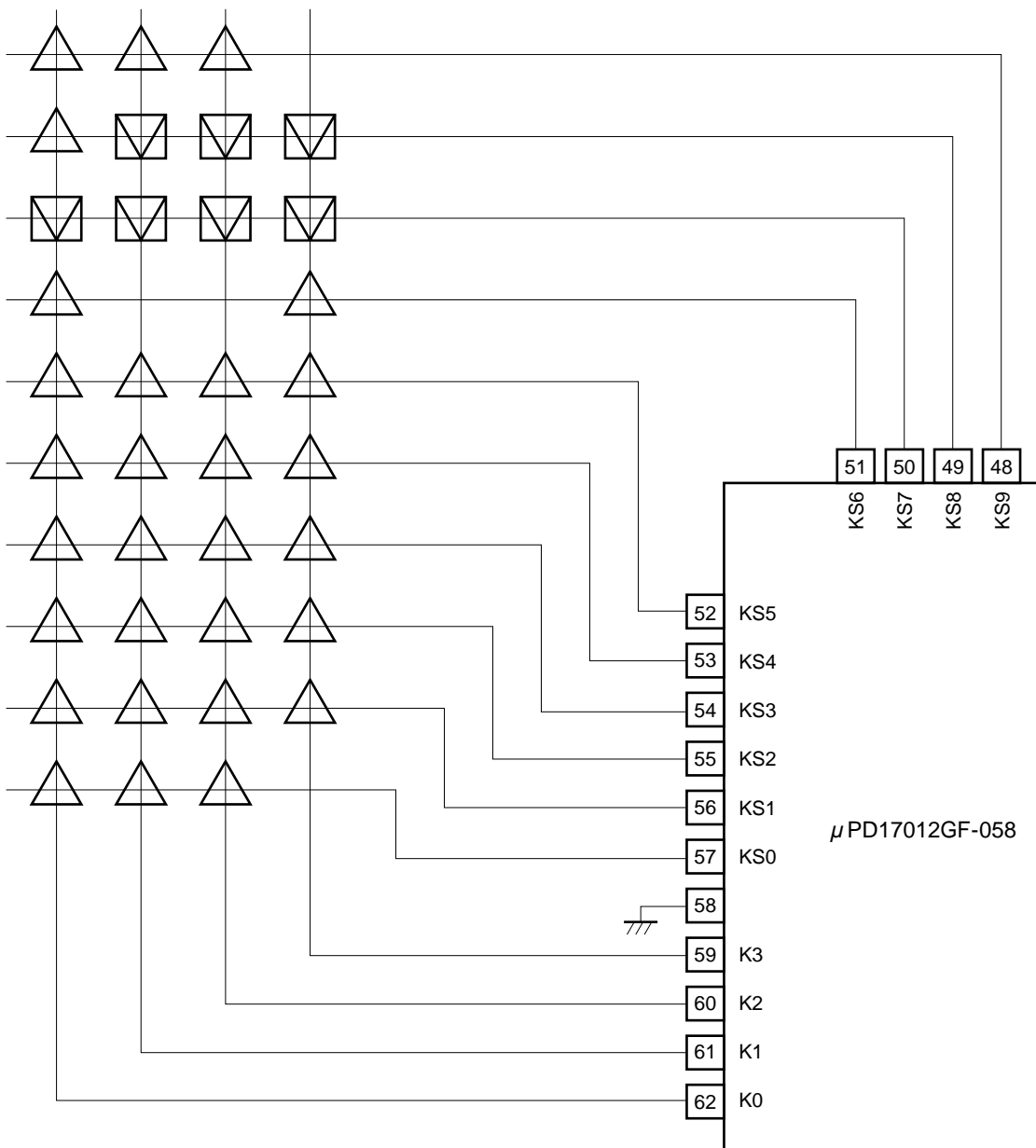
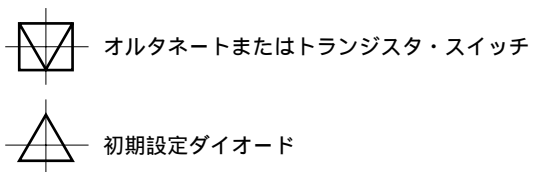
トランジスタ・スイッチ



初期設定ダイオード



2.3 初期設定ダイオード，オルタネートまたはトランジスタ・スイッチの接続

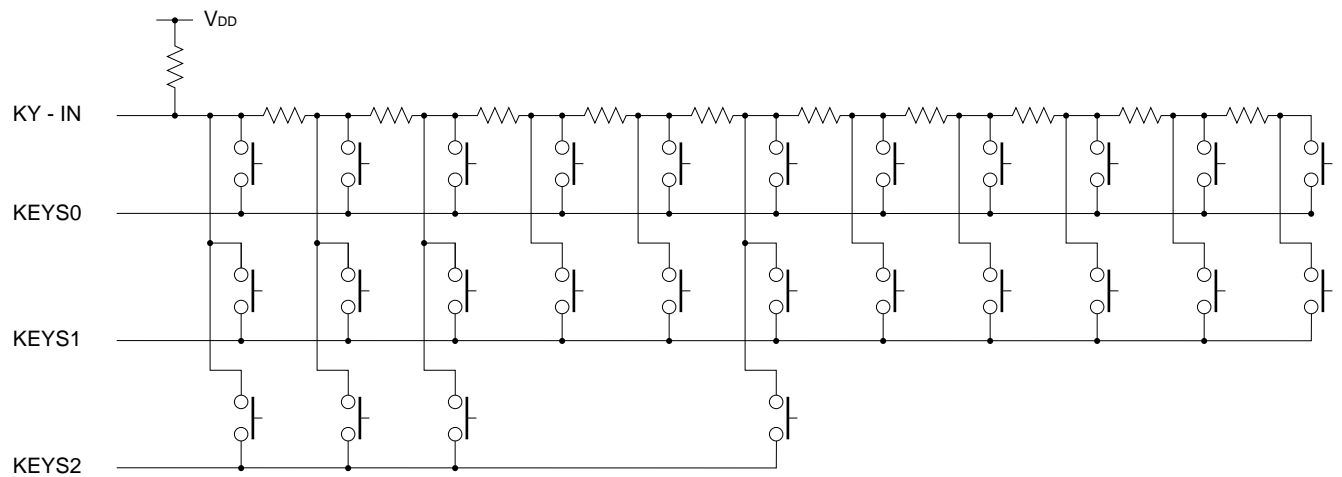


2.4 モメンタリ・キー・マトリクス配置

入力電圧 選択端子 (端子番号)	0~0.04 V _{DD}	~0.12 V _{DD}	~0.20 V _{DD}	~0.29 V _{DD}	~0.38 V _{DD}	~0.48 V _{DD}	~0.57 V _{DD}	~0.66 V _{DD}	~0.76 V _{DD}	~0.84 V _{DD}	~0.91 V _{DD}
KEYS0 (30)	M1	M2	M3	M4	M5	M6	SEEK UP	ALARM	MAN UP	MAN DWN	MONO/ LOC
KEYS1 (29)	BAND	CD	POWER	VOL UP	VOL DWN	VOL SEL	LOUD/ ILLUMI- NATION	MUTE	DISP	DSP	P.SCAN
KEYS2 (28)	RDMONI	SCAN UP	SCAN DWN	-	-	MTL	-	-	-	-	-

- : オープン

2.5 モメンタリ・キー・マトリクス接続



2.6 キー・マトリクスの説明

2.6.1 初期設定ダイオード・マトリクス

初期設定ダイオード・マトリクスには次の18種類があります。これらはすべて最初にV_{DD}端子に電源を投入したとき（パワーオン・リセット）のみ読み込まれ、そのほかの期間では無視されます。

(1) 受信地域を設定するためのスイッチ

AREA1, AREA2, AREA3

(2) 受信バンドを設定するためのスイッチ

DISFM3, DISLW, ENFM, ENMW2

(3) オート・メモリの使用を設定するためのスイッチ

DISAMEMO

(4) 放送局検出に周波数カウンタの使用の有無を設定するためのスイッチ

ENAMIF, ENFMIF

(5) チューニング動作を設定するためのスイッチ

AUTO500

(6) 表示の優先度を設定するためのスイッチ

PRI01, PRI02

(7) 時計機能を設定するためのスイッチ

CLKDISP, FLASH, NOCLK

(8) テープ機能を設定するためのスイッチ

KTAPE

(9) ミュート出力を設定するためのスイッチ

MUTESEL

(10) ローカル動作を設定するためのスイッチ

AUTOLOC

(11) AMバンド (MW, LW) の中間周波数を設定するためのスイッチ

IFAM

(12) MWバンドのステレオ受信機能の有無を設定するスイッチ

MWS

(13) 時計なしのときのスタンバイ・モードを設定するためのスイッチ

CKHLT

(14) 電子ボリュームのフェーダ機能の有無を設定するスイッチ

FAD_SEL

(15) 電子ボリュームの各モードのコントロールを行うキー (VOL UP/VOL DWNまたはMAN UP/MAN DWN) を設定するスイッチ

VKYSEL

(16) 電子ボリュームのゲインを設定するためのスイッチ

VOLATT_H, VOLATT_L

(17) イルミネーション・コントロールを設定するためのスイッチ

ILLA, ILLB

(18) アラーム機能の使用 / 不使用を設定するためのスイッチ

DISALARM

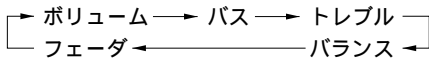
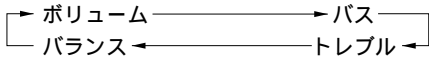
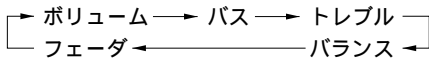
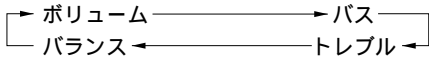
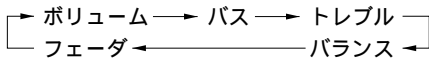
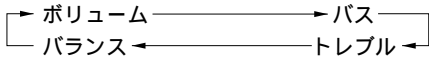
これらのスイッチの設定はマトリクス上をダイオードでショート (1) するか、またはオープン (0) にすることで行います。

次に初期設定ダイオード・マトリクスの機能について説明します (アルファベット順)。

初期設定ダイオード	機能説明																																				
<p>AREA1 AREA2 AREA3</p>	<p>受信地域を設定するためのスイッチです。 次のように設定されます。 各地域における受信周波数などは、機能の概要を参照してください。</p> <table border="1" data-bbox="395 344 1043 725"> <thead> <tr> <th>AREA3</th> <th>AREA2</th> <th>AREA1</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>西欧</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>豪州, 中近東</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>日本</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>米国1</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>米国2</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>東欧</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>米国3</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>中国</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	AREA3	AREA2	AREA1	地域	0	0	0	西欧	0	0	1	豪州, 中近東	0	1	0	日本	0	1	1	米国1	1	0	0	米国2	1	0	1	東欧	1	1	0	米国3	1	1	1	中国
AREA3	AREA2	AREA1	地域																																		
0	0	0	西欧																																		
0	0	1	豪州, 中近東																																		
0	1	0	日本																																		
0	1	1	米国1																																		
1	0	0	米国2																																		
1	0	1	東欧																																		
1	1	0	米国3																																		
1	1	1	中国																																		
<p>AUTO500</p>	<p>MAN UP および MAN DWN キーの機能を設定するスイッチです。このスイッチにより, MAN UP , MAN DWN キーを , オートチューニング(シーク動作)キーとして兼用することができます。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 904 1385 1252"> <thead> <tr> <th>AUTO500</th> <th>MAN UP , MAN DWN キーの機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>マニュアル・チューニングのみ行います。 1回押すごとに1チャンネルだけアップまたはダウンし , 0.5秒以上押し続けることにより マニュアル早送りを行います。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>マニュアル・チューニングおよびオートチューニングを行います。 1回押すごとに1チャンネルだけアップまたはダウンし , 0.5秒以上押し続けると , 次のチ ャネルからオートチューニング(シーク動作)を行います。 SEEK UP キーは無効となります。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	AUTO500	MAN UP , MAN DWN キーの機能	0	マニュアル・チューニングのみ行います。 1回押すごとに1チャンネルだけアップまたはダウンし , 0.5秒以上押し続けることにより マニュアル早送りを行います。	1	マニュアル・チューニングおよびオートチューニングを行います。 1回押すごとに1チャンネルだけアップまたはダウンし , 0.5秒以上押し続けると , 次のチ ャネルからオートチューニング(シーク動作)を行います。 SEEK UP キーは無効となります。																														
AUTO500	MAN UP , MAN DWN キーの機能																																				
0	マニュアル・チューニングのみ行います。 1回押すごとに1チャンネルだけアップまたはダウンし , 0.5秒以上押し続けることにより マニュアル早送りを行います。																																				
1	マニュアル・チューニングおよびオートチューニングを行います。 1回押すごとに1チャンネルだけアップまたはダウンし , 0.5秒以上押し続けると , 次のチ ャネルからオートチューニング(シーク動作)を行います。 SEEK UP キーは無効となります。																																				

初期設定ダイオード	機能説明						
<p>AUTOLOC</p>	<p>ローカル機能を設定するためのスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 286 1385 1057"> <thead> <tr> <th>AUTOLOC</th> <th>ローカル機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td> <p>キー入力によるLOCAL/DXの切り替えを行います（オートローカル機能なし）。 MONO/LOC キーを押すごとにローカル状態とDX状態を反転します。 ローカル出力は、オートチューニング（シーク、スキャン、オートストア）中のローカル時のみハイ・レベルを出力します。</p> </td> </tr> <tr> <td>1</td> <td> <p>オートローカルを行います（オートローカル機能あり）。 MONO/LOC キーは無効になります。 SEEK UP, SCAN UP, SCAN DWN キー, または P.SCAN キーを2秒以上押し続けることにより、オートチューニングになると“LOC”表示を点灯し、ローカル出力をハイ・レベルにしてオートチューニングを行います。オートチューニングが1周すると、DXモード（“LOC”表示オフ、ローカル出力=ロウ・レベル）でサーチします。 オートチューニング中以外は“LOC”表示を消灯し、ローカル出力はロウ・レベルになります。オートチューニング中に同一キー（シーク・アップ中に SEEK UP キーなど）を押すと、ローカル中であればオートチューニングを始めたときの周波数からDXでサーチし、DX中であれば、オートチューニングをストップし、オートチューニングを始めたときの周波数に戻ります。 AUTO500スイッチを1（ MAN UP, MAN DWN キーを0.5秒押すことによるオートチューニング）に設定したときの動作も上記と同様になります。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	AUTOLOC	ローカル機能	0	<p>キー入力によるLOCAL/DXの切り替えを行います（オートローカル機能なし）。 MONO/LOC キーを押すごとにローカル状態とDX状態を反転します。 ローカル出力は、オートチューニング（シーク、スキャン、オートストア）中のローカル時のみハイ・レベルを出力します。</p>	1	<p>オートローカルを行います（オートローカル機能あり）。 MONO/LOC キーは無効になります。 SEEK UP, SCAN UP, SCAN DWN キー, または P.SCAN キーを2秒以上押し続けることにより、オートチューニングになると“LOC”表示を点灯し、ローカル出力をハイ・レベルにしてオートチューニングを行います。オートチューニングが1周すると、DXモード（“LOC”表示オフ、ローカル出力=ロウ・レベル）でサーチします。 オートチューニング中以外は“LOC”表示を消灯し、ローカル出力はロウ・レベルになります。オートチューニング中に同一キー（シーク・アップ中に SEEK UP キーなど）を押すと、ローカル中であればオートチューニングを始めたときの周波数からDXでサーチし、DX中であれば、オートチューニングをストップし、オートチューニングを始めたときの周波数に戻ります。 AUTO500スイッチを1（ MAN UP, MAN DWN キーを0.5秒押すことによるオートチューニング）に設定したときの動作も上記と同様になります。</p>
AUTOLOC	ローカル機能						
0	<p>キー入力によるLOCAL/DXの切り替えを行います（オートローカル機能なし）。 MONO/LOC キーを押すごとにローカル状態とDX状態を反転します。 ローカル出力は、オートチューニング（シーク、スキャン、オートストア）中のローカル時のみハイ・レベルを出力します。</p>						
1	<p>オートローカルを行います（オートローカル機能あり）。 MONO/LOC キーは無効になります。 SEEK UP, SCAN UP, SCAN DWN キー, または P.SCAN キーを2秒以上押し続けることにより、オートチューニングになると“LOC”表示を点灯し、ローカル出力をハイ・レベルにしてオートチューニングを行います。オートチューニングが1周すると、DXモード（“LOC”表示オフ、ローカル出力=ロウ・レベル）でサーチします。 オートチューニング中以外は“LOC”表示を消灯し、ローカル出力はロウ・レベルになります。オートチューニング中に同一キー（シーク・アップ中に SEEK UP キーなど）を押すと、ローカル中であればオートチューニングを始めたときの周波数からDXでサーチし、DX中であれば、オートチューニングをストップし、オートチューニングを始めたときの周波数に戻ります。 AUTO500スイッチを1（ MAN UP, MAN DWN キーを0.5秒押すことによるオートチューニング）に設定したときの動作も上記と同様になります。</p>						
<p>CKHLT</p>	<p>初期設定ダイオードDISALARM = 1, NOCLK = 1でCE = ロウ・レベルとなったときに、STOPモードかHALTモードのどちらのスタンバイ・モードを使用するかを設定するためのスイッチです。</p> <table border="1" data-bbox="395 1209 855 1339"> <thead> <tr> <th>CKHLT</th> <th>CE = ロウ・レベル時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>STOPモード</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>HALTモード</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	CKHLT	CE = ロウ・レベル時	0	STOPモード	1	HALTモード
CKHLT	CE = ロウ・レベル時						
0	STOPモード						
1	HALTモード						
<p>CLKDISP</p>	<p>時計の時間制を設定するためのスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 1491 970 1742"> <thead> <tr> <th>CLKDISP</th> <th>時間制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td> <p>12時間制</p> <p> ↗ AM12:00 AM11:59 ↖ ↖ PM11:59 PM12:00 ↗ </p> </td> </tr> <tr> <td>1</td> <td> <p>24時間制</p> <p> ↗ 0:00 23:59 ↖ </p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	CLKDISP	時間制	0	<p>12時間制</p> <p> ↗ AM12:00 AM11:59 ↖ ↖ PM11:59 PM12:00 ↗ </p>	1	<p>24時間制</p> <p> ↗ 0:00 23:59 ↖ </p>
CLKDISP	時間制						
0	<p>12時間制</p> <p> ↗ AM12:00 AM11:59 ↖ ↖ PM11:59 PM12:00 ↗ </p>						
1	<p>24時間制</p> <p> ↗ 0:00 23:59 ↖ </p>						
<p>DISALARM</p>	<p>アラーム機能の使用 / 不使用を設定するスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 1895 855 2024"> <thead> <tr> <th>DISALARM</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>使用</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>不使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	DISALARM	説明	0	使用	1	不使用
DISALARM	説明						
0	使用						
1	不使用						

初期設定ダイオード	機能説明																																																																																										
DISAMEMO	<p>オートストア・メモリ機能を禁止するためのスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 286 1385 515"> <thead> <tr> <th data-bbox="402 295 545 331">DISAMEMO</th> <th data-bbox="552 295 1378 331">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="402 340 545 421">0</td> <td data-bbox="552 340 1378 421"> オートストア・メモリ機能を使用できます。 <input type="checkbox"/> P.SCAN キーを2秒以上押し続けるとオートストア・メモリ動作を始めます。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 430 545 510">1</td> <td data-bbox="552 430 1378 510"> オートストア・メモリ機能を禁止します。 <input type="checkbox"/> P.SCAN キーはプリセット・スキャン機能のみとなります。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	DISAMEMO	説明	0	オートストア・メモリ機能を使用できます。 <input type="checkbox"/> P.SCAN キーを2秒以上押し続けるとオートストア・メモリ動作を始めます。	1	オートストア・メモリ機能を禁止します。 <input type="checkbox"/> P.SCAN キーはプリセット・スキャン機能のみとなります。																																																																																				
DISAMEMO	説明																																																																																										
0	オートストア・メモリ機能を使用できます。 <input type="checkbox"/> P.SCAN キーを2秒以上押し続けるとオートストア・メモリ動作を始めます。																																																																																										
1	オートストア・メモリ機能を禁止します。 <input type="checkbox"/> P.SCAN キーはプリセット・スキャン機能のみとなります。																																																																																										
DISFM3 DISLW ENFM ENMW2	<p>受信バンドを設定するためのスイッチです。 各スイッチにより次のように設定されます。</p> <p>DISFM3.....1にすることによりFM3バンドを禁止します。 ENMW2.....1にすることによりMW2バンドを有効にします。 DISLW西欧, 東欧において1にすることによりLWバンドを禁止します。 DISLWスイッチは西欧, 東欧以外の地域では無効となります。 ENFM1にすることにより受信バンドをFMバンドのみにします。 これらのスイッチにより各地域における受信バンドは次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 891 1385 1527"> <thead> <tr> <th data-bbox="402 900 545 936">地域</th> <th data-bbox="552 900 673 936">ENFM</th> <th data-bbox="679 900 801 936">DISFM3</th> <th data-bbox="807 900 928 936">ENMW2</th> <th data-bbox="935 900 1056 936">DISLW</th> <th data-bbox="1062 900 1378 936">受信バンド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="402 945 545 981">西欧</td> <td data-bbox="552 945 673 981">1</td> <td data-bbox="679 945 801 981">0</td> <td data-bbox="807 945 928 981">-</td> <td data-bbox="935 945 1056 981">-</td> <td data-bbox="1062 945 1378 981">FM1, FM2, FM3</td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 990 545 1025">東欧</td> <td data-bbox="552 990 673 1025">1</td> <td data-bbox="679 990 801 1025">1</td> <td data-bbox="807 990 928 1025">-</td> <td data-bbox="935 990 1056 1025">-</td> <td data-bbox="1062 990 1378 1025">FM1, FM2</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1034 673 1070">0</td> <td data-bbox="679 1034 801 1070">0</td> <td data-bbox="807 1034 928 1070">0</td> <td data-bbox="935 1034 1056 1070">0</td> <td data-bbox="1062 1034 1378 1070">FM1, FM2, FM3, MW1, LW</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1079 673 1115">0</td> <td data-bbox="679 1079 801 1115">0</td> <td data-bbox="807 1079 928 1115">0</td> <td data-bbox="935 1079 1056 1115">1</td> <td data-bbox="1062 1079 1378 1115">FM1, FM2, FM3, MW1</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1124 673 1160">0</td> <td data-bbox="679 1124 801 1160">0</td> <td data-bbox="807 1124 928 1160">1</td> <td data-bbox="935 1124 1056 1160">-</td> <td data-bbox="1062 1124 1378 1160">FM1, FM2, FM3, MW1, MW2</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1169 673 1205">0</td> <td data-bbox="679 1169 801 1205">1</td> <td data-bbox="807 1169 928 1205">0</td> <td data-bbox="935 1169 1056 1205">0</td> <td data-bbox="1062 1169 1378 1205">FM1, FM2, MW1, LW</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1214 673 1249">0</td> <td data-bbox="679 1214 801 1249">1</td> <td data-bbox="807 1214 928 1249">0</td> <td data-bbox="935 1214 1056 1249">1</td> <td data-bbox="1062 1214 1378 1249">FM1, FM2, MW1</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1258 673 1294">0</td> <td data-bbox="679 1258 801 1294">1</td> <td data-bbox="807 1258 928 1294">1</td> <td data-bbox="935 1258 1056 1294">-</td> <td data-bbox="1062 1258 1378 1294">FM1, FM2, MW1, MW2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 1303 545 1339">その他の地域</td> <td data-bbox="552 1303 673 1339">1</td> <td data-bbox="679 1303 801 1339">0</td> <td data-bbox="807 1303 928 1339">-</td> <td data-bbox="935 1303 1056 1339">-</td> <td data-bbox="1062 1303 1378 1339">FM1, FM2, FM3</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1348 673 1384">1</td> <td data-bbox="679 1348 801 1384">1</td> <td data-bbox="807 1348 928 1384">-</td> <td data-bbox="935 1348 1056 1384">-</td> <td data-bbox="1062 1348 1378 1384">FM1, FM2</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1393 673 1429">0</td> <td data-bbox="679 1393 801 1429">0</td> <td data-bbox="807 1393 928 1429">0</td> <td data-bbox="935 1393 1056 1429">-</td> <td data-bbox="1062 1393 1378 1429">FM1, FM2, FM3, MW1</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1438 673 1473">0</td> <td data-bbox="679 1438 801 1473">0</td> <td data-bbox="807 1438 928 1473">1</td> <td data-bbox="935 1438 1056 1473">-</td> <td data-bbox="1062 1438 1378 1473">FM1, FM2, FM3, MW1, MW2</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1482 673 1518">0</td> <td data-bbox="679 1482 801 1518">1</td> <td data-bbox="807 1482 928 1518">0</td> <td data-bbox="935 1482 1056 1518">-</td> <td data-bbox="1062 1482 1378 1518">FM1, FM2, MW1</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="552 1527 673 1563">0</td> <td data-bbox="679 1527 801 1563">1</td> <td data-bbox="807 1527 928 1563">1</td> <td data-bbox="935 1527 1056 1563">-</td> <td data-bbox="1062 1527 1378 1563">FM1, FM2, MW1, MW2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン - : Don't care)</p>	地域	ENFM	DISFM3	ENMW2	DISLW	受信バンド	西欧	1	0	-	-	FM1, FM2, FM3	東欧	1	1	-	-	FM1, FM2		0	0	0	0	FM1, FM2, FM3, MW1, LW		0	0	0	1	FM1, FM2, FM3, MW1		0	0	1	-	FM1, FM2, FM3, MW1, MW2		0	1	0	0	FM1, FM2, MW1, LW		0	1	0	1	FM1, FM2, MW1		0	1	1	-	FM1, FM2, MW1, MW2	その他の地域	1	0	-	-	FM1, FM2, FM3		1	1	-	-	FM1, FM2		0	0	0	-	FM1, FM2, FM3, MW1		0	0	1	-	FM1, FM2, FM3, MW1, MW2		0	1	0	-	FM1, FM2, MW1		0	1	1	-	FM1, FM2, MW1, MW2
地域	ENFM	DISFM3	ENMW2	DISLW	受信バンド																																																																																						
西欧	1	0	-	-	FM1, FM2, FM3																																																																																						
東欧	1	1	-	-	FM1, FM2																																																																																						
	0	0	0	0	FM1, FM2, FM3, MW1, LW																																																																																						
	0	0	0	1	FM1, FM2, FM3, MW1																																																																																						
	0	0	1	-	FM1, FM2, FM3, MW1, MW2																																																																																						
	0	1	0	0	FM1, FM2, MW1, LW																																																																																						
	0	1	0	1	FM1, FM2, MW1																																																																																						
	0	1	1	-	FM1, FM2, MW1, MW2																																																																																						
その他の地域	1	0	-	-	FM1, FM2, FM3																																																																																						
	1	1	-	-	FM1, FM2																																																																																						
	0	0	0	-	FM1, FM2, FM3, MW1																																																																																						
	0	0	1	-	FM1, FM2, FM3, MW1, MW2																																																																																						
	0	1	0	-	FM1, FM2, MW1																																																																																						
	0	1	1	-	FM1, FM2, MW1, MW2																																																																																						

初期設定ダイオード	機能説明																														
ENAMIF ENFMIF	<p>放送局検出に周波数カウンタの使用の有無を設定するためのスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 286 1233 712"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ENFMIF</th> <th rowspan="2">ENAMIF</th> <th colspan="2">放送局検出方法</th> </tr> <tr> <th>バンド</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">1</td> <td>FM</td> <td>周波数カウンタとSD方式</td> </tr> <tr> <td>MW, LW</td> <td>周波数カウンタとSD方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">0</td> <td>FM</td> <td>周波数カウンタとSD方式</td> </tr> <tr> <td>MW, LW</td> <td>SD方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0</td> <td rowspan="2">1</td> <td>FM</td> <td>SD方式</td> </tr> <tr> <td>MW, LW</td> <td>周波数カウンタとSD方式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0</td> <td rowspan="2">0</td> <td>FM</td> <td>SD方式</td> </tr> <tr> <td>MW, LW</td> <td>SD方式</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	ENFMIF	ENAMIF	放送局検出方法		バンド		1	1	FM	周波数カウンタとSD方式	MW, LW	周波数カウンタとSD方式	1	0	FM	周波数カウンタとSD方式	MW, LW	SD方式	0	1	FM	SD方式	MW, LW	周波数カウンタとSD方式	0	0	FM	SD方式	MW, LW	SD方式
ENFMIF	ENAMIF			放送局検出方法																											
		バンド																													
1	1	FM	周波数カウンタとSD方式																												
		MW, LW	周波数カウンタとSD方式																												
1	0	FM	周波数カウンタとSD方式																												
		MW, LW	SD方式																												
0	1	FM	SD方式																												
		MW, LW	周波数カウンタとSD方式																												
0	0	FM	SD方式																												
		MW, LW	SD方式																												
FAD_SEL	<p>電子ボリュームのフェーダ機能の有無を設定するスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 853 1385 1272"> <thead> <tr> <th>FAD_SEL</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td> フェーダ機能を有効にします。 電子ボリューム・モードは、VOL SEL を押すことにより、次のように切り替わります。 <div style="text-align: center;">  </div> </td> </tr> <tr> <td>1</td> <td> フェーダ機能を無効にします。 電子ボリューム・モードは、VOL SEL を押すことにより、次のように切り替わります。 <div style="text-align: center;">  </div> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	FAD_SEL	説明	0	フェーダ機能を有効にします。 電子ボリューム・モードは、 VOL SEL を押すことにより、次のように切り替わります。 <div style="text-align: center;">  </div>	1	フェーダ機能を無効にします。 電子ボリューム・モードは、 VOL SEL を押すことにより、次のように切り替わります。 <div style="text-align: center;">  </div>																								
FAD_SEL	説明																														
0	フェーダ機能を有効にします。 電子ボリューム・モードは、 VOL SEL を押すことにより、次のように切り替わります。 <div style="text-align: center;">  </div>																														
1	フェーダ機能を無効にします。 電子ボリューム・モードは、 VOL SEL を押すことにより、次のように切り替わります。 <div style="text-align: center;">  </div>																														
FLASH	<p>時計のコロン(:)表示を設定するためのスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 1413 1007 1621"> <thead> <tr> <th>FLASH</th> <th>コロン(:)表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>常灯</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>点滅 周波数 ; 1 Hz デューティ ; 6 (点灯) : 4 (消灯)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	FLASH	コロン(:)表示	0	常灯	1	点滅 周波数 ; 1 Hz デューティ ; 6 (点灯) : 4 (消灯)																								
FLASH	コロン(:)表示																														
0	常灯																														
1	点滅 周波数 ; 1 Hz デューティ ; 6 (点灯) : 4 (消灯)																														
IFAM	<p>AMバンド (MW, LW) の中間周波数を設定するためのスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 1771 743 1899"> <thead> <tr> <th>IFAM</th> <th>中間周波数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>450 kHz</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>10.71 MHz</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	IFAM	中間周波数	0	450 kHz	1	10.71 MHz																								
IFAM	中間周波数																														
0	450 kHz																														
1	10.71 MHz																														

初期設定ダイオード	機能説明															
<p>ILLA ILLB</p>	<p>イルミネーション・コントロールを設定するスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ILLA</th> <th>ILLB</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>ラウドネス機能のみ</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>ラウドネス/イルミネーション機能</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>ラウドネス/イルミネーション機能</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>ラウドネス機能のみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	ILLA	ILLB	機能	0	0	ラウドネス機能のみ	0	1	ラウドネス/イルミネーション機能	1	0	ラウドネス/イルミネーション機能	1	1	ラウドネス機能のみ
ILLA	ILLB	機能														
0	0	ラウドネス機能のみ														
0	1	ラウドネス/イルミネーション機能														
1	0	ラウドネス/イルミネーション機能														
1	1	ラウドネス機能のみ														
<p>KTAPE</p>	<p>テープ機能 (MTL) をラジオ機能キー M5 と共用させるためのキーです。 次のように選択できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KTAPE</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>テープ・モード時, M5 キーをMTLと共用しない</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>テープ・モード時, M5 キーをMTLと共用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p> <p>なお, KTAPEの状態にかかわらず, 次のモードでは, プリセット・メモリ呼び出しおよび書き込みキーとして動作します。</p> <p>テープ・ラジオ・モニタ・モード CDラジオ・モニタ・モード</p>	KTAPE	説明	0	テープ・モード時, M5 キーをMTLと共用しない	1	テープ・モード時, M5 キーをMTLと共用する									
KTAPE	説明															
0	テープ・モード時, M5 キーをMTLと共用しない															
1	テープ・モード時, M5 キーをMTLと共用する															
<p>MUTESEL</p>	<p>テープ・モード時およびCDモード時のRDMUTE端子出力方法を設定します。 次のように設定されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>MUTESEL</th> <th>RDMUTE端子出力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>テープ, CDモード時にミュートはオフします。</p> <p>MUTESEL = 1としたときは, ラジオ・モニタ機能は使用しないでください。</p> </td> </tr> <tr> <td>0</td> <td> <p>テープ, CDモード時にミュートはオンしたままとなります。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p> <p>詳しくは, 7. ミュート出力タイミング・チャートを参照してください。</p>	MUTESEL	RDMUTE端子出力	1	<p>テープ, CDモード時にミュートはオフします。</p> <p>MUTESEL = 1としたときは, ラジオ・モニタ機能は使用しないでください。</p>	0	<p>テープ, CDモード時にミュートはオンしたままとなります。</p>									
MUTESEL	RDMUTE端子出力															
1	<p>テープ, CDモード時にミュートはオフします。</p> <p>MUTESEL = 1としたときは, ラジオ・モニタ機能は使用しないでください。</p>															
0	<p>テープ, CDモード時にミュートはオンしたままとなります。</p>															
<p>MWS</p>	<p>MWバンドのステレオ受信機能の有無を設定するスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>MWS</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>MWバンドのステレオ受信機能を使用します。</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>MWバンドのステレオ受信機能を禁止します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	MWS	説明	1	MWバンドのステレオ受信機能を使用します。	0	MWバンドのステレオ受信機能を禁止します。									
MWS	説明															
1	MWバンドのステレオ受信機能を使用します。															
0	MWバンドのステレオ受信機能を禁止します。															

初期設定ダイオード	機能説明								
NOCLK	<p>時計の有無を設定するためのスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 286 817 421"> <thead> <tr> <th>NOCLK</th> <th>時計の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	NOCLK	時計の有無	0	あり	1	なし		
NOCLK	時計の有無								
0	あり								
1	なし								
<p>PRIO1 PRIO2</p>	<p>優先表示を設定するためのスイッチです。 優先表示とは、表示が切り替わったあと何もしなければ、5秒後にその表示に復帰する表示のことです。 なお初期設定ダイオードNOCLK = 0 (時計あり) のときのみ、PRIO1およびPRIO2スイッチの状態により優先表示を決定します。NOCLK = 1 (時計なし) のときはPRIO1およびPRIO2スイッチの状態を無視します。</p> <table border="1" data-bbox="395 645 1385 1731"> <thead> <tr> <th>PRIO1</th> <th>PRIO2</th> <th>優先表示</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>なし</td> <td> <p>表示の切り替えは DISP キーおよび選局キー (時計表示中) を操作したときに行います。</p> <p>ラジオ・モード時 DISP キーを押すごとに周波数表示と時計表示を切り替えます。 時計表示中に選局キーを押すと周波数表示となります。</p> <p>テープ・モード時 DISP キーを押すごとに “ TAPPE ” 表示と時計表示を切り替えます。</p> <p>CDモード時 DISP キーを押すごとに “ [CD] ” 表示と時計表示を切り替えます。</p> <p>テープ・ラジオ・モニタ・モード時 DISP キーを押すごとに、 “ TAPPE ” 表示、周波数表示および時計表示を切り替えます。 “ TAPPE ” および時計表示中に選局キーを押すと、周波数表示になります。 最初にテープ・ラジオ・モニタ・モードになったときは周波数表示となります。</p> <p>CDラジオ・モニタ・モード時 DISP キーを押すごとに、 “ [CD] ” 表示、周波数表示および時計表示を切り替えます。 “ [CD] ” および時計表示中に選局キーを押すと、周波数表示になります。 最初にCDラジオ・モニタ・モードになったときは周波数表示になります。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(0: オープン)</p>	PRIO1	PRIO2	優先表示	説明	0	0	なし	<p>表示の切り替えは DISP キーおよび選局キー (時計表示中) を操作したときに行います。</p> <p>ラジオ・モード時 DISP キーを押すごとに周波数表示と時計表示を切り替えます。 時計表示中に選局キーを押すと周波数表示となります。</p> <p>テープ・モード時 DISP キーを押すごとに “ TAPPE ” 表示と時計表示を切り替えます。</p> <p>CDモード時 DISP キーを押すごとに “ [CD] ” 表示と時計表示を切り替えます。</p> <p>テープ・ラジオ・モニタ・モード時 DISP キーを押すごとに、 “ TAPPE ” 表示、周波数表示および時計表示を切り替えます。 “ TAPPE ” および時計表示中に選局キーを押すと、周波数表示になります。 最初にテープ・ラジオ・モニタ・モードになったときは周波数表示となります。</p> <p>CDラジオ・モニタ・モード時 DISP キーを押すごとに、 “ [CD] ” 表示、周波数表示および時計表示を切り替えます。 “ [CD] ” および時計表示中に選局キーを押すと、周波数表示になります。 最初にCDラジオ・モニタ・モードになったときは周波数表示になります。</p>
PRIO1	PRIO2	優先表示	説明						
0	0	なし	<p>表示の切り替えは DISP キーおよび選局キー (時計表示中) を操作したときに行います。</p> <p>ラジオ・モード時 DISP キーを押すごとに周波数表示と時計表示を切り替えます。 時計表示中に選局キーを押すと周波数表示となります。</p> <p>テープ・モード時 DISP キーを押すごとに “ TAPPE ” 表示と時計表示を切り替えます。</p> <p>CDモード時 DISP キーを押すごとに “ [CD] ” 表示と時計表示を切り替えます。</p> <p>テープ・ラジオ・モニタ・モード時 DISP キーを押すごとに、 “ TAPPE ” 表示、周波数表示および時計表示を切り替えます。 “ TAPPE ” および時計表示中に選局キーを押すと、周波数表示になります。 最初にテープ・ラジオ・モニタ・モードになったときは周波数表示となります。</p> <p>CDラジオ・モニタ・モード時 DISP キーを押すごとに、 “ [CD] ” 表示、周波数表示および時計表示を切り替えます。 “ [CD] ” および時計表示中に選局キーを押すと、周波数表示になります。 最初にCDラジオ・モニタ・モードになったときは周波数表示になります。</p>						

初期設定ダイオード		機能説明		
PRIO1	PRIO2	優先表示	説明	
1	0	周波数 [F] TAPE	<p>周波数または“ [F] ”または“ TAPE ”表示から [DISP] キーにより時計表示にすると、何の操作もしなければ5秒後に元の表示に戻ります。</p> <p>ラジオ・モード時 通常周波数表示をしており、 [DISP] キーを押すと、5秒間時計表示となります。 5秒間の時計表示中に再度 [DISP] キーを押すか、選局キーを押すと、周波数表示に戻ります。</p> <p>テープ・モード時 通常“ TAPE ”表示をしており、 [DISP] キーを押すと、5秒間時計表示となります。 5秒間の時計表示中に再度 [DISP] キーを押すと、“ TAPE ”表示に戻ります。</p> <p>CDモード時 通常“ [F] ”表示をしており、 [DISP] キーを押すと、5秒間時計表示となります。 5秒間の時計表示中に再度 [DISP] キーを押すと、“ [F] ”表示に戻ります。</p> <p>テープ・ラジオ・モニタ・モード時 通常“ TAPE ”表示をしており、 [DISP] キーを押すと、5秒間周波数表示となります。 5秒間の周波数表示中に再度 [DISP] キーを押すと、時計表示となります。 5秒間の時計表示中に再度 [DISP] キーを押すと、“ TAPE ”表示に戻ります。 “ TAPE ”および時計表示中に選局キーを押すと、5秒間周波数表示になります。</p> <p>CDラジオ・モニタ・モード時 通常“ [F] ”表示をしており、 [DISP] キーを押すと、5秒間周波数表示となります。 5秒間の周波数表示中に再度 [DISP] キーを押すと、時計表示となります。 5秒間の時計表示中に再度 [DISP] キーを押すと、“ [F] ”表示に戻ります。 “ [F] ”および時計表示中に選局キーを押すと、5秒間周波数表示になります。</p>	

(1 : ダイオードでショート 0 : オープン)

初期設定ダイオード		機能説明		
PRIO1	PRIO2	優先表示	説明	
0	1	時計	<p>時計表示優先となります。</p> <p>ラジオ・モード時 通常時計表示をしており、DISP キーを押すと、5秒間周波数表示となります。</p> <p>5秒間の周波数表示中に再度 DISP キーを押すと、時計表示に戻ります。</p> <p>テープ・モード時 通常時計表示をしており、DISP キーを押すと、5秒間“TAPPE”表示となります。</p> <p>5秒間の“TAPPE”表示中に再度 DISP キーを押すと、時計表示に戻ります。</p> <p>CDモード時 通常時計表示をしており、DISP キーを押すと、5秒間“[CD]”表示となります。</p> <p>5秒間の“[CD]”表示中に再度 DISP キーを押すと、時計表示に戻ります。</p> <p>テープ・ラジオ・モニタ・モード時 通常時計表示をしており、DISP キーを押すことにより5秒間“TAPPE”表示となります。5秒間の“TAPPE”表示中に再度 DISP キーを押すと、周波数表示になります。5秒間の周波数表示中に再度 DISP キーを押すと、時計表示に戻ります。</p> <p>“TAPPE”および時計表示中に選局キーを押すと、5秒間周波数表示になります。</p> <p>CDラジオ・モニタ・モード時 通常時計表示をしており、DISP キーを押すと、5秒間“[CD]”表示となります。</p> <p>5秒間の“[CD]”表示中に再度 DISP キーを押すと、周波数表示になります。</p> <p>5秒間の周波数表示中に再度 DISP キーを押すと、時計表示に戻ります。</p> <p>“[CD]”および時計表示中に選局キーを押すと、5秒間周波数表示になります。</p>	
1	1	-	このモードに設定しないでください。	

(1: ダイオードでショート 0: オープン)

時計なし (NOCLK = 1) のときは、PRIO1, PRIO2スイッチに関係なく次の表示になります。また **DISP** キーは無効になります。

モード	表示
ラジオ・モード	周波数
テープ・モード	TAPPE
CDモード	[CD]
テープ・ラジオ・モニタ・モード	周波数
CDラジオ・モニタ・モード	周波数

初期設定ダイオード	機 能 説 明															
VKYSEL	<p>電子ボリューム・モードでのアップ/ダウンを行うキーを設定するスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 286 1385 555"> <thead> <tr> <th data-bbox="402 295 545 331">VKYSEL</th> <th data-bbox="545 295 1378 331">説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="402 331 545 421">0</td> <td data-bbox="545 331 1378 421">各電子ボリューム・モードのコントロールは、 VOL UP, VOL DWN キーで行います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 421 545 546">1</td> <td data-bbox="545 421 1378 546">電子ボリューム・モードのコントロールは、 MAN UP, MAN DWN キーで行います。 VOL UP, VOL DWN キーでは行えません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p>	VKYSEL	説 明	0	各電子ボリューム・モードのコントロールは、 VOL UP , VOL DWN キーで行います。	1	電子ボリューム・モードのコントロールは、 MAN UP , MAN DWN キーで行います。 VOL UP , VOL DWN キーでは行えません。									
VKYSEL	説 明															
0	各電子ボリューム・モードのコントロールは、 VOL UP , VOL DWN キーで行います。															
1	電子ボリューム・モードのコントロールは、 MAN UP , MAN DWN キーで行います。 VOL UP , VOL DWN キーでは行えません。															
VOLATT_H VOLATT_L	<p>電子ボリュームのゲインを設定するスイッチです。 次のように設定されます。</p> <table border="1" data-bbox="395 689 967 900"> <thead> <tr> <th data-bbox="402 698 587 734">VOLATT_H</th> <th data-bbox="587 698 772 734">VOLATT_L</th> <th data-bbox="772 698 960 734">ゲイン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="402 734 587 779">0</td> <td data-bbox="587 734 772 779">0</td> <td data-bbox="772 734 960 779">11.25 dB</td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 779 587 824">0</td> <td data-bbox="587 779 772 824">1</td> <td data-bbox="772 779 960 824">7.5 dB</td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 824 587 869">1</td> <td data-bbox="587 824 772 869">0</td> <td data-bbox="772 824 960 869">0 dB</td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 869 587 900">1</td> <td data-bbox="587 869 772 900">1</td> <td data-bbox="772 869 960 900">3.75 dB</td> </tr> </tbody> </table>	VOLATT_H	VOLATT_L	ゲイン	0	0	11.25 dB	0	1	7.5 dB	1	0	0 dB	1	1	3.75 dB
VOLATT_H	VOLATT_L	ゲイン														
0	0	11.25 dB														
0	1	7.5 dB														
1	0	0 dB														
1	1	3.75 dB														

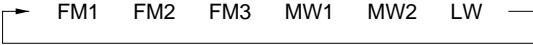
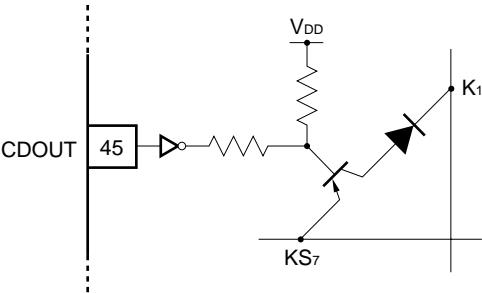
2.6.2 オルタネートまたはトランジスタ・スイッチ

次の表の説明で、スイッチのオンはハイ・レベルが入力されていることを示し、スイッチのオフはロウ・レベルが入力されていることを示します。

オルタネート/トランジスタ・スイッチ	説 明													
CDSET	CDモードにするためのスイッチです。 CE端子がハイ・レベルのときのみ有効になります。 このスイッチをオンすることにより、CDモードになります。													
DTH	着脱式パネルの着脱状態の入力スイッチです。 このスイッチがオフしているとき、着脱式パネルが脱状態となります。													
FF	テープ・モードの早送り信号入力スイッチです。 RLスイッチの状態により次のようにテープ走行表示 (◀▶) を点灯します。 <table border="1" data-bbox="395 712 855 960"> <thead> <tr> <th>FF</th> <th>RL</th> <th>表 示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">0</td> <td>0</td> <td>◀▶</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>◀▶</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>0</td> <td>◀▶</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>◀▶</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="395 967 831 1048"> (▶ : 消灯 ▶ : 点灯 ▶ : 点滅 (2.5Hz)) 0 : オフ 1 : オン </p>	FF	RL	表 示	0	0	◀▶	1	◀▶	1	0	◀▶	1	◀▶
FF	RL	表 示												
0	0	◀▶												
	1	◀▶												
1	0	◀▶												
	1	◀▶												
RDSET	ラジオ・モードにするためのスイッチです。 CE端子がハイ・レベルのときのみ有効となります。 CDSET, TPSETスイッチがともにオフのとき、このスイッチがオンしているとラジオ・モードになります。													
RL	テープ・モード時の走行方向信号入力スイッチです。 FFスイッチの状態によりテープ走行方向 (▶◀) を点灯します。点灯内容はFFスイッチの項を参照してください。													
ST	ラジオ・モード時のステレオ信号入力スイッチです。 ラジオ・モードでFMバンド時、このスイッチがオンすると、“ST”表示を点灯します。 またMWバンドがステレオ受信機能あり (初期設定ダイオードMWS = 1) のとき、MWバンドでこのスイッチがオンしたときも“ST”表示を点灯します。 ただしモノラル・オン状態では“ST”表示は消灯します。													
TPSET	テープ・モードにするためのスイッチです。 CE端子がハイ・レベルのときのみ有効となります。 CDSETスイッチがオフのときに、このスイッチがオンしているとテープ・モードになります。													




















2.6.3 モメンタリ・キー

次にモメンタリ・キーの機能について説明します（アルファベット順）。

モメンタリ・キー	説 明
<p>ALARM</p>	<p>アラーム・モードを設定するときのみ有効のキーです。 IGNITION端子がロウ・レベルのときおよび初期設定ダイオードDISALARM = 0のとき有効です。 詳しくは3. アラーム機能を参照してください。</p>
<p>BAND</p>	<p>受信バンド切り替え用のキーです。 ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時、有効になります。 このキーを押すごとに次のようにシーケンシャルにバンドを切り替えます。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>ただし、受信地域を設定する初期設定ダイオードAREA1, AREA2, AREA3および受信バンドを設定する初期設定ダイオードDISFM3, DISLW, ENFM, ENMW2により禁止されたバンドは除いて切り替わります。 同一バンド（FM, MW）内のバンド切り替え（FM1 FM2 FM3, MW1 MW2）時はバンド表示とラスト・チャンネルが変化します。 テープ・モード、CDモード時、BAND キーは無効となります。</p>
<p>CD</p>	<p>CD キーを押すごとに、CDOOUT端子（45ピン）の出力を反転します。 CDOOUT出力を使用することにより次のようなアプリケーションも可能です。 CDOOUT出力によって、CDSETに接続したトランジスタ・スイッチをオン/オフさせることにより、CD キーによるCDモードのオン/オフが行えます。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>

モメンタリ・キー	説 明																																
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">DISP</div>	<p>表示の切り替えを行うためのキーです。 初期設定ダイオードNOCLK = 0 (時計あり) のとき有効となります。 表示の切り替えは次のように動作します。</p> <p>(1) ラジオ・モード時</p> <p>キーを押すごとに、周波数表示と時計表示を切り替えます。 シーク・スキャン、オートプリセット・スキャン中は無効となります。 初期設定ダイオードPRIO1, PRIO2により次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="395 495 1385 864"> <thead> <tr> <th>PRIO1</th> <th>PRIO2</th> <th>優先表示</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>なし</td> <td><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに周波数表示と時計表示を切り替えます。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>周波数表示</td> <td>周波数表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間時計表示となります。時計表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で周波数表示に戻ります。</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>時計表示</td> <td>時計表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間周波数表示になります。周波数表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で時計表示に戻ります。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p> <p>ラジオ・モードに切り替わったときは、周波数表示からスタートします。</p> <p>(2) テープ・モード時</p> <p>キーを押すごとに、“TAPE”表示と時計表示を切り替えます。 初期設定ダイオードPRIO1, PRIO2により次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="395 1133 1385 1503"> <thead> <tr> <th>PRIO1</th> <th>PRIO2</th> <th>優先表示</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>なし</td> <td><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに周波数表示と時計表示を切り替えます。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>“TAPE”表示</td> <td>“TAPE”表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間時計表示となります。時計表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で“TAPE”表示に戻ります。</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>時計表示</td> <td>時計表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間“TAPE”表示になります。“TAPE”表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で時計表示に戻ります。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p> <p>テープ・モードに切り替わったときは、“TAPE”表示からスタートします。</p>	PRIO1	PRIO2	優先表示	説 明	0	0	なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに周波数表示と時計表示を切り替えます。	1	0	周波数表示	周波数表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間時計表示となります。時計表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で周波数表示に戻ります。	0	1	時計表示	時計表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間周波数表示になります。周波数表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で時計表示に戻ります。	PRIO1	PRIO2	優先表示	説 明	0	0	なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに周波数表示と時計表示を切り替えます。	1	0	“TAPE”表示	“TAPE”表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間時計表示となります。時計表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で“TAPE”表示に戻ります。	0	1	時計表示	時計表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間“TAPE”表示になります。“TAPE”表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で時計表示に戻ります。
PRIO1	PRIO2	優先表示	説 明																														
0	0	なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに周波数表示と時計表示を切り替えます。																														
1	0	周波数表示	周波数表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間時計表示となります。時計表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で周波数表示に戻ります。																														
0	1	時計表示	時計表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間周波数表示になります。周波数表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で時計表示に戻ります。																														
PRIO1	PRIO2	優先表示	説 明																														
0	0	なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに周波数表示と時計表示を切り替えます。																														
1	0	“TAPE”表示	“TAPE”表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間時計表示となります。時計表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で“TAPE”表示に戻ります。																														
0	1	時計表示	時計表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間“TAPE”表示になります。“TAPE”表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で時計表示に戻ります。																														

モメンタリ・キー	説 明																																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div>	<p>(3) CDモード時</p> <p>キーを押すごとに，“ [CD] ”表示と時計表示を切り替えます。 初期設定ダイオードPRIO1, PRIO2により次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="395 344 1390 719"> <thead> <tr> <th>PRI01</th> <th>PRI02</th> <th>優先表示</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">なし</td> <td><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに“ [CD] ”表示と時計表示を切り替えます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">“ [CD] ” 表示</td> <td>“ [CD] ”表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間時計表示となります。時計表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で“ [CD] ”表示に戻ります。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">時計表示</td> <td>時計表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間“ [CD] ”表示になります。“ [CD] ”表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で時計表示に戻ります。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p> <p>CDモードに切り替わったときは，“ [CD] ”表示からスタートします。</p> <p>(4) テープ・ラジオ・モニタ・モード時</p> <p>キーを押すごとに，“ TAPE ”表示と周波数表示と時計表示を切り替えます。 初期設定ダイオードPRIO1, PRIO2により次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="395 987 1390 1720"> <thead> <tr> <th>PRI01</th> <th>PRI02</th> <th>優先表示</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">なし</td> <td><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ← “ TAPE ” 周波数 時計 </div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">“ TAPE ” 表示</td> <td><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ← “ TAPE ” 周波数 時計 </div> <p>周波数表示または時計表示中に何の操作もなければ5秒後に“ TAPE ”表示に復帰します。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">時計表示</td> <td><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ← “ TAPE ” 周波数 時計 </div> <p>周波数表示または“ TAPE ”表示中に何の操作もなければ5秒後に時計表示に復帰します。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p> <p>テープ・ラジオ・モニタ・モードに切り替わったときは周波数表示からスタートします。</p>			PRI01	PRI02	優先表示	説 明	0	0	なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに“ [CD] ”表示と時計表示を切り替えます。	1	0	“ [CD] ” 表示	“ [CD] ”表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間時計表示となります。時計表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で“ [CD] ”表示に戻ります。	0	1	時計表示	時計表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間“ [CD] ”表示になります。“ [CD] ”表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で時計表示に戻ります。	PRI01	PRI02	優先表示	説 明	0	0	なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ← “ TAPE ” 周波数 時計 </div>	1	0	“ TAPE ” 表示	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ← “ TAPE ” 周波数 時計 </div> <p>周波数表示または時計表示中に何の操作もなければ5秒後に“ TAPE ”表示に復帰します。</p>	0	1	時計表示	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ← “ TAPE ” 周波数 時計 </div> <p>周波数表示または“ TAPE ”表示中に何の操作もなければ5秒後に時計表示に復帰します。</p>
PRI01	PRI02	優先表示	説 明																																
0	0	なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに“ [CD] ”表示と時計表示を切り替えます。																																
1	0	“ [CD] ” 表示	“ [CD] ”表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間時計表示となります。時計表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で“ [CD] ”表示に戻ります。																																
0	1	時計表示	時計表示中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、5秒間“ [CD] ”表示になります。“ [CD] ”表示中の5秒間に再度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すと、その時点で時計表示に戻ります。																																
PRI01	PRI02	優先表示	説 明																																
0	0	なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ← “ TAPE ” 周波数 時計 </div>																																
1	0	“ TAPE ” 表示	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ← “ TAPE ” 周波数 時計 </div> <p>周波数表示または時計表示中に何の操作もなければ5秒後に“ TAPE ”表示に復帰します。</p>																																
0	1	時計表示	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">DISP</div> キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ← “ TAPE ” 周波数 時計 </div> <p>周波数表示または“ TAPE ”表示中に何の操作もなければ5秒後に時計表示に復帰します。</p>																																

モメンタリ・キー	説 明																
<p>DISP</p>	<p>(5) CDラジオ・モニタ・モード時</p> <p>キーを押すごとに，“ ”表示と周波数表示と時計表示を切り替えます。</p> <p>初期設定ダイオードPRIO1, PRIO2により次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="395 347 1391 1075"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 347 513 392">PRIO1</th> <th data-bbox="513 347 632 392">PRIO2</th> <th data-bbox="632 347 746 392">優先表示</th> <th data-bbox="746 347 1391 392">説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 392 513 564">0</td> <td data-bbox="513 392 632 564">0</td> <td data-bbox="632 392 746 564">なし</td> <td data-bbox="746 392 1391 564"> <p>DISP キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 周波数 時計</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 564 513 824">1</td> <td data-bbox="513 564 632 824">0</td> <td data-bbox="632 564 746 824">“ ”表示</td> <td data-bbox="746 564 1391 824"> <p>DISP キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 周波数 時計</p> <p>周波数表示または時計表示中に何の操作もなければ5秒後に“ ”表示に復帰します。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 824 513 1075">0</td> <td data-bbox="513 824 632 1075">1</td> <td data-bbox="632 824 746 1075">時計表示</td> <td data-bbox="746 824 1391 1075"> <p>DISP キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 周波数 時計</p> <p>周波数表示または“ ”表示中に何の操作もなければ5秒後に時計表示に復帰します。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p> <p>CDラジオ・モニタ・モードに切り替わったときは周波数表示からスタートします。</p> <p>(6) 時計表示のとき</p> <p>時計調整用のキーとして使用します。</p> <p>DISP キーを押し続けている間に MAN UP , MAN DWN キーを押すことにより、それぞれ次のように分析、時桁の調整を行います。</p> <p>時間調整</p> <p>MAN DWN キーを押すごとに1時間ずつ進みます。キーを0.5秒以上押し続けると、キーを離すまで4時間 / 秒 (250 msに1時間) の速さで連続送りをします。</p> <p>分析および秒カウント値、運針動作には影響を与えません。</p> <p>分析調整</p> <p>MAN UP キーを押すごとに1分ずつ進みます。キーを0.5秒以上押し続けると、キーを離すまで8分 / 秒 (125 msに1分) の速さで連続送りをします。</p> <p>時桁への繰り上げはありません。また調整するごとに秒カウントはリセットされます。</p>	PRIO1	PRIO2	優先表示	説 明	0	0	なし	<p>DISP キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 周波数 時計</p>	1	0	“  ”表示	<p>DISP キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 周波数 時計</p> <p>周波数表示または時計表示中に何の操作もなければ5秒後に“ ”表示に復帰します。</p>	0	1	時計表示	<p>DISP キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 周波数 時計</p> <p>周波数表示または“ ”表示中に何の操作もなければ5秒後に時計表示に復帰します。</p>
PRIO1	PRIO2	優先表示	説 明														
0	0	なし	<p>DISP キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 周波数 時計</p>														
1	0	“  ”表示	<p>DISP キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 周波数 時計</p> <p>周波数表示または時計表示中に何の操作もなければ5秒後に“ ”表示に復帰します。</p>														
0	1	時計表示	<p>DISP キーを押すごとに次のように表示をトグルで切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 周波数 時計</p> <p>周波数表示または“ ”表示中に何の操作もなければ5秒後に時計表示に復帰します。</p>														


モメンタリ・キー	説 明															
<p>DSP</p>	<p>DSP キーを押すことによって、DSP1、DSP2端子の出力を次のように切り替えます。初期値は“NORMAL”です。パワーオフ時もNORMALモードになります。</p> <table border="1" data-bbox="395 286 1082 504"> <thead> <tr> <th>DSP1</th> <th>DSP2</th> <th>出力モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>NORMAL</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>CLASSIC</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>ROCK</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>POP</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p> <p>ラジオ、テープ、CDモード時は、それぞれの出力モードのラスト状態がメモリされています。</p> <p>例 ラジオ・モード テープ・モード ラジオ・モード (CLASSIC) (ROCK) (CLASSIC) ラスト状態—————↑</p> <p>それぞれのモード時の表示は、出力モードに対応して“NORMAL”、“CLASSIC”、“ROCK”、“POP”が表示されます。</p>	DSP1	DSP2	出力モード	0	0	NORMAL	0	1	CLASSIC	1	0	ROCK	1	1	POP
DSP1	DSP2	出力モード														
0	0	NORMAL														
0	1	CLASSIC														
1	0	ROCK														
1	1	POP														
<p>LOUD/ ILLUMI- NATION</p>	<p>LOUD (ラウドネス) コントロールおよびイルミネーション・コントロール切り替え用のキーです。</p> <p>(1) ラウドネス・コントロール</p> <p>ラジオ、テープ、CDモードで有効となります。</p> <p>このキーを押すごとにラウドネスと電子ボリュームのラウドネス機能のオン/オフ状態を切り替えます。</p> <p>ラウドネス状態と“LOUD”表示状態、LOUD端子の出力状態および電子ボリュームICの状態を次に示します。</p> <table border="1" data-bbox="395 1176 1236 1305"> <thead> <tr> <th>ラウドネス状態</th> <th>“LOUD”表示</th> <th>LOUD端子</th> <th>電子ボリュームICの状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>点灯</td> <td>ハイ・レベル</td> <td>ラウドネスONモード^注</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>消灯</td> <td>ロウ・レベル</td> <td>ラウドネスOFFモード^注</td> </tr> </tbody> </table> <p>ラジオ、テープ、CDモード切り替えを行ってもラウドネス状態は保持されます。</p> <p>注 ラウドネスONモード時：電子ボリュームのゲインを+7.5 dBに設定します。 ラウドネスOFFモード時：電子ボリュームのゲインを0 dBに設定します。</p> <p>(2) イルミネーション・コントロール</p> <p>ラジオ、テープ、CDモードで有効となります。</p> <p>このキーを2秒以上押すことによって、ILLUMI出力を前の状態から反転します。初期値はロウ・レベル出力です。ただし、初期設定ダイオードILLA、ILLBによって、イルミネーション・コントロールの有効/無効が設定できます(2.6.1 初期設定ダイオード・マトリクス参照)。</p>	ラウドネス状態	“LOUD”表示	LOUD端子	電子ボリュームICの状態	ON	点灯	ハイ・レベル	ラウドネスONモード ^注	OFF	消灯	ロウ・レベル	ラウドネスOFFモード ^注			
ラウドネス状態	“LOUD”表示	LOUD端子	電子ボリュームICの状態													
ON	点灯	ハイ・レベル	ラウドネスONモード ^注													
OFF	消灯	ロウ・レベル	ラウドネスOFFモード ^注													

モメンタリ・キー	説 明
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">M1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">M2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">M3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">M4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">M5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">M6</div>	<p>ラジオ・モード時は、プリセット・メモリ呼び出しおよび書き込み用キーとして使用します。</p> <p>テープ・モード時は初期設定ダイオード (KTAPE) により、M5 キーをテープ機能 (MTL) キーとして使用することができます。</p> <p>(1) ラジオ・モード, テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード時 プリセット・メモリ呼び出しおよび書き込み用のキーです。 1つのキーに対して、FM1, FM2, FM3, MW1, MW2, LWバンドが独立に (MAX.6バンド) メモリできます。</p> <p>次のように動作します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">説 明</p> <p>M1 ~ M6 キーを2秒以上押し続けると、押したキーに対応するプリセット・メモリに書き込みます。</p> <p>プリセット・メモリへの書き込みを終了すると、アクノリッジとしてラジオ・ミュートを出力します。</p> <p>例</p> <p>書き込み</p> <p>表示 周波数または時計表示 → 押されたキーのプリセット・メモリ・ナンバを表示 周波数は以前受信していたチャンネルを表示</p> <p>現在プリセット・メモリの内容を受信中であるとき、同一のプリセット・メモリ・キーが押されると、何の動作も行いません。ただし、時計表示中であれば、キーが押された時点でビープを出力し、表示を周波数に切り替えます。このときラジオ・ミュートを出力しません。</p> <p>シーク動作中は、キーが押されると、ただちに (2秒のカウンタは無視されます) 呼び出し動作を行います。</p> </div>

モメンタリ・キー	説 明																																																																																																																																													
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px; margin-bottom: 2px;">M1</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px; margin-bottom: 2px;">M2</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px; margin-bottom: 2px;">M3</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px; margin-bottom: 2px;">M4</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px; margin-bottom: 2px;">M5</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px; margin-bottom: 2px;">M6</div> </div>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">説 明</div> <p>M1 ~ M6 キーを押し、2秒以内に離すと、キーを離した時点でプリセット・メモリを呼び出します。</p> <p>例</p> <p>現在プリセット・メモリの内容を受信中であるとき、同一のプリセット・メモリ・キーを押したときは何の動作も行いません。ただし、時計表示中であればピーブを出力し、周波数表示に切り替えます。ラジオ・ミュートを出力しません。</p> <p>シーク動作中は、キーが押されるとただちに呼び出し動作を行います。</p>																																																																																																																																													
<p>電源投入時は、セットの調整に便利なようにM1-M6に次の周波数が書き込まれています。</p>																																																																																																																																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">メモリ</th> <th>M1</th> <th>M2</th> <th>M3</th> <th>M4</th> <th>M5</th> <th>M6</th> </tr> <tr> <th style="text-align: left;">地域</th> <th style="text-align: left;">バンド</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">東欧</td> <td>FM1 (MHz)</td> <td>65.0</td> <td>67.0</td> <td>68.5</td> <td>70.5</td> <td>72.5</td> <td>74.0</td> </tr> <tr> <td>FM2 (MHz)</td> <td>87.5</td> <td>87.7</td> <td>92.3</td> <td>96.3</td> <td>105.9</td> <td>87.5</td> </tr> <tr> <td>MW1 (kHz)</td> <td>522</td> <td>603</td> <td>954</td> <td>1386</td> <td>522</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td>MW2 (kHz)</td> <td>522</td> <td>621</td> <td>1098</td> <td>1530</td> <td>522</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td>LW (kHz)</td> <td>144</td> <td>155</td> <td>208</td> <td>256</td> <td>144</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">西欧</td> <td>FM1 (MHz)</td> <td>87.5</td> <td>87.7</td> <td>92.3</td> <td>96.3</td> <td>105.9</td> <td>87.5</td> </tr> <tr> <td>MW1 (kHz)</td> <td>522</td> <td>603</td> <td>954</td> <td>1386</td> <td>522</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td>MW2 (kHz)</td> <td>522</td> <td>621</td> <td>1098</td> <td>1530</td> <td>522</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td>LW (kHz)</td> <td>144</td> <td>155</td> <td>208</td> <td>256</td> <td>144</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">米国1, 米国2, 米国3</td> <td>FM1 (MHz)</td> <td>87.5</td> <td>87.9</td> <td>97.1</td> <td>105.1</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> </tr> <tr> <td>MW1 (kHz)</td> <td>530</td> <td>620</td> <td>1010</td> <td>1490</td> <td>530</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">豪州 中近東</td> <td>FM1 (MHz)</td> <td>87.5</td> <td>87.9</td> <td>97.1</td> <td>105.1</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> </tr> <tr> <td>MW1 (kHz)</td> <td>531</td> <td>612</td> <td>963</td> <td>1395</td> <td>531</td> <td>531</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">日本</td> <td>FM1 (MHz)</td> <td>76.0</td> <td>76.4</td> <td>85.6</td> <td>76.0</td> <td>76.0</td> <td>76.0</td> </tr> <tr> <td>MW1 (kHz)</td> <td>522</td> <td>603</td> <td>954</td> <td>1386</td> <td>522</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中国</td> <td>FM1 (MHz)</td> <td>87.0</td> <td>87.7</td> <td>92.3</td> <td>87.0</td> <td>87.0</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td>MW1 (kHz)</td> <td>531</td> <td>540</td> <td>585</td> <td>531</td> <td>531</td> <td>531</td> </tr> </tbody> </table>		メモリ		M1	M2	M3	M4	M5	M6	地域	バンド							東欧	FM1 (MHz)	65.0	67.0	68.5	70.5	72.5	74.0	FM2 (MHz)	87.5	87.7	92.3	96.3	105.9	87.5	MW1 (kHz)	522	603	954	1386	522	522	MW2 (kHz)	522	621	1098	1530	522	522	LW (kHz)	144	155	208	256	144	144	西欧	FM1 (MHz)	87.5	87.7	92.3	96.3	105.9	87.5	MW1 (kHz)	522	603	954	1386	522	522	MW2 (kHz)	522	621	1098	1530	522	522	LW (kHz)	144	155	208	256	144	144	米国1, 米国2, 米国3	FM1 (MHz)	87.5	87.9	97.1	105.1	87.5	87.5	MW1 (kHz)	530	620	1010	1490	530	530	豪州 中近東	FM1 (MHz)	87.5	87.9	97.1	105.1	87.5	87.5	MW1 (kHz)	531	612	963	1395	531	531	日本	FM1 (MHz)	76.0	76.4	85.6	76.0	76.0	76.0	MW1 (kHz)	522	603	954	1386	522	522	中国	FM1 (MHz)	87.0	87.7	92.3	87.0	87.0	87.0	MW1 (kHz)	531	540	585	531	531	531
メモリ		M1	M2	M3	M4	M5	M6																																																																																																																																							
地域	バンド																																																																																																																																													
東欧	FM1 (MHz)	65.0	67.0	68.5	70.5	72.5	74.0																																																																																																																																							
	FM2 (MHz)	87.5	87.7	92.3	96.3	105.9	87.5																																																																																																																																							
	MW1 (kHz)	522	603	954	1386	522	522																																																																																																																																							
	MW2 (kHz)	522	621	1098	1530	522	522																																																																																																																																							
	LW (kHz)	144	155	208	256	144	144																																																																																																																																							
西欧	FM1 (MHz)	87.5	87.7	92.3	96.3	105.9	87.5																																																																																																																																							
	MW1 (kHz)	522	603	954	1386	522	522																																																																																																																																							
	MW2 (kHz)	522	621	1098	1530	522	522																																																																																																																																							
	LW (kHz)	144	155	208	256	144	144																																																																																																																																							
米国1, 米国2, 米国3	FM1 (MHz)	87.5	87.9	97.1	105.1	87.5	87.5																																																																																																																																							
	MW1 (kHz)	530	620	1010	1490	530	530																																																																																																																																							
豪州 中近東	FM1 (MHz)	87.5	87.9	97.1	105.1	87.5	87.5																																																																																																																																							
	MW1 (kHz)	531	612	963	1395	531	531																																																																																																																																							
日本	FM1 (MHz)	76.0	76.4	85.6	76.0	76.0	76.0																																																																																																																																							
	MW1 (kHz)	522	603	954	1386	522	522																																																																																																																																							
中国	FM1 (MHz)	87.0	87.7	92.3	87.0	87.0	87.0																																																																																																																																							
	MW1 (kHz)	531	540	585	531	531	531																																																																																																																																							
<p>FM2, FM3および欧州1, 2以外のMW2バンドのM1-M6には、各地域の最低周波数が書き込まれています。</p> <p>テープ・モード時の動作</p> <p>初期設定ダイオードKTAPEにより、M5 キーをテープ機能 (MTL) キーとして共用できます。詳しくは2.6.1 初期設定ダイオード・マトリクスを参照してください。また MTL キーの項も参照してください。</p>																																																																																																																																														

モメンタリ・キー	説 明																		
<p>MAN UP</p> <p>MAN DWN</p>	<p>ラジオ・モード時に受信周波数のアップ/ダウン用キーとして、時計表示中は、DISP キーとともに用いて時計調整用キーとして使用します。またVKYSEL = 1の場合の電子ボリューム・モードでアップ/ダウンのキーとしても使用します。</p> <p>(1) ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時 初期設定ダイオードAUTO500により次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="395 427 1385 837"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 427 549 472">AUTO500</th> <th data-bbox="549 427 1385 472">説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 472 549 636">0</td> <td data-bbox="549 472 1385 636">キーを1回押すごとに、周波数が1ステップ（1チャンネル・スペース）分アップ（MAN UP キー）またはダウン（MAN DWN キー）します。キーを0.5秒以上押し続けると、早送りモードとなり50 msステップの速さで連続送りします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 636 549 837">1</td> <td data-bbox="549 636 1385 837">キーを1回押すごとに、周波数が1ステップ（1チャンネル・スペース）分アップ（MAN UP キー）またはダウン（MAN DWN キー）します。MAN UP キーを0.5秒以上押し続けると、0.5秒たった時点でシーク動作（シーク・アップ）を始めます。このときのシーク動作は SEEK UP キーと同様になります。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート 0: オープン)</p> <p>(2) テープ・モードの “ TAPPE ” 表示またはCDモード “ CD ” 表示中 無効となります。</p> <p>(3) 時計表示中 時計表示中でかつ DISP キーが先に押され続けているときに、MAN UP , MAN DWN キーを押すことにより、それぞれ分桁、時桁の調整が行えます。 分桁、時桁の調整方法については DISP キーの項を参照してください。</p> <p>(4) 電子ボリューム機能が有効の場合（ただしVKYSEL = 1のとき） VOL SEL キーで選択されたそれぞれの電子ボリューム・モードで、調整キー（アップ/ダウン）として動作します。 VOL SEL キーで電子ボリューム・モードに設定したあと、VOL UP / VOL DWN キーと同じ調整を MAN UP / MAN DWN キーで行えます。 電子ボリューム・モード以外の状態で MAN UP / MAN DWN キーを押しても、ボリューム・モードにはなりません。 それぞれの電子ボリューム・モードで MAN UP キーを押すと次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="395 1576 1158 1834"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 1576 549 1621">モード</th> <th data-bbox="549 1576 1158 1621">機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 1621 549 1666">ボリューム</td> <td data-bbox="549 1621 1158 1666">メイン・ボリューム（音量）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1666 549 1711">バス</td> <td data-bbox="549 1666 1158 1711">バス（低音域）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1711 549 1756">トレブル</td> <td data-bbox="549 1711 1158 1756">トレブル（高音域）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1756 549 1800">バランス</td> <td data-bbox="549 1756 1158 1800">右側の音量を強調します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1800 549 1834">フェーダ</td> <td data-bbox="549 1800 1158 1834">前側の音量を強調します。</td> </tr> </tbody> </table>	AUTO500	説 明	0	キーを1回押すごとに、周波数が1ステップ（1チャンネル・スペース）分アップ（ MAN UP キー）またはダウン（ MAN DWN キー）します。キーを0.5秒以上押し続けると、早送りモードとなり50 msステップの速さで連続送りします。	1	キーを1回押すごとに、周波数が1ステップ（1チャンネル・スペース）分アップ（ MAN UP キー）またはダウン（ MAN DWN キー）します。 MAN UP キーを0.5秒以上押し続けると、0.5秒たった時点でシーク動作（シーク・アップ）を始めます。このときのシーク動作は SEEK UP キーと同様になります。	モード	機 能	ボリューム	メイン・ボリューム（音量）をアップします。	バス	バス（低音域）をアップします。	トレブル	トレブル（高音域）をアップします。	バランス	右側の音量を強調します。	フェーダ	前側の音量を強調します。
AUTO500	説 明																		
0	キーを1回押すごとに、周波数が1ステップ（1チャンネル・スペース）分アップ（ MAN UP キー）またはダウン（ MAN DWN キー）します。キーを0.5秒以上押し続けると、早送りモードとなり50 msステップの速さで連続送りします。																		
1	キーを1回押すごとに、周波数が1ステップ（1チャンネル・スペース）分アップ（ MAN UP キー）またはダウン（ MAN DWN キー）します。 MAN UP キーを0.5秒以上押し続けると、0.5秒たった時点でシーク動作（シーク・アップ）を始めます。このときのシーク動作は SEEK UP キーと同様になります。																		
モード	機 能																		
ボリューム	メイン・ボリューム（音量）をアップします。																		
バス	バス（低音域）をアップします。																		
トレブル	トレブル（高音域）をアップします。																		
バランス	右側の音量を強調します。																		
フェーダ	前側の音量を強調します。																		

モメンタリ・キー	説 明																		
<p>MAN UP</p> <p>MAN DWN</p>	<p>それぞれの電子ボリューム・モードで、MAN DWN キーを押すと次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="395 250 1161 510"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボリューム</td> <td>メイン・ボリューム（音量）をダウンします。</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>バス（低音域）をダウンします。</td> </tr> <tr> <td>トレブル</td> <td>トレブル（高音域）をダウンします。</td> </tr> <tr> <td>バランス</td> <td>左側の音量を強調します。</td> </tr> <tr> <td>フェーダ</td> <td>後側の音量を強調します。</td> </tr> </tbody> </table>	モード	機 能	ボリューム	メイン・ボリューム（音量）をダウンします。	バス	バス（低音域）をダウンします。	トレブル	トレブル（高音域）をダウンします。	バランス	左側の音量を強調します。	フェーダ	後側の音量を強調します。						
モード	機 能																		
ボリューム	メイン・ボリューム（音量）をダウンします。																		
バス	バス（低音域）をダウンします。																		
トレブル	トレブル（高音域）をダウンします。																		
バランス	左側の音量を強調します。																		
フェーダ	後側の音量を強調します。																		
<p>MONO/LOC</p>	<p>モノラル（MONO/STEREO）コントロールおよびローカル（LOCAL/DX）コントロール用のキーです。</p> <p>(1) モノラル・コントロール</p> <p>2秒以上押すことでMONO/STEREO状態を切り替えます。</p> <p>ラジオ・モード，CDラジオ・モニタ・モード，テープ・ラジオ・モニタ・モードで，FMまたはMWバンド選択時有効になります（MWバンドは初期設定ダイオードMWS = 1でステレオ放送対応時のみ有効になります）。</p> <p>キーを押すごとにMONO/STEREO状態を切り替えます。</p> <p>MONO/STEREO状態と“ST”表示状態，“MONO”表示状態を次に示します。</p> <table border="1" data-bbox="395 869 1082 1003"> <thead> <tr> <th>MONO/STEREO状態</th> <th>“ST”表示</th> <th>“MONO”表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MONO</td> <td>消灯</td> <td>点灯</td> </tr> <tr> <td>STEREO</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ローカル・コントロール</p> <p>ラジオ・モード，CDラジオ・モニタ・モード，テープ・ラジオ・モニタ・モードで初期設定ダイオードAUTOLOC = 0のとき有効になります。</p> <p>キーを押すごとにLOCAL/DX状態を切り替えます（ただし，2秒以内にキーを離した場合）。</p> <p>LOCAL/DX状態と“LOC”表示状態およびLOC端子の出力状態を次に示します。</p> <table border="1" data-bbox="395 1272 1082 1406"> <thead> <tr> <th>LOCAL/DX状態</th> <th>“LOC”表示</th> <th>LOC端子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LOCAL</td> <td>点灯</td> <td>ハイ・レベル^注</td> </tr> <tr> <td>DX</td> <td>消灯</td> <td>ロウ・レベル</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 ハイ・レベルを出力するのはオートチューニング時のみで，オートチューニング時以外はロウ・レベルを出力します。</p> <p>1. 端子機能のLOCの項を参照してください。</p>	MONO/STEREO状態	“ST”表示	“MONO”表示	MONO	消灯	点灯	STEREO	点灯	消灯	LOCAL/DX状態	“LOC”表示	LOC端子	LOCAL	点灯	ハイ・レベル ^注	DX	消灯	ロウ・レベル
MONO/STEREO状態	“ST”表示	“MONO”表示																	
MONO	消灯	点灯																	
STEREO	点灯	消灯																	
LOCAL/DX状態	“LOC”表示	LOC端子																	
LOCAL	点灯	ハイ・レベル ^注																	
DX	消灯	ロウ・レベル																	
<p>MTL</p>	<p>MTL（METAL）コントロール用のキーです。</p> <p>ラジオ・モード，テープ・ラジオ・モニタ・モードで有効となります。このキーを押すごとにMETALのオン/オフ状態を切り替えます。</p> <p>METALのオン/オフ状態と“METAL”表示状態およびMETAL端子の出力状態を次に示します。</p> <table border="1" data-bbox="395 1706 1082 1841"> <thead> <tr> <th>METAL状態</th> <th>“METAL”表示</th> <th>METAL端子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>点灯</td> <td>ハイ・レベル</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>消灯</td> <td>ロウ・レベル</td> </tr> </tbody> </table>	METAL状態	“METAL”表示	METAL端子	ON	点灯	ハイ・レベル	OFF	消灯	ロウ・レベル									
METAL状態	“METAL”表示	METAL端子																	
ON	点灯	ハイ・レベル																	
OFF	消灯	ロウ・レベル																	

モメンタリ・キー	説明																
<p>MUTE</p>	<p>電子ボリュームのミュート機能をコントロールします。 ミュート中以外にキーを押すことでミュート（消音）・モードになります。 ミュート中はボリューム値を表示しながら，表示全体が点滅します。 次の場合にミュート機能が解除されます。</p> <p>DISP キー以外の有効キーが押された場合 モードが変わった場合 シーク，スキャン中に MUTE キーを押した状態で局があった場合 ミュート中に MUTE キーを押した場合</p>																
<p>POWER</p>	<p>モメンタリ・キーによるラジオのオン/オフを行う場合などに使用します。 IGNITION端子 = ハイ・レベルで有効となります。 このキーを押すことによりPOWER端子の出力を反転します。 POWER端子の出力をロウ・レベルにする（パワーオフする）と，テープ，CD，ラジオはオンの状態からでも強制的にパワーオフされます。このとき，時計ありモードでは時計表示あり，時計なしモードでは時計表示なしでパワーオフ・モードとなります。 パワーオン時のモードの状態は，RDSET, TPSET, CDSETスイッチの状態により次のようになります。</p> <table border="1" data-bbox="395 824 1161 996"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>RDSET</th> <th>TPSET</th> <th>CDSET</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラジオ・モード</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>テープ・モード</td> <td>ON/OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>CDモード</td> <td>ON/OFF</td> <td>ON/OFF</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table> <p>注意 一番初めにセットに電源を与えたとき，POWER端子からはハイ・レベルが出力されます。以後メイン電源を切らないかぎり，IGNITION端子：ロウ・レベル ハイ・レベルに変化したときは，POWER端子からはIGNITION端子=ロウ・レベルになる以前のレベルが出力されます。</p>	モード	RDSET	TPSET	CDSET	ラジオ・モード	ON	OFF	OFF	テープ・モード	ON/OFF	ON	OFF	CDモード	ON/OFF	ON/OFF	ON
モード	RDSET	TPSET	CDSET														
ラジオ・モード	ON	OFF	OFF														
テープ・モード	ON/OFF	ON	OFF														
CDモード	ON/OFF	ON/OFF	ON														
<p>P.SCAN</p>	<p>プリセット・スキャンおよびオートストア・メモリ・キーです。 このキーの動作は初期設定ダイオードDISAMEMOの状態により異なります。</p> <p>(1) DISAMEMO = 0 (オートストア・メモリ機能あり) のとき キーの操作タイミングにより動作が異なります。</p> <p>(a) 2秒以内にキーをオフしたとき キーを離れた時点で，プリセット・スキャン動作を行います。</p> <p>(b) 2秒以上キーをオンしたとき 2秒経過した時点でオートストア・メモリ動作を行います。</p> <p>(2) DISAMEMO = 1 (オートストア・メモリ機能なし) のとき キーを押した時点で，プリセット・スキャン動作を行います。</p> <p>プリセット・スキャンとオートストア・メモリ動作について次に示します。</p> <p>プリセット・スキャン動作 プリセット・メモリの内容を5秒間ずつ自動的に呼び出します。 現在プリセット・メモリ以外を受信中であればM1から，プリセット・メモリを受信中ならその次（たとえばM3受信中ならM4）のプリセット・メモリから順次5秒間ずつ呼び出します。この動作を次に示します。</p> <p>例 FM1バンドを受信中であるとき FM1</p> <div style="text-align: center;">  </div>																

モメンタリ・キー	説 明
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">P.SCAN</div>	<p>MWバンド (MW1, MW2), LWバンド時も同様な動作になります。</p> <p>5秒間のホールドを終えて次のプリセット・メモリに移るときにピーブを出力します。</p> <p>5秒間のホールド中は, プリセット・メモリ・ナンバ表示を1 Hz (デューティ50 %) で点滅します。 “CH” 表示は点滅しません。</p> <p>5秒間のホールド中にそのプリセット・メモリでとめるには, 再度このキーを押すか, 受信中のプリセット・メモリと同一のプリセット・メモリ・キーを押してください。またプリセット・メモリ書き込み (たとえばM1のホールド中にM5に書き込むようなとき) も可能ですが, 書き込んだ時点でプリセット・スキャン動作は終了します。</p> <p>プリセット・スキャン中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">M1</div> ~ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">M6</div> キーを2秒以上押し続けると, 押されたキーに対応するプリセット・メモリに現在受信中の周波数を書き込みます。プリセット・スキャンは, キーを押した時点で終了します。</p> <p>プリセット・スキャン中の各キーの動作は次のようになります。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">キー</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">説 明</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">P.SCAN</div>	スキャン動作を中止し, その周波数を受信します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN UP</div>	スキャン動作を中止し, 現在受信中の周波数からキーの動作を行います。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN DWN</div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SEEK UP</div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">MAN UP</div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">MAN DWN</div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">BAND</div>	ラジオ・モード, テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード時はスキャン動作を中止し, 現在受信中の周波数からキーの動作を行います。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">RDMONI</div>	モードにより動作が次のように異なります。 (1) ラジオ・モード時 スキャン動作は継続します。無効キーとなります。 (2) テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード時 スキャン動作を中止し, 現在受信中の周波数からキーの動作を行います。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">LOUD/ ILLUMI- NATION</div>	スキャン動作は継続します。押したキーの動作を行います。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">POWER</div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">MONO/LOC</div>	初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により, 次のように動作が異なります。 (1) AUTOLOC = 0のとき スキャン動作は継続します。キーの動作を行います。 (2) AUTOLOC = 1のとき スキャン動作は継続します。無効キーとなります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">M1</div>	ラジオ・モード, テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード時は
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">M2</div>	スキャン動作を中止します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">M3</div>	キーを離すタイミングにより, 次のように動作が異なります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">M4</div>	2秒以内にキーを離したとき
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">M5</div>	キーに対応するプリセット・メモリを呼び出します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">M6</div>	2秒以上キーを押し続けたとき 現在受信中の周波数を押したキーに対応するプリセット・メモリに書き込みます。

モメンタリ・キー	説 明
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">P.SCAN</p>	<p>オートストア・メモリ</p> <p>放送局を自動的にサーチし、プリセット・メモリに書き込みます。</p> <p>放送局の有無の判定方法は初期設定ダイオードENAMIF, ENFMIFにより決定します。</p> <p>放送局のサーチは現在受信中の周波数からアップ方向に行います。</p> <p>放送局を検出すると、その周波数をプリセット・メモリに書き込みます。</p> <p>SDあり電圧については、1. 端子機能 SDの項を参照してください。</p> <p>オートストア・メモリ動作は初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により次のように異なります。</p> <p>(1) AUTOLOC = 0 (オートローカル機能なし) のとき</p> <p>オートストア・メモリ動作を開始するときのLOCAL/DX状態により動作が次のように異なります。</p> <p>(a) オートストア・メモリ開始時、DX状態のとき</p> <p>現在受信中の周波数からアップ方向にサーチしていきサーチ周波数が1周すると、動作を終了します。サーチ中にこのキーを押すと、オートストア・メモリ動作を終了し、オートストア・メモリを開始したときの周波数を受信します。</p> <p>サーチ周波数を1周して動作を終了し、1局でも放送局を検出するとプリセット・メモリの更新を行い、M1からプリセット・スキャンを開始します。</p> <p>プリセット・メモリの更新は検出した放送局数により次のように動作が異なります。</p> <p>6局以上の放送局を検出したとき</p> <p>6局以上の放送局を検出した場合は、SDの入力レベルの高い順に6局を選択し、周波数の低いほうからプリセット・メモリ・ナンバの小さいメモリに書き込みを行います。</p> <p>6局未満の放送局を検出したとき</p> <p>6局未満の放送局を検出した場合は、周波数の低いほうからプリセット・メモリ・ナンバの小さいメモリに書き込みを行います。このとき、余ったプリセット・メモリの内容は変化しません。</p> <p>(b) オートストア・メモリ開始時、ローカル状態のとき</p> <p>現在受信中の周波数からローカル状態でアップ方向にサーチしていき、サーチ周波数が1周した時点で6局以上放送局を検出できなかったときは、DX状態に切り替えてサーチ動作を行います。ローカル状態で6局以上放送局を検出するか、またはDX状態でサーチ周波数を1周すると、オートストア・メモリ動作を終了します。</p> <p>なおサーチ中にこのキーを押すと、オートストア・メモリ動作を終了し、オートストア・メモリを開始したときの周波数を受信します。</p> <p>ローカル状態で6局以上放送局を検出するか、またはDX状態でサーチ周波数を1周してオートストア・メモリ動作を終了し、1局でも放送局を検出した場合のみ、プリセット・メモリを更新し、M1からプリセット・スキャンを開始します。</p> <p>プリセット・メモリの更新は検出した放送局数により次のように動作が異なります。</p> <p>ローカル状態で6局以上の放送局を検出したとき</p> <p>ローカル状態で6局以上の放送局を検出した場合は、SDの入力レベルの高い順に6局を選択し、周波数の低いほうからプリセット・メモリ・ナンバの小さいメモリに書き込みを行います。</p> <p>ローカル状態で6局未満の放送局を検出したあと、DX状態で放送局を検出し、あわせて6局以上検出したとき</p> <p>ローカル状態で検出した放送局数にDX状態で検出した放送局数を加えて6局になるように、DX状態で検出したSDの入力レベルの高い放送局を選択します。ただしローカル状態で検出した放送局をDX状態で選択する放送局には含まないようにします。</p> <p>6局の放送局を周波数の低いほうからプリセット・メモリ・ナンバの小さいメモリに書き込みます。</p>

モメンタリ・キー	説 明
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">P.SCAN</p>	<p>ローカル状態で6局未満の放送局を検出したあと、DX状態で放送局を検出し、あわせて6局未満の放送局を検出したとき</p> <p>DX状態およびローカル状態で検出した放送局が同一周波数の場合は、同一の周波数を2つのメモリに書き込まないように、DX状態で検出した放送局を削除します。</p> <p>6局以下の放送局を周波数の低いほうからプリセット・メモリ・ナンバの小さいメモリに書き込みます。このとき、余ったプリセット・メモリの内容は変化しません。</p> <p>(2) AUTOLOC = 1 (オートローカル機能あり) のとき</p> <p>現在受信中の周波数からローカル状態でアップ方向にサーチしていき、サーチ周波数が1周した時点で6局以上放送局を検出できなかったときは、DX状態に切り替えてサーチ動作を行います。ローカル状態で6局以上放送局を検出するか、またはDX状態でサーチ周波数を1周すると、オートストア・メモリ動作を終了します。</p> <p>ローカル状態でサーチ中にこのキーを押すと、DX状態に切り替え、サーチを開始した周波数からサーチを行います。なおローカル状態で検出した放送局は無効とします（プリセット・メモリ更新時にはローカル状態で検出した放送局を含まないようにします）。</p> <p>なおDX状態でサーチ中にこのキーを押すと、オートストア・メモリ動作を終了し、オートストア・メモリを開始したときの周波数を受信します。</p> <p>ローカル状態で6局以上放送局を検出するか、またはDX状態でサーチ周波数を1周してオートストア・メモリ動作を終了し、1局でも放送局を検出した場合のみ、プリセット・メモリを更新し、M1からプリセット・スキャンを開始します。</p> <p>プリセット・メモリの更新は検出した放送局数により次のように動作が異なります。</p> <p>ローカル状態で6局以上の放送局を検出したとき</p> <p>ローカル状態で6局以上の放送局を検出した場合は、SDの入力レベルの高い順に6局を選択し、周波数の低いほうからプリセット・メモリ・ナンバの小さいメモリに書き込みを行います。</p> <p>ローカル状態で6局未満の放送局を検出したあと、DX状態で放送局を検出し、あわせて6局以上の放送局を検出したとき</p> <p>ローカル状態で検出した放送局数にDX状態で検出した放送局数を加えて6局になるように、DX状態で検出したSDの入力レベルの高い放送局を選択します。ただしローカル状態で検出した放送局をDX状態で選択する放送局には含まないようにします。</p> <p>6局の放送局を周波数の低いほうからプリセット・メモリ・ナンバの小さいメモリに書き込みます。</p> <p>ローカル状態で6局未満の放送局を検出したあと、DX状態で放送局を検出し、あわせて6局未満の放送局を検出したとき</p> <p>DX状態およびローカル状態で検出した放送局が同一周波数の場合は、同一の周波数を2つのメモリに書き込まないように、DX状態で検出した放送局を削除します。</p> <p>6局以下の放送局を周波数の低いほうからプリセット・メモリ・ナンバの小さいメモリに書き込みます。このとき、余ったプリセット・メモリの内容は変化しません。</p>

モメンタリ・キー	説 明																																			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="213 217 328 248">P.SCAN</td> </tr> </table>	P.SCAN	<p>オートストア・メモリ中の各キーの動作は次のようになります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="400 253 549 293">キー</th> <th data-bbox="549 253 1385 293">説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="400 293 549 421"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 306 542 338">P.SCAN</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="549 293 1385 421"> <p>オートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数を受信します。 ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 421 549 539"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 434 542 465">BAND</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="549 421 1385 539"> <p>ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はオートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数からのキーの動作を行います。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 539 549 582"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 553 542 584">SCAN UP</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="549 539 1385 582" rowspan="5"> <p>オートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数からキーの動作を行います。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 582 549 624"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 595 542 627">SCAN DWN</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 624 549 667"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 638 542 669">SEEK UP</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 667 549 710"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 680 542 712">MAN UP</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 710 549 752"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 723 542 754">MAN DWN</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 752 549 992"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 766 542 797">RDMONI</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="549 752 1385 992"> <p>モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時 オートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数からキーの動作を行います。</p> <p>(2) ラジオ・モード時 オートストア・メモリ動作は継続します。無効キーとなります。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 992 549 1137"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1005 542 1086">LOUD/ ILLUMI- NATION</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1099 542 1131">POWER</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="549 992 1385 1137"> <p>オートストア・メモリ動作は継続します。押したキーの動作を行います。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1137 549 1346"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1151 542 1182">MONO/LOC</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="549 1137 1385 1346"> <p>初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により、次のように動作が異なります。</p> <p>(1) AUTOLOC = 0のとき LOCAL/DX状態を切り替えます。それまでに検出した放送局は無効となります。</p> <p>(2) AUTOLOC = 1のとき オートストア・メモリ動作は継続します。無効キーとなります。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1346 549 1473"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1359 542 1391">M1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1391 542 1422">}</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1422 542 1453">M6</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="549 1346 1385 1473"> <p>オートストア・メモリ動作を中止し、キーに対応するプリセット・メモリを受信します。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	キー	説 明	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 306 542 338">P.SCAN</td> </tr> </table>	P.SCAN	<p>オートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数を受信します。 ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 434 542 465">BAND</td> </tr> </table>	BAND	<p>ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はオートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数からのキーの動作を行います。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 553 542 584">SCAN UP</td> </tr> </table>	SCAN UP	<p>オートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数からキーの動作を行います。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 595 542 627">SCAN DWN</td> </tr> </table>	SCAN DWN	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 638 542 669">SEEK UP</td> </tr> </table>	SEEK UP	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 680 542 712">MAN UP</td> </tr> </table>	MAN UP	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 723 542 754">MAN DWN</td> </tr> </table>	MAN DWN	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 766 542 797">RDMONI</td> </tr> </table>	RDMONI	<p>モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時 オートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数からキーの動作を行います。</p> <p>(2) ラジオ・モード時 オートストア・メモリ動作は継続します。無効キーとなります。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1005 542 1086">LOUD/ ILLUMI- NATION</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1099 542 1131">POWER</td> </tr> </table>	LOUD/ ILLUMI- NATION	POWER	<p>オートストア・メモリ動作は継続します。押したキーの動作を行います。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1151 542 1182">MONO/LOC</td> </tr> </table>	MONO/LOC	<p>初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により、次のように動作が異なります。</p> <p>(1) AUTOLOC = 0のとき LOCAL/DX状態を切り替えます。それまでに検出した放送局は無効となります。</p> <p>(2) AUTOLOC = 1のとき オートストア・メモリ動作は継続します。無効キーとなります。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1359 542 1391">M1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1391 542 1422">}</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1422 542 1453">M6</td> </tr> </table>	M1	}	M6	<p>オートストア・メモリ動作を中止し、キーに対応するプリセット・メモリを受信します。</p>
P.SCAN																																				
キー	説 明																																			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 306 542 338">P.SCAN</td> </tr> </table>	P.SCAN	<p>オートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数を受信します。 ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p>																																		
P.SCAN																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 434 542 465">BAND</td> </tr> </table>	BAND	<p>ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はオートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数からのキーの動作を行います。</p>																																		
BAND																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 553 542 584">SCAN UP</td> </tr> </table>	SCAN UP	<p>オートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数からキーの動作を行います。</p>																																		
SCAN UP																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 595 542 627">SCAN DWN</td> </tr> </table>	SCAN DWN																																			
SCAN DWN																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 638 542 669">SEEK UP</td> </tr> </table>	SEEK UP																																			
SEEK UP																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 680 542 712">MAN UP</td> </tr> </table>	MAN UP																																			
MAN UP																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 723 542 754">MAN DWN</td> </tr> </table>	MAN DWN																																			
MAN DWN																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 766 542 797">RDMONI</td> </tr> </table>	RDMONI	<p>モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時 オートストア・メモリ動作を中止し、オートストア・メモリ動作を開始した周波数からキーの動作を行います。</p> <p>(2) ラジオ・モード時 オートストア・メモリ動作は継続します。無効キーとなります。</p>																																		
RDMONI																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1005 542 1086">LOUD/ ILLUMI- NATION</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1099 542 1131">POWER</td> </tr> </table>	LOUD/ ILLUMI- NATION	POWER	<p>オートストア・メモリ動作は継続します。押したキーの動作を行います。</p>																																	
LOUD/ ILLUMI- NATION																																				
POWER																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1151 542 1182">MONO/LOC</td> </tr> </table>	MONO/LOC	<p>初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により、次のように動作が異なります。</p> <p>(1) AUTOLOC = 0のとき LOCAL/DX状態を切り替えます。それまでに検出した放送局は無効となります。</p> <p>(2) AUTOLOC = 1のとき オートストア・メモリ動作は継続します。無効キーとなります。</p>																																		
MONO/LOC																																				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="406 1359 542 1391">M1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1391 542 1422">}</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1422 542 1453">M6</td> </tr> </table>	M1	}	M6	<p>オートストア・メモリ動作を中止し、キーに対応するプリセット・メモリを受信します。</p>																																
M1																																				
}																																				
M6																																				

モメンタリ・キー	説 明										
<p>RDMONI</p>	<p>ラジオ・モニタ用のキーです。</p> <p>テープ・モード、CDモード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モードで有効となります。このキーを押すごとにラジオ・モニタ・モードを反転し、ラジオ・モニタ・モード中にはLCDパネルの“RDMONI”表示を点灯します。</p> <p>ラジオ・モニタ・モード中は、すべてのバンドのチューニング動作が可能となり、ラジオ・ミュート(RDMUTE端子)をオフし、オーディオ・ミュート(AMUTE端子)をオンします。</p> <p>なお、ラジオ・モニタ・モードは次の要因で状態が変化したときに解除されます。</p> <p style="padding-left: 20px;">TPSETスイッチ状態の変化 CDSETスイッチ状態の変化 CE端子のハイ・レベル ロウ・レベルの変化^注</p> <p>注 アラーム・モードを使用する場合は、必ずCE端子をプルアップさせた状態で使用してください。</p>										
<p>SCAN UP</p> <p>SCAN DWN</p>	<p>オートチューニング(スキャン動作)用のキーです。</p> <p>周波数を1チャンネル・スペースずつアップ(SCAN UP キー)またはダウン(SCAN DWN キー)していき、各受信周波数ごとに放送局の有無(周波数カウンタおよびSD信号)を検出し(シーク動作)、放送局ありと判断すると、その周波数を5秒間保持します。この5秒の間に何の操作もされなければ再度シーク動作を行い、次の放送局を5秒間ずつ順次受信していきます(スキャン動作)。</p> <p>5秒間のホールド中は、周波数表示を1Hz(デューティ50%)で点滅します。</p> <p>5秒のホールドが終了するとピーブを出力します。</p> <p>シーク動作については SEEK UP キーと同様の動作になります。</p> <p>シーク動作(5秒のホールド時以外)中の各キーの動作は次のようになります。</p> <table border="1" data-bbox="395 1059 1385 2000"> <thead> <tr> <th data-bbox="402 1068 550 1104">キー</th> <th data-bbox="550 1068 1378 1104">説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="402 1104 550 1391"> <p>SCAN UP</p> <p>SCAN DWN</p> </td> <td data-bbox="550 1104 1378 1391"> <p>スキャン・アップ中に SCAN UP キー、スキャン・ダウン中に SCAN DWN キーを押したとき</p> <p>スキャン動作を中止し、スキャンを始めたときの周波数に戻ります。</p> <p>ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p> <p>スキャン・アップ中に SCAN DWN キー、スキャン・ダウン中に SCAN UP キーを押したとき</p> <p>キーが押されたときの周波数から、押されたキーの動作に移ります。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 1391 550 1559"> <p>SEEK UP</p> <p>MAN UP</p> <p>MAN DWN</p> <p>P.SCAN</p> </td> <td data-bbox="550 1391 1378 1559"> <p>スキャン動作を中止して、キーを押した時点の周波数からキーの動作を行います。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 1559 550 1720"> <p>BAND</p> </td> <td data-bbox="550 1559 1378 1720"> <p>ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はスキャン動作を中止し、周波数をスキャン動作を開始した周波数(スキャン動作により放送局を検出し、ホールド動作を行った場合は、ホールドしたときの周波数)に戻し、キーの動作を行います。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="402 1720 550 2000"> <p>RDMONI</p> </td> <td data-bbox="550 1720 1378 2000"> <p>モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時</p> <p>スキャン動作を中止し、周波数をスキャン動作を開始した周波数(スキャン動作により放送局を検出し、ホールド動作を行った場合は、ホールドしたときの周波数)に戻し、キーの動作を行います。</p> <p>(2) ラジオ・モード時</p> <p>スキャン動作は継続します。無効キーとなります。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	キー	説 明	<p>SCAN UP</p> <p>SCAN DWN</p>	<p>スキャン・アップ中に SCAN UP キー、スキャン・ダウン中に SCAN DWN キーを押したとき</p> <p>スキャン動作を中止し、スキャンを始めたときの周波数に戻ります。</p> <p>ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p> <p>スキャン・アップ中に SCAN DWN キー、スキャン・ダウン中に SCAN UP キーを押したとき</p> <p>キーが押されたときの周波数から、押されたキーの動作に移ります。</p>	<p>SEEK UP</p> <p>MAN UP</p> <p>MAN DWN</p> <p>P.SCAN</p>	<p>スキャン動作を中止して、キーを押した時点の周波数からキーの動作を行います。</p>	<p>BAND</p>	<p>ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はスキャン動作を中止し、周波数をスキャン動作を開始した周波数(スキャン動作により放送局を検出し、ホールド動作を行った場合は、ホールドしたときの周波数)に戻し、キーの動作を行います。</p>	<p>RDMONI</p>	<p>モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時</p> <p>スキャン動作を中止し、周波数をスキャン動作を開始した周波数(スキャン動作により放送局を検出し、ホールド動作を行った場合は、ホールドしたときの周波数)に戻し、キーの動作を行います。</p> <p>(2) ラジオ・モード時</p> <p>スキャン動作は継続します。無効キーとなります。</p>
キー	説 明										
<p>SCAN UP</p> <p>SCAN DWN</p>	<p>スキャン・アップ中に SCAN UP キー、スキャン・ダウン中に SCAN DWN キーを押したとき</p> <p>スキャン動作を中止し、スキャンを始めたときの周波数に戻ります。</p> <p>ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p> <p>スキャン・アップ中に SCAN DWN キー、スキャン・ダウン中に SCAN UP キーを押したとき</p> <p>キーが押されたときの周波数から、押されたキーの動作に移ります。</p>										
<p>SEEK UP</p> <p>MAN UP</p> <p>MAN DWN</p> <p>P.SCAN</p>	<p>スキャン動作を中止して、キーを押した時点の周波数からキーの動作を行います。</p>										
<p>BAND</p>	<p>ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はスキャン動作を中止し、周波数をスキャン動作を開始した周波数(スキャン動作により放送局を検出し、ホールド動作を行った場合は、ホールドしたときの周波数)に戻し、キーの動作を行います。</p>										
<p>RDMONI</p>	<p>モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時</p> <p>スキャン動作を中止し、周波数をスキャン動作を開始した周波数(スキャン動作により放送局を検出し、ホールド動作を行った場合は、ホールドしたときの周波数)に戻し、キーの動作を行います。</p> <p>(2) ラジオ・モード時</p> <p>スキャン動作は継続します。無効キーとなります。</p>										

モメンタリ・キー	説 明	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">SCAN UP</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">SCAN DWN</div>	キー	説 明
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">LOUD/ ILLUMI- NATION</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">POWER</div>	スキャン動作は継続します。押したキーの動作を行います。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">MONO/LOC</div>	初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により、次のように動作が異なります。 (1) AUTOLOC = 0のとき スキャン動作は継続します。キーの動作を行います。 (2) AUTOLOC = 1のとき スキャン動作は継続します。無効キーとなります。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">M1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">M6</div>	スキャン動作を中止し、キーに対応するプリセット・メモリを受信します。

モメンタリ・キー	説 明
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN UP</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN DWN</div>	5秒間のホールド中の各キーの動作は次のようになります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">キー</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">説 明</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN UP</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN DWN</div>	スキャン・アップ中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN UP</div> キー、スキャン・ダウン中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN DWN</div> キーを押したとき スキャン動作を中止し、ホールド中の周波数を保持します。 スキャン・アップ中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN DWN</div> キー、スキャン・ダウン中に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SCAN UP</div> キーを押したとき 押したキーの動作に移ります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SEEK UP</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">MAN UP</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">MAN DWN</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">P.SCAN</div>	スキャン動作を中止して、ホールド中の周波数からキーの動作を行います。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">BAND</div>	ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はスキャン動作を中止し、ホールド中の周波数からキーの動作を行います。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">RDMONI</div>	モードにより動作が次のように異なります。 (1) テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時 スキャン動作を中止し、ホールド中の周波数からキーの動作を行います。 (2) ラジオ・モード時 スキャン動作は継続します。無効キーとなります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">LOUD/ ILLUMI- NATION</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">POWER</div>	スキャン動作は継続します。押したキーの動作を行います。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">MONO/LOC</div>	初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により、次のように動作が異なります。 (1) AUTOLOC = 0のとき スキャン動作は継続します。キーの動作を行います。 (2) AUTOLOC = 1のとき スキャン動作は継続します。無効キーとなります。

モメンタリ・キー	説明																
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">SCAN UP</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">SCAN DWN</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">キー</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">M1</td> <td>スキャン動作を中止します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">}</td> <td>キーを離すタイミングにより動作が次のように異なります。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">M6</td> <td> <p>2秒以内にキーを離したとき</p> <p>キーに対応するプリセット・メモリを呼び出します。</p> <p>2秒以上キーを押し続けたとき</p> <p>現在受信中の周波数を押したキーに対応するプリセット・メモリに書き込みます。</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>例1. キーを2秒以内に離したとき</p> <p>キーを離した時点で押したキーに対応するプリセット・メモリの内容を受信し、スキャン動作を解除します。</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>2. キーを2秒以上押し続けたとき</p> <p>キーを押し続けて2秒後に、押したキーに対応するプリセット・メモリにホールド中の周波数を書き込みます。書き込み終了2秒後にホールド状態を解除し、次の放送局をサーチ（シーク動作）します。</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	キー	説明	M1	スキャン動作を中止します。	}	キーを離すタイミングにより動作が次のように異なります。	M6	<p>2秒以内にキーを離したとき</p> <p>キーに対応するプリセット・メモリを呼び出します。</p> <p>2秒以上キーを押し続けたとき</p> <p>現在受信中の周波数を押したキーに対応するプリセット・メモリに書き込みます。</p>		<p>例1. キーを2秒以内に離したとき</p> <p>キーを離した時点で押したキーに対応するプリセット・メモリの内容を受信し、スキャン動作を解除します。</p>				<p>2. キーを2秒以上押し続けたとき</p> <p>キーを押し続けて2秒後に、押したキーに対応するプリセット・メモリにホールド中の周波数を書き込みます。書き込み終了2秒後にホールド状態を解除し、次の放送局をサーチ（シーク動作）します。</p>		
キー	説明																
M1	スキャン動作を中止します。																
}	キーを離すタイミングにより動作が次のように異なります。																
M6	<p>2秒以内にキーを離したとき</p> <p>キーに対応するプリセット・メモリを呼び出します。</p> <p>2秒以上キーを押し続けたとき</p> <p>現在受信中の周波数を押したキーに対応するプリセット・メモリに書き込みます。</p>																
	<p>例1. キーを2秒以内に離したとき</p> <p>キーを離した時点で押したキーに対応するプリセット・メモリの内容を受信し、スキャン動作を解除します。</p>																
	<p>2. キーを2秒以上押し続けたとき</p> <p>キーを押し続けて2秒後に、押したキーに対応するプリセット・メモリにホールド中の周波数を書き込みます。書き込み終了2秒後にホールド状態を解除し、次の放送局をサーチ（シーク動作）します。</p>																

モメンタリ・キー	説 明										
<p>SEEK UP</p>	<p>オートチューニング（シーク動作）用のキーです。</p> <p>周波数を1チャンネル・スペースずつアップしていき、各受信周波数ごとに放送局の有無（放送局の有無の判定方法は初期設定ダイオードENAMIF, ENFMIFにより決定します）を判定し、放送局ありのときシーク動作を終了します。シーク動作は初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により次のように異なります。</p> <p>(1) AUTOLOC = 0 (オートローカル機能なし) のとき</p> <p>現在受信中の周波数からサーチ動作を行います。</p> <p>サーチ動作を開始したときのLOCAL/DXの状態ですサーチ動作を行います。なお放送局を検出するまではサーチ動作を行います。</p> <p>(2) AUTOLOC = 1 (オートローカル機能あり) のとき</p> <p>現在受信中の周波数からローカル状態でサーチしていき、サーチ周波数が1周すると、DX状態に切り替え、サーチ動作を行います。以後放送局を検出するまでDX状態でサーチ動作を行います。</p> <p>なおローカル状態でサーチ中にこのキーを押すと、LOCAL/DXはDX状態に、周波数はサーチ動作を開始した周波数になりサーチ動作を開始します。またDX状態でサーチ中にこのキーを押すとサーチ動作を終了し、サーチ動作を開始したときの周波数を受信します。</p> <p>SEEK UP キーを使用する場合は初期設定ダイオードAUTO500を0にしてください。</p> <p>AUTO500を1にすると、SEEK UP キーは無効となります。</p> <p>シーク動作中の各キーの動作は次のようになります。</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 1025 549 1066">キー</th> <th data-bbox="549 1025 1385 1066">説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 1066 549 1189"> <p>SEEK UP</p> </td> <td data-bbox="549 1066 1385 1189"> <p>シーク・アップ中に SEEK UP キーを押したときはシーク動作を中止し、シークを始めたときの周波数に戻ります。</p> <p>ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1189 549 1469"> <p>MAN UP</p> <p>MAN DWN</p> </td> <td data-bbox="549 1189 1385 1469"> <p>初期設定ダイオードAUTO500の状態により次のように動作が異なります。</p> <p>(1) AUTO500 = 0 のとき</p> <p>キーを押した時点で周波数から、マニュアル・チューニング動作を開始します。</p> <p>(2) AUTO500 = 1 のとき</p> <p>シーク・アップ中に MAN UP キーを押したときはシーク動作を中止し、シークを始めたときの周波数に戻ります。</p> <p>ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1469 549 1592"> <p>SCAN UP</p> <p>SCAN DWN</p> <p>P.SCAN</p> </td> <td data-bbox="549 1469 1385 1592"> <p>シーク動作を中止し、キーを押した時点の周波数からキーの動作を行います。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1592 549 1715"> <p>BAND</p> </td> <td data-bbox="549 1592 1385 1715"> <p>ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はシーク動作を中止し、周波数をシーク動作を開始した周波数に戻し、キーの動作を行います。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	キー	説 明	<p>SEEK UP</p>	<p>シーク・アップ中に SEEK UP キーを押したときはシーク動作を中止し、シークを始めたときの周波数に戻ります。</p> <p>ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p>	<p>MAN UP</p> <p>MAN DWN</p>	<p>初期設定ダイオードAUTO500の状態により次のように動作が異なります。</p> <p>(1) AUTO500 = 0 のとき</p> <p>キーを押した時点で周波数から、マニュアル・チューニング動作を開始します。</p> <p>(2) AUTO500 = 1 のとき</p> <p>シーク・アップ中に MAN UP キーを押したときはシーク動作を中止し、シークを始めたときの周波数に戻ります。</p> <p>ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p>	<p>SCAN UP</p> <p>SCAN DWN</p> <p>P.SCAN</p>	<p>シーク動作を中止し、キーを押した時点の周波数からキーの動作を行います。</p>	<p>BAND</p>	<p>ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はシーク動作を中止し、周波数をシーク動作を開始した周波数に戻し、キーの動作を行います。</p>	
キー	説 明										
<p>SEEK UP</p>	<p>シーク・アップ中に SEEK UP キーを押したときはシーク動作を中止し、シークを始めたときの周波数に戻ります。</p> <p>ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p>										
<p>MAN UP</p> <p>MAN DWN</p>	<p>初期設定ダイオードAUTO500の状態により次のように動作が異なります。</p> <p>(1) AUTO500 = 0 のとき</p> <p>キーを押した時点で周波数から、マニュアル・チューニング動作を開始します。</p> <p>(2) AUTO500 = 1 のとき</p> <p>シーク・アップ中に MAN UP キーを押したときはシーク動作を中止し、シークを始めたときの周波数に戻ります。</p> <p>ただし、オートローカル機能使用時はローカル・モードを切り替えます。</p>										
<p>SCAN UP</p> <p>SCAN DWN</p> <p>P.SCAN</p>	<p>シーク動作を中止し、キーを押した時点の周波数からキーの動作を行います。</p>										
<p>BAND</p>	<p>ラジオ・モード、テープ・ラジオ・モニタ・モード、CDラジオ・モニタ・モード時はシーク動作を中止し、周波数をシーク動作を開始した周波数に戻し、キーの動作を行います。</p>										

モメンタリ・キー	説 明																		
<p>SEEK UP</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="400 232 549 273">キー</th> <th data-bbox="549 232 1386 273">説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="400 273 549 517"> <p>RDMONI</p> </td> <td data-bbox="549 273 1386 517"> <p>モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード時 シーク動作を中止し, 周波数をシーク動作を開始した周波数に戻し, キーの動作を行います。</p> <p>(2) ラジオ・モード時 シーク動作は継続します。無効キーとなります。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 517 549 667"> <p>LOUD/ILLUMINATION POWER</p> </td> <td data-bbox="549 517 1386 667"> <p>シーク動作は継続します。押したキーの動作を行います。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 667 549 869"> <p>MONO/LOC</p> </td> <td data-bbox="549 667 1386 869"> <p>初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により, 次のように動作が異なります。</p> <p>(1) AUTOLOC = 0のとき シーク動作は継続します。キーの動作を行います。</p> <p>(2) AUTOLOC = 1のとき シーク動作は継続します。無効キーとなります。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 869 549 1003"> <p>M1 } M6</p> </td> <td data-bbox="549 869 1386 1003"> <p>シーク動作を中止し, キーに対応するプリセット・メモリを受信します。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	キー	説 明	<p>RDMONI</p>	<p>モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード時 シーク動作を中止し, 周波数をシーク動作を開始した周波数に戻し, キーの動作を行います。</p> <p>(2) ラジオ・モード時 シーク動作は継続します。無効キーとなります。</p>	<p>LOUD/ILLUMINATION POWER</p>	<p>シーク動作は継続します。押したキーの動作を行います。</p>	<p>MONO/LOC</p>	<p>初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により, 次のように動作が異なります。</p> <p>(1) AUTOLOC = 0のとき シーク動作は継続します。キーの動作を行います。</p> <p>(2) AUTOLOC = 1のとき シーク動作は継続します。無効キーとなります。</p>	<p>M1 } M6</p>	<p>シーク動作を中止し, キーに対応するプリセット・メモリを受信します。</p>								
キー	説 明																		
<p>RDMONI</p>	<p>モードにより動作が次のように異なります。</p> <p>(1) テープ・ラジオ・モニタ・モード, CDラジオ・モニタ・モード時 シーク動作を中止し, 周波数をシーク動作を開始した周波数に戻し, キーの動作を行います。</p> <p>(2) ラジオ・モード時 シーク動作は継続します。無効キーとなります。</p>																		
<p>LOUD/ILLUMINATION POWER</p>	<p>シーク動作は継続します。押したキーの動作を行います。</p>																		
<p>MONO/LOC</p>	<p>初期設定ダイオードAUTOLOCの状態により, 次のように動作が異なります。</p> <p>(1) AUTOLOC = 0のとき シーク動作は継続します。キーの動作を行います。</p> <p>(2) AUTOLOC = 1のとき シーク動作は継続します。無効キーとなります。</p>																		
<p>M1 } M6</p>	<p>シーク動作を中止し, キーに対応するプリセット・メモリを受信します。</p>																		
<p>VOL DWN</p>	<p>電子ボリュームのそれぞれのモードを調整するキーです。 初期設定ダイオードVKYSELの状態により, 次のように異なります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="400 1144 549 1184">VKYSEL</th> <th data-bbox="549 1144 1386 1184">説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="400 1184 549 1727"> <p>0</p> </td> <td data-bbox="549 1184 1386 1727"> <p>電子ボリューム・モード以外の状態で VOL DWN キーを押すと, ボリューム・モードになり, 音量をダウンします。</p> <p>VOL SEL キーで選択されるそれぞれの電子ボリューム・モードで VOL DWN キーを押すと次のように動作します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 1368 735 1408">モード</th> <th data-bbox="735 1368 1350 1408">機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 1408 735 1449">ボリューム</td> <td data-bbox="735 1408 1350 1449">メイン・ボリューム (音量) をダウンします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1449 735 1489">バス</td> <td data-bbox="735 1449 1350 1489">バス (低音域) をダウンします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1489 735 1529">トレブル</td> <td data-bbox="735 1489 1350 1529">トレブル (高音域) をダウンします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1529 735 1570">バランス</td> <td data-bbox="735 1529 1350 1570">左側の音量を強調します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1570 735 1610">フェーダ</td> <td data-bbox="735 1570 1350 1610">後側の音量を強調します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>キーが0.5秒以上押されると連続的に動作します。 3秒間なにもキーが押されないと電子ボリューム・モード設定前のモードに戻ります。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1727 549 1973"> <p>1</p> </td> <td data-bbox="549 1727 1386 1973"> <p>無効キーになります。</p> <p>VOL SEL キーで電子ボリューム・モードに設定したあと, VOL DWN と同じ調整を MAN DWN キーで行えます。</p> <p>電子ボリューム・モード以外の状態で MAN DWN キーを押しても, ボリューム・モードにはなりません。</p> <p>MAN UP, MAN DWN キーの項を参照してください。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート, 0: オープン)</p>	VKYSEL	説 明	<p>0</p>	<p>電子ボリューム・モード以外の状態で VOL DWN キーを押すと, ボリューム・モードになり, 音量をダウンします。</p> <p>VOL SEL キーで選択されるそれぞれの電子ボリューム・モードで VOL DWN キーを押すと次のように動作します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 1368 735 1408">モード</th> <th data-bbox="735 1368 1350 1408">機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 1408 735 1449">ボリューム</td> <td data-bbox="735 1408 1350 1449">メイン・ボリューム (音量) をダウンします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1449 735 1489">バス</td> <td data-bbox="735 1449 1350 1489">バス (低音域) をダウンします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1489 735 1529">トレブル</td> <td data-bbox="735 1489 1350 1529">トレブル (高音域) をダウンします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1529 735 1570">バランス</td> <td data-bbox="735 1529 1350 1570">左側の音量を強調します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1570 735 1610">フェーダ</td> <td data-bbox="735 1570 1350 1610">後側の音量を強調します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>キーが0.5秒以上押されると連続的に動作します。 3秒間なにもキーが押されないと電子ボリューム・モード設定前のモードに戻ります。</p>	モード	機 能	ボリューム	メイン・ボリューム (音量) をダウンします。	バス	バス (低音域) をダウンします。	トレブル	トレブル (高音域) をダウンします。	バランス	左側の音量を強調します。	フェーダ	後側の音量を強調します。	<p>1</p>	<p>無効キーになります。</p> <p>VOL SEL キーで電子ボリューム・モードに設定したあと, VOL DWN と同じ調整を MAN DWN キーで行えます。</p> <p>電子ボリューム・モード以外の状態で MAN DWN キーを押しても, ボリューム・モードにはなりません。</p> <p>MAN UP, MAN DWN キーの項を参照してください。</p>
VKYSEL	説 明																		
<p>0</p>	<p>電子ボリューム・モード以外の状態で VOL DWN キーを押すと, ボリューム・モードになり, 音量をダウンします。</p> <p>VOL SEL キーで選択されるそれぞれの電子ボリューム・モードで VOL DWN キーを押すと次のように動作します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 1368 735 1408">モード</th> <th data-bbox="735 1368 1350 1408">機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 1408 735 1449">ボリューム</td> <td data-bbox="735 1408 1350 1449">メイン・ボリューム (音量) をダウンします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1449 735 1489">バス</td> <td data-bbox="735 1449 1350 1489">バス (低音域) をダウンします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1489 735 1529">トレブル</td> <td data-bbox="735 1489 1350 1529">トレブル (高音域) をダウンします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1529 735 1570">バランス</td> <td data-bbox="735 1529 1350 1570">左側の音量を強調します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1570 735 1610">フェーダ</td> <td data-bbox="735 1570 1350 1610">後側の音量を強調します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>キーが0.5秒以上押されると連続的に動作します。 3秒間なにもキーが押されないと電子ボリューム・モード設定前のモードに戻ります。</p>	モード	機 能	ボリューム	メイン・ボリューム (音量) をダウンします。	バス	バス (低音域) をダウンします。	トレブル	トレブル (高音域) をダウンします。	バランス	左側の音量を強調します。	フェーダ	後側の音量を強調します。						
モード	機 能																		
ボリューム	メイン・ボリューム (音量) をダウンします。																		
バス	バス (低音域) をダウンします。																		
トレブル	トレブル (高音域) をダウンします。																		
バランス	左側の音量を強調します。																		
フェーダ	後側の音量を強調します。																		
<p>1</p>	<p>無効キーになります。</p> <p>VOL SEL キーで電子ボリューム・モードに設定したあと, VOL DWN と同じ調整を MAN DWN キーで行えます。</p> <p>電子ボリューム・モード以外の状態で MAN DWN キーを押しても, ボリューム・モードにはなりません。</p> <p>MAN UP, MAN DWN キーの項を参照してください。</p>																		

モメンタリ・キー	説 明																		
<p>VOL UP</p>	<p>電子ボリュームのそれぞれのモードを調整するキーです。 初期設定ダイオードVKYSELの状態により、次のように異なります。</p> <table border="1" data-bbox="400 300 1394 1115"> <thead> <tr> <th data-bbox="400 300 555 342">VKYSEL</th> <th data-bbox="555 300 1394 342">説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="400 342 555 864">0</td> <td data-bbox="555 342 1394 864"> <p>電子ボリューム・モード以外の状態で VOL UP キーを押すと、ボリューム・モードになり、音量をアップします。</p> <p>VOL SEL キーで選択されるそれぞれの電子ボリューム・モードで VOL UP キーを押すと次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="587 517 1353 775"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 517 742 560">モード</th> <th data-bbox="742 517 1353 560">機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 560 742 602">ボリューム</td> <td data-bbox="742 560 1353 602">メイン・ボリューム（音量）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 602 742 645">バス</td> <td data-bbox="742 602 1353 645">バス（低音域）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 645 742 687">トレブル</td> <td data-bbox="742 645 1353 687">トレブル（高音域）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 687 742 730">バランス</td> <td data-bbox="742 687 1353 730">右側の音量を強調します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 730 742 772">フェーダ</td> <td data-bbox="742 730 1353 772">前側の音量を強調します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>キーが0.5秒以上押されると連続的に動作します。 3秒間なにもキーが押されないと電子ボリューム・モード設定前のモードに戻ります。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 864 555 1115">1</td> <td data-bbox="555 864 1394 1115"> <p>無効キーになります。</p> <p>VOL SEL キーで電子ボリューム・モードに設定したあと、VOL UP と同じ調整を MAN UP キーで行えます。</p> <p>電子ボリューム・モード以外の状態で MAN UP キーを押しても、ボリューム・モードにはなりません。</p> <p>MAN UP , MAN DWN キーの項を参照してください。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(1: ダイオードでショート, 0: オープン)</p>	VKYSEL	説 明	0	<p>電子ボリューム・モード以外の状態で VOL UP キーを押すと、ボリューム・モードになり、音量をアップします。</p> <p>VOL SEL キーで選択されるそれぞれの電子ボリューム・モードで VOL UP キーを押すと次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="587 517 1353 775"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 517 742 560">モード</th> <th data-bbox="742 517 1353 560">機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 560 742 602">ボリューム</td> <td data-bbox="742 560 1353 602">メイン・ボリューム（音量）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 602 742 645">バス</td> <td data-bbox="742 602 1353 645">バス（低音域）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 645 742 687">トレブル</td> <td data-bbox="742 645 1353 687">トレブル（高音域）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 687 742 730">バランス</td> <td data-bbox="742 687 1353 730">右側の音量を強調します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 730 742 772">フェーダ</td> <td data-bbox="742 730 1353 772">前側の音量を強調します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>キーが0.5秒以上押されると連続的に動作します。 3秒間なにもキーが押されないと電子ボリューム・モード設定前のモードに戻ります。</p>	モード	機 能	ボリューム	メイン・ボリューム（音量）をアップします。	バス	バス（低音域）をアップします。	トレブル	トレブル（高音域）をアップします。	バランス	右側の音量を強調します。	フェーダ	前側の音量を強調します。	1	<p>無効キーになります。</p> <p>VOL SEL キーで電子ボリューム・モードに設定したあと、VOL UP と同じ調整を MAN UP キーで行えます。</p> <p>電子ボリューム・モード以外の状態で MAN UP キーを押しても、ボリューム・モードにはなりません。</p> <p>MAN UP , MAN DWN キーの項を参照してください。</p>
VKYSEL	説 明																		
0	<p>電子ボリューム・モード以外の状態で VOL UP キーを押すと、ボリューム・モードになり、音量をアップします。</p> <p>VOL SEL キーで選択されるそれぞれの電子ボリューム・モードで VOL UP キーを押すと次のように動作します。</p> <table border="1" data-bbox="587 517 1353 775"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 517 742 560">モード</th> <th data-bbox="742 517 1353 560">機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 560 742 602">ボリューム</td> <td data-bbox="742 560 1353 602">メイン・ボリューム（音量）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 602 742 645">バス</td> <td data-bbox="742 602 1353 645">バス（低音域）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 645 742 687">トレブル</td> <td data-bbox="742 645 1353 687">トレブル（高音域）をアップします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 687 742 730">バランス</td> <td data-bbox="742 687 1353 730">右側の音量を強調します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 730 742 772">フェーダ</td> <td data-bbox="742 730 1353 772">前側の音量を強調します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>キーが0.5秒以上押されると連続的に動作します。 3秒間なにもキーが押されないと電子ボリューム・モード設定前のモードに戻ります。</p>	モード	機 能	ボリューム	メイン・ボリューム（音量）をアップします。	バス	バス（低音域）をアップします。	トレブル	トレブル（高音域）をアップします。	バランス	右側の音量を強調します。	フェーダ	前側の音量を強調します。						
モード	機 能																		
ボリューム	メイン・ボリューム（音量）をアップします。																		
バス	バス（低音域）をアップします。																		
トレブル	トレブル（高音域）をアップします。																		
バランス	右側の音量を強調します。																		
フェーダ	前側の音量を強調します。																		
1	<p>無効キーになります。</p> <p>VOL SEL キーで電子ボリューム・モードに設定したあと、VOL UP と同じ調整を MAN UP キーで行えます。</p> <p>電子ボリューム・モード以外の状態で MAN UP キーを押しても、ボリューム・モードにはなりません。</p> <p>MAN UP , MAN DWN キーの項を参照してください。</p>																		

3. アラーム機能

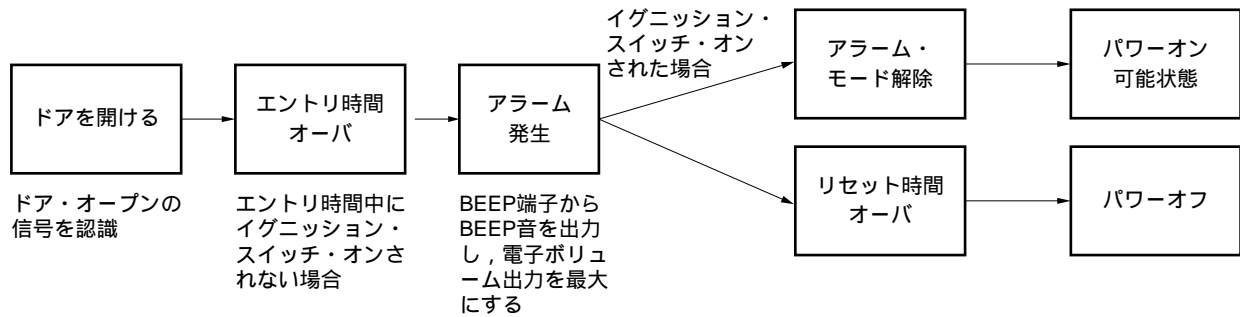
アラーム機能は盗難防止を目的とし、ユーザ以外の人が車に侵入したと判断した場合、警告音を発生するシステムです。

3.1 アラーム機能の概要

・アラーム・モード解除時

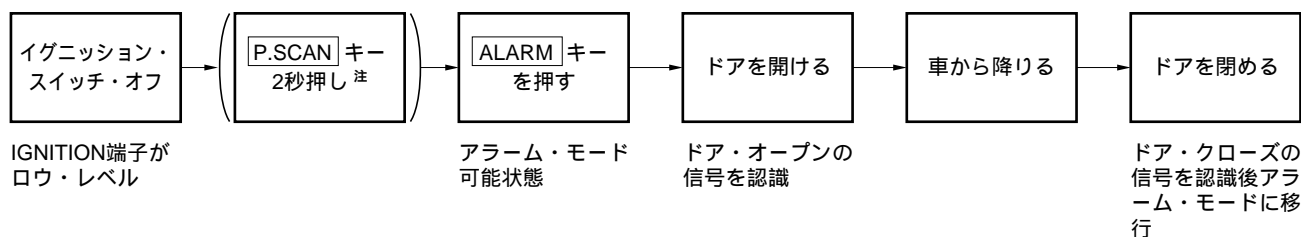


・アラーム・モード動作時



3.2 アラーム・モード設定

アラーム・モードに設定する場合は、次のような動作になります。



注 ここでは各ステータスの時間設定を行うことができます。

P.SCAN キー2秒押し後、**P.SCAN** キーを押すごとに、イグジット時間 エントリ時間 リセット時間 設定終了のようにステータスが変わります。

	初期値 (s)	設定時間幅 (s)
イグジット時間	12	3-180
エントリ時間	12	3-180
リセット時間	30	3-180

イグジット時間 : **ALARM** キーを押してからドアを開け、ドアを閉めるまでの時間

エントリ時間 : ドアを開けてイグニッション・スイッチを入れるまでの時間

リセット時間 : アラーム・モード中のアラーム発生時間

アラーム・モードの設定には、次の(1)-(7)の端子とキーを使用します。

(1) IGNITION端子

キー・ボックスのイグニッション・スイッチ信号を入力します。

IGNITION端子	状態
ロウ・レベル時	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーオフ ・アラーム・モード・オン(アラームを出力中)と各種アラーム・モード時間設定可能状態 ・アラーム・モード中
ハイ・レベル時	パワーオン可能状態

(2) ALARMIN端子

車のドア開閉信号を入力します。

- ・ **ALARM** キーをオンしたときのALARMIN端子がロウ・レベルの場合

ALARMIN端子	状 態
ロウ・レベル時	ドアが閉じている
ハイ・レベル時	ドアが開いている

- ・ **ALARM** キーをオンしたときのALARMIN端子がハイ・レベルの場合

ALARMIN端子	状 態
ロウ・レベル時	ドアが開いている
ハイ・レベル時	ドアが閉じている

(3) ALARMOUT端子

警告時の状態を出力します。

電子ボリューム，アンプなど周辺ハードウェアのパワーオン信号に使用します。

ALARMOUT	状 態
ロウ・レベル時	アラーム・モード・オフ
ハイ・レベル時	アラーム・モード・オン（アラームを出力中）

(4) **ALARM** キー

次の条件を2つとも満たしたときにキーが押されると，アラーム機能を動作させます。

- ・ イグニッション・スイッチ・オフ
- ・ 初期設定ダイオードDISALARM = 0

IGNITION端子= 0のときのみ有効のキーです。

(5) **P.SCAN** キー

次の条件を2つとも満たしたときに2秒以上キーを押し続けると，アラーム時間設定状態になります。

- ・ イグニッション・スイッチ・オフ
- ・ 初期設定ダイオードDISALARM = 0

(6) **MAN UP** キー

アラーム時間設定状態中にキーを押すごとに，設定時間が1ステップ（1秒）分アップします。

キーを2秒以上押し続けると，50 msステップの速さで連続送りを行います。

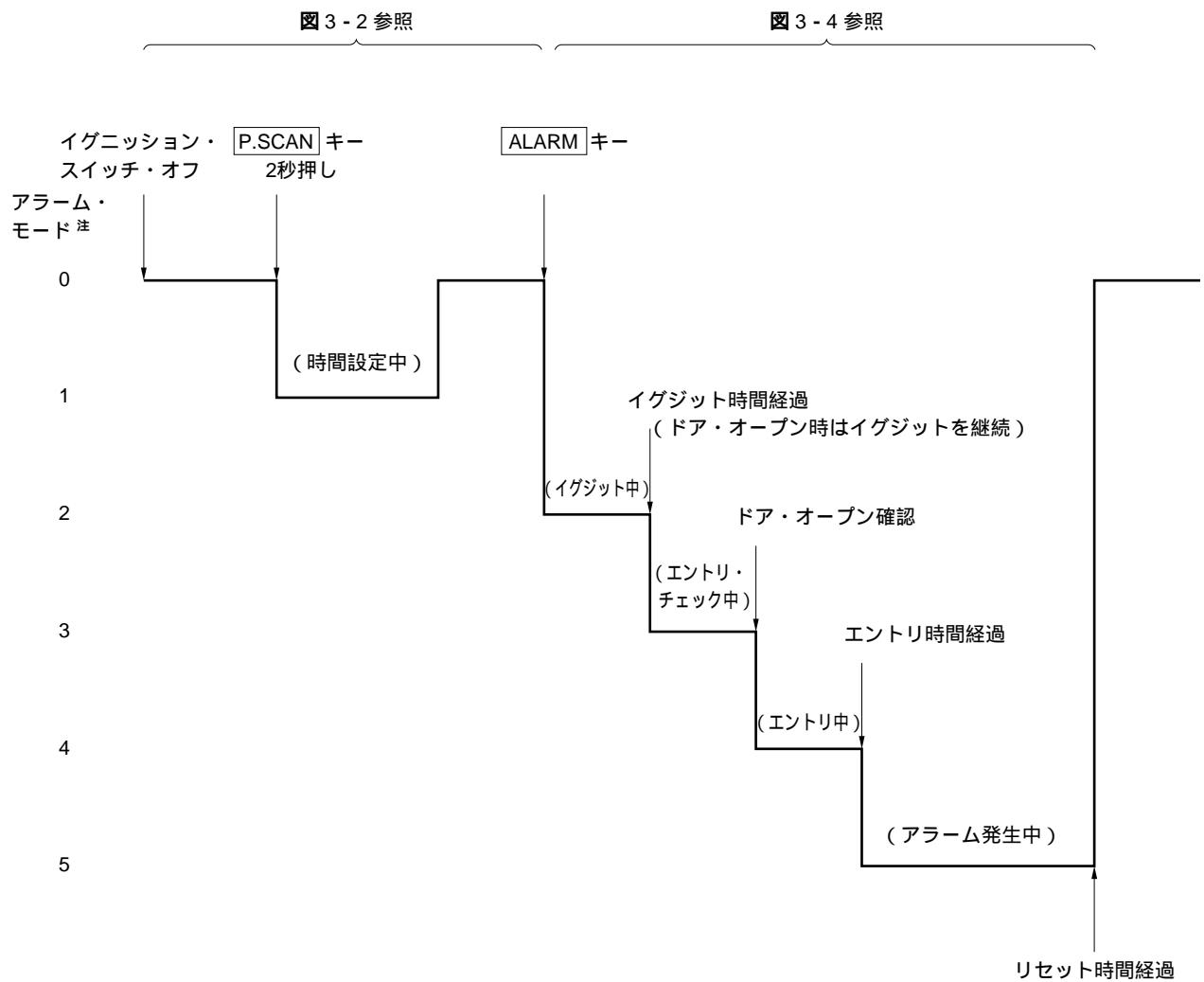
(7) **MAN DWN** キー

アラーム時間設定状態中にキーを押すごとに，設定時間が1ステップ（1秒）分ダウンします。

キーを2秒以上押し続けると，50 msステップの速さで連続送りを行います。

図3 - 1にアラーム・モード設定と動作時の概要，図3 - 2～図3 - 4にアラーム動作遷移を示します。

図3-1 アラーム・モード設定と動作時の概要



- 注 0: アラーム動作停止中
 1: アラーム時間設定処理中
 (イグジット, エントリ, リセットの時間を設定)
 2: イグジット動作中
 3: エントリ・チェック中
 4: エントリ動作中
 5: アラーム発生中

図3-2 アラーム動作遷移図1 (アラーム動作停止中)

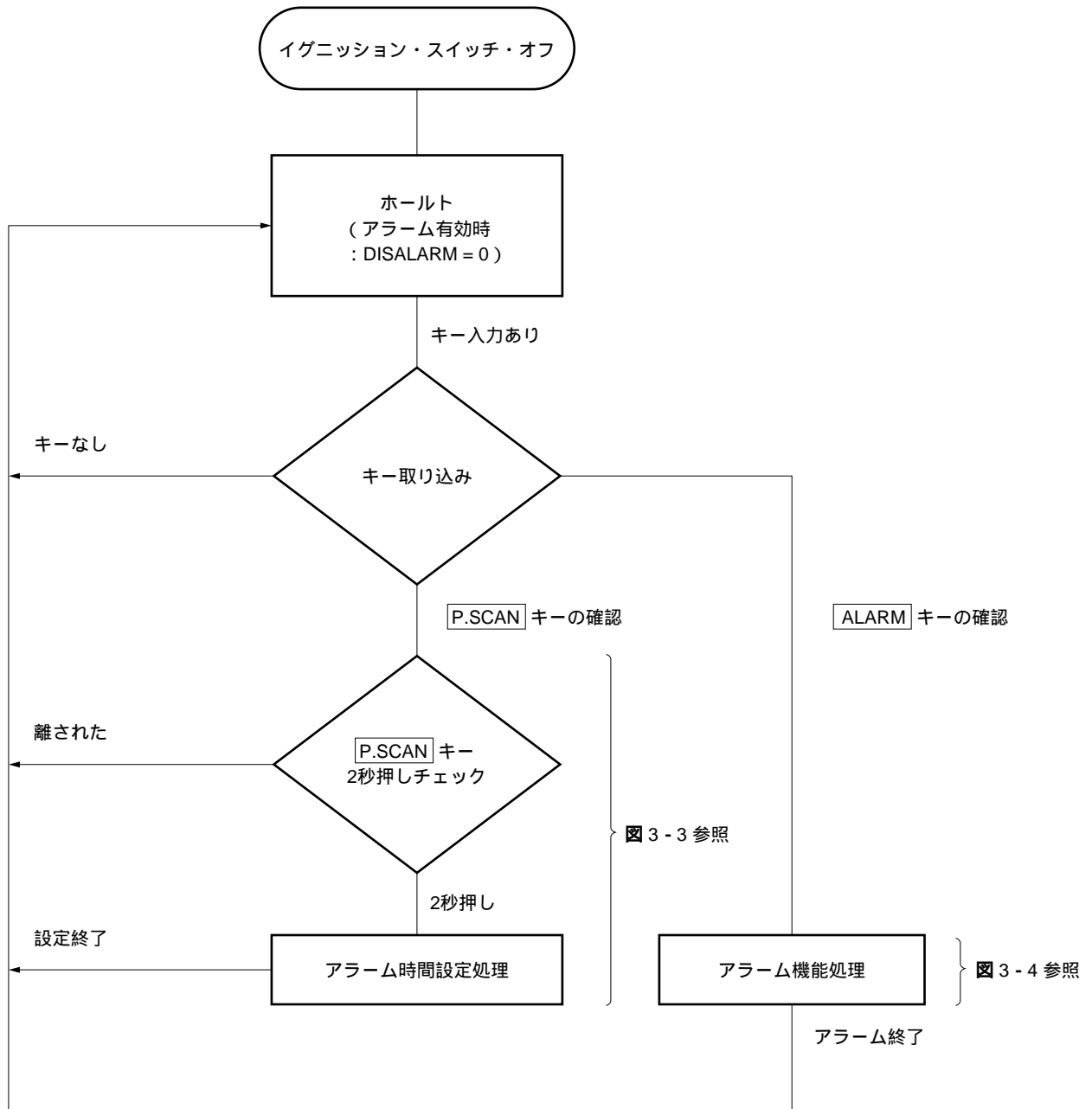
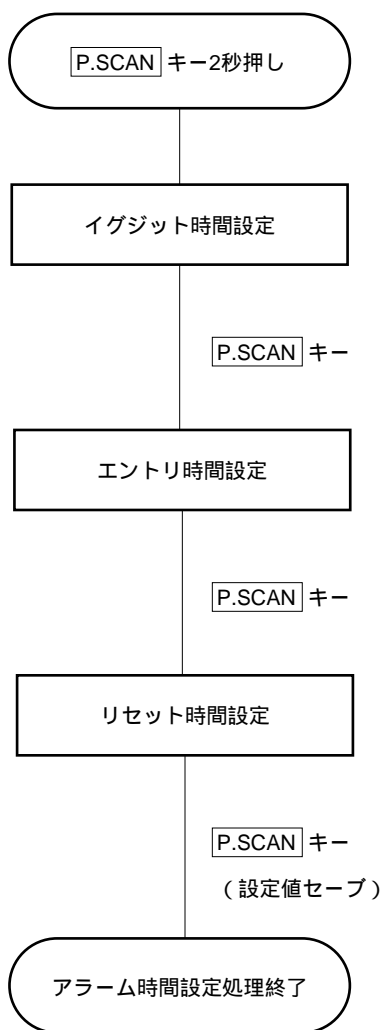
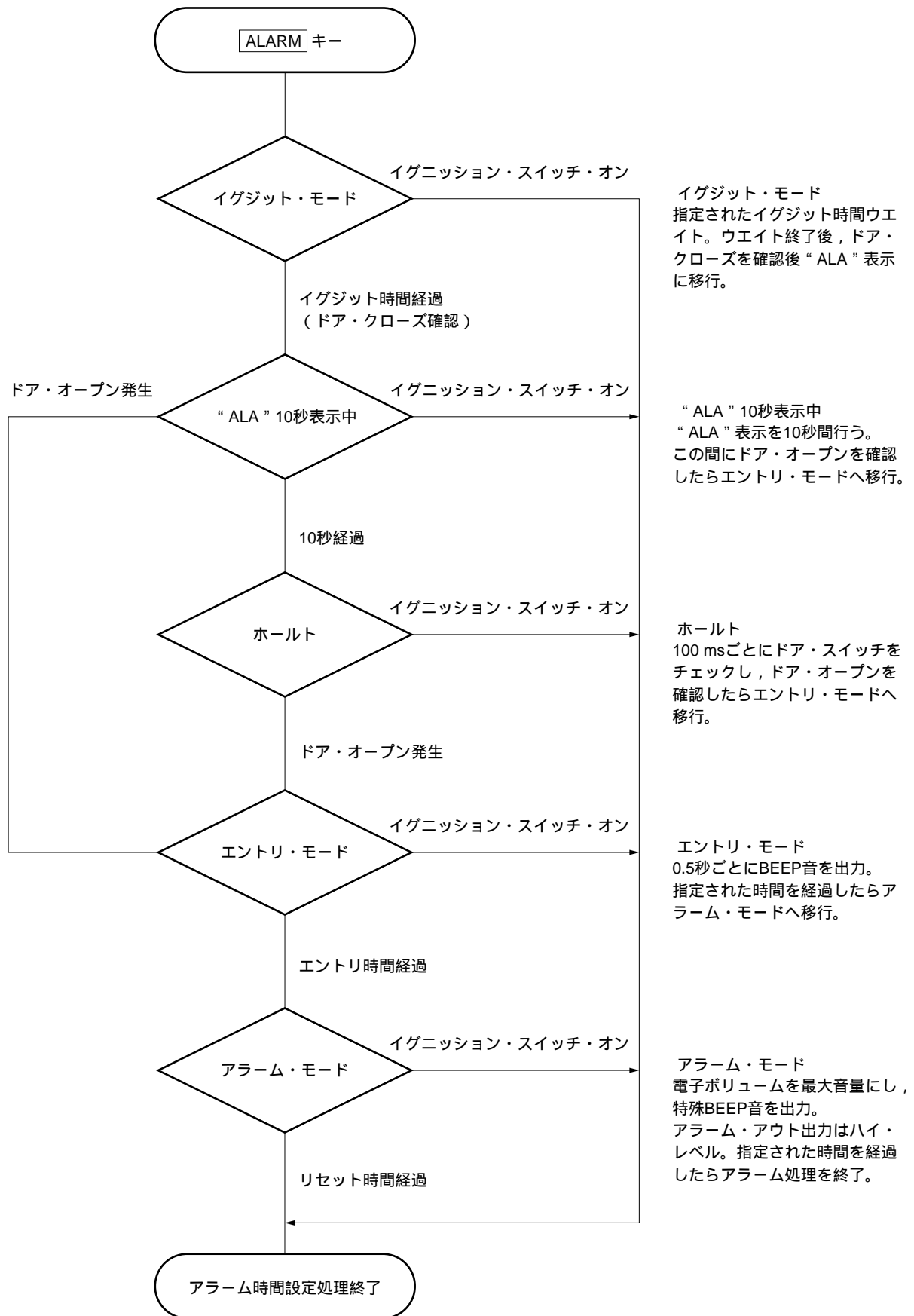


図3 - 3 アラーム動作遷移図2 (アラーム時間設定処理)



	初期値 (s)	設定時間幅 (s)
イグジット時間	12	3-180
エントリ時間	12	3-180
リセット時間	30	3-180

図3-4 アラーム動作遷移図3 (アラーム機能処理)



4. モード遷移

ラジオ・モードのオン/オフはRDSETスイッチ状態を切り替えることにより行います。

RDSET, TPSETおよびCDSETスイッチは, CE端子=ハイ・レベル時およびIGNITION端子=ハイ・レベル時のみ有効となります。

IGNITION端子をロウ・レベルにすると, 初期設定ダイオードNOCLKの状態にかかわらず, 時計表示は行いません。ただしNOCLK = 0 (時計あり) の場合は, 時計機能が有効になります。

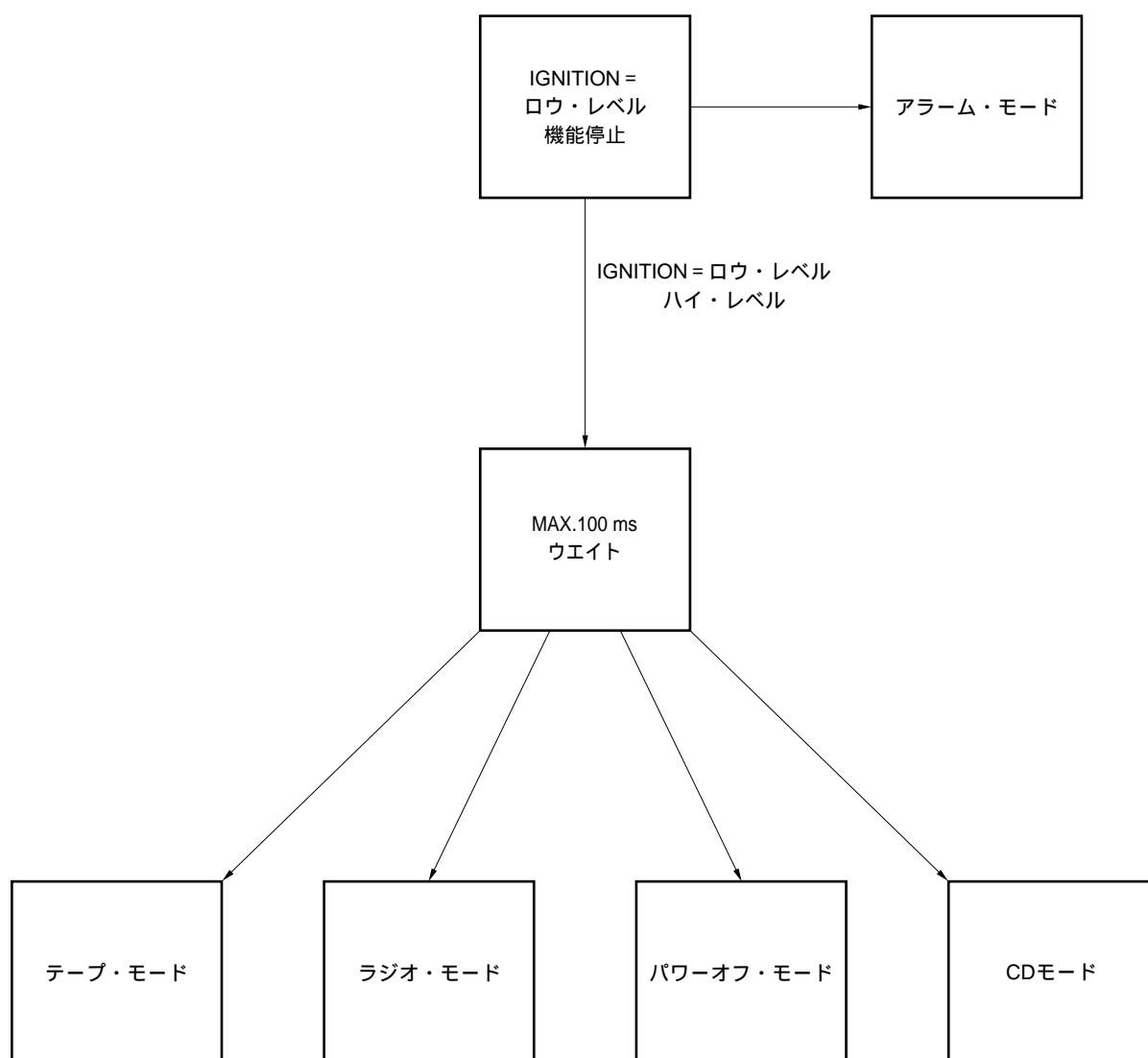
IGNITION端子=ロウ・レベル時にアラーム・モードに移行することができます。

CE端子は常にハイ・レベルに固定してください。

(1) IGNITION端子がロウ・レベル ハイ・レベルに変化したときのモード遷移

ラジオ・モードのオン/オフはRDSETスイッチにより行います。

テープおよびCDモードへの切り替えはそれぞれTPSETおよびCDSETスイッチにより行います。

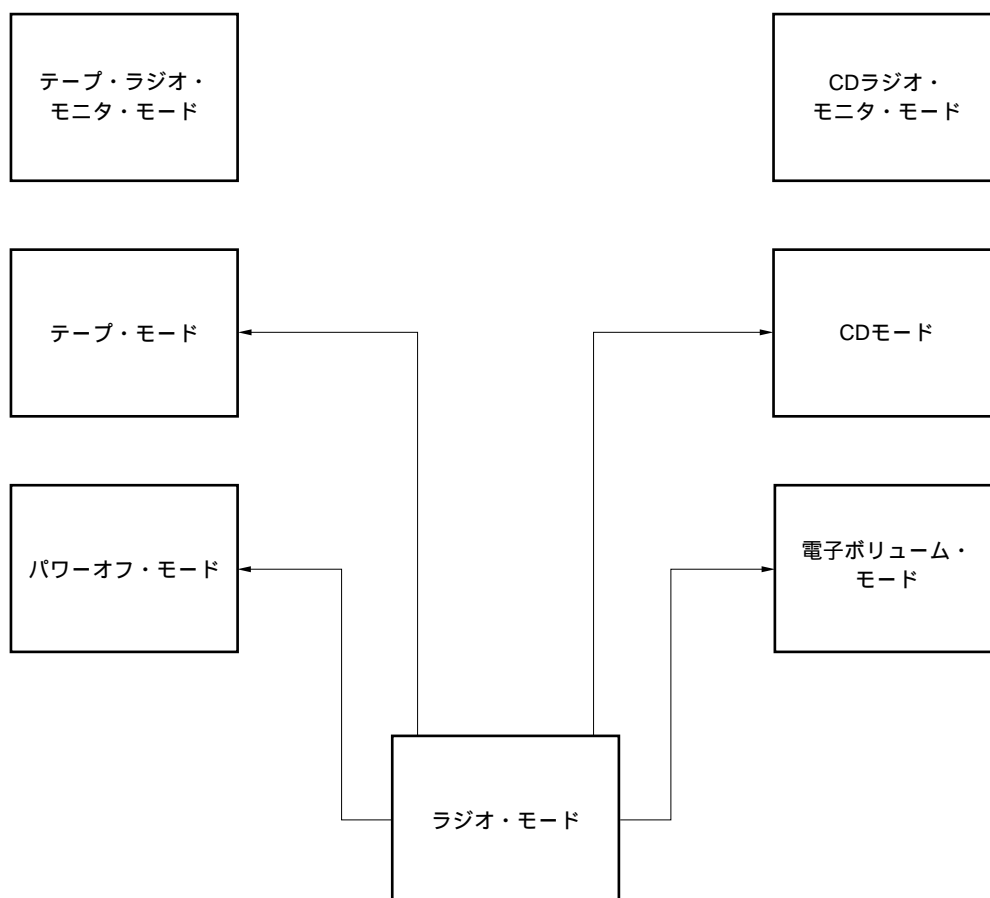


備考 囲まれた数字は, 次のことを示します。

- : CDSETスイッチ・オン
- : CDSETスイッチ・オフ
- : TPSETスイッチ・オン
- : TPSETスイッチ・オフ
- : RDSETスイッチ・オン
- : RDSETスイッチ・オフ
- : IGNITION端子オフ (ロウ・レベル)
- : **ALARM** キー・オン
- : DISALARMスイッチ=0

(2) IGNITION端子がハイ・レベルのときのモード遷移

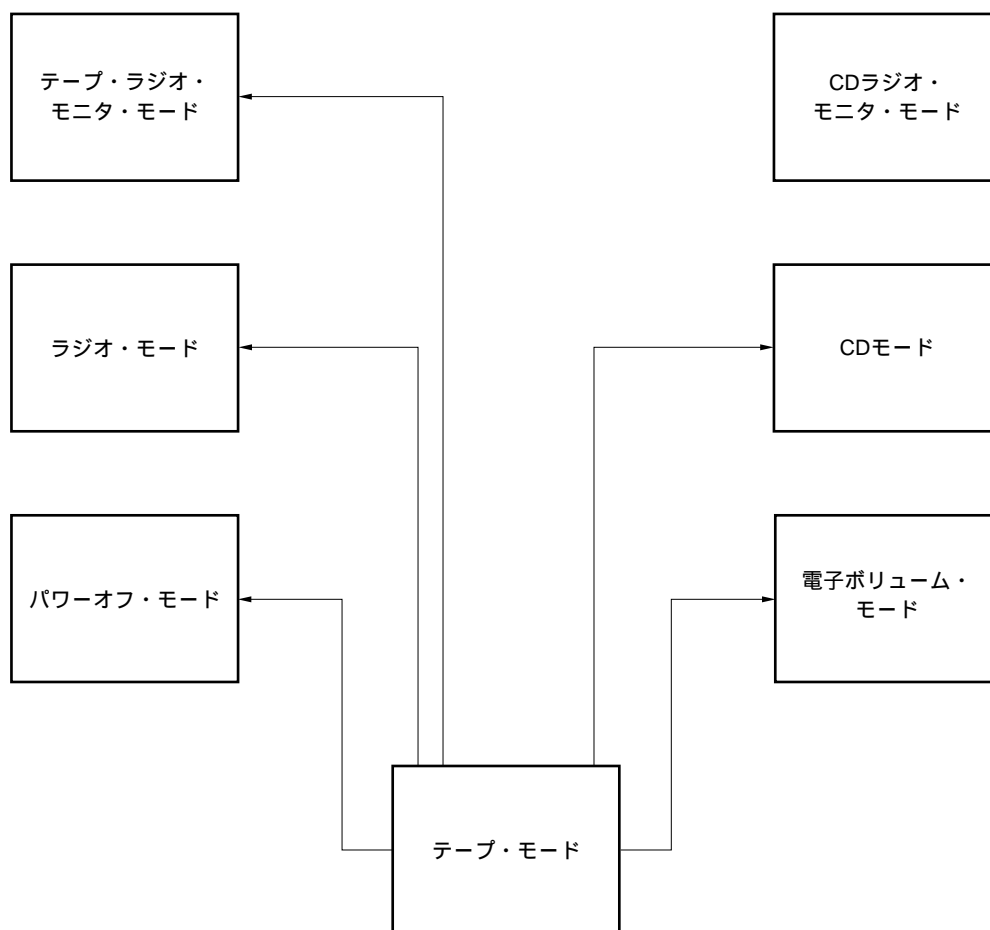
(a) ラジオ・モードから他モードへの移行



備考 に囲まれた数字は、次のことを示します。

- | | |
|----------------|--|
| : CDSETスイッチ・オン | : RDMONI キー・オン |
| : CDSETスイッチ・オフ | : RDSETスイッチ・オン |
| : TPSETスイッチ・オン | : RDSETスイッチ・オフ |
| : TPSETスイッチ・オフ | : 電子ボリューム関連キー・オン |

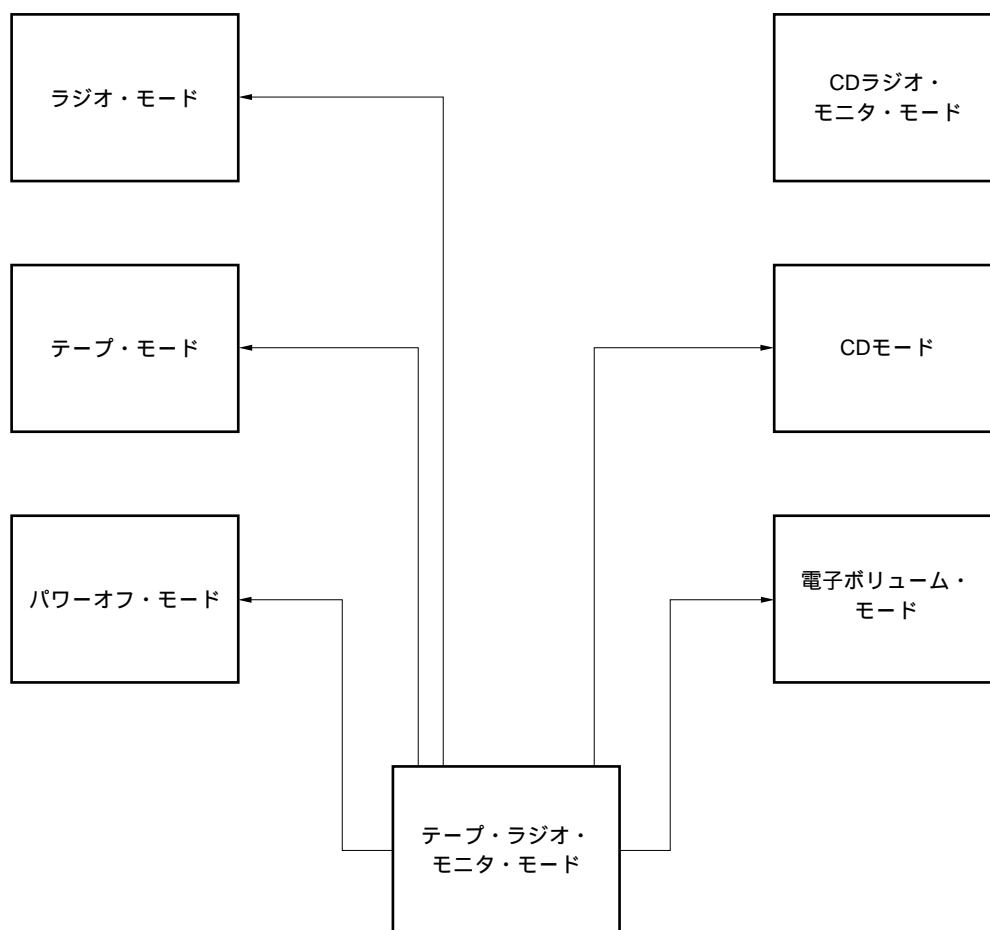
(b) テープ・モードから他モードへの移行



備考 に囲まれた数字は、次のことを示します。

- | | |
|----------------|--|
| : CDSETスイッチ・オン | : RDMONI キー・オン |
| : CDSETスイッチ・オフ | : RDSETスイッチ・オン |
| : TPSETスイッチ・オン | : RDSETスイッチ・オフ |
| : TPSETスイッチ・オフ | : 電子ボリューム関連キー・オン |

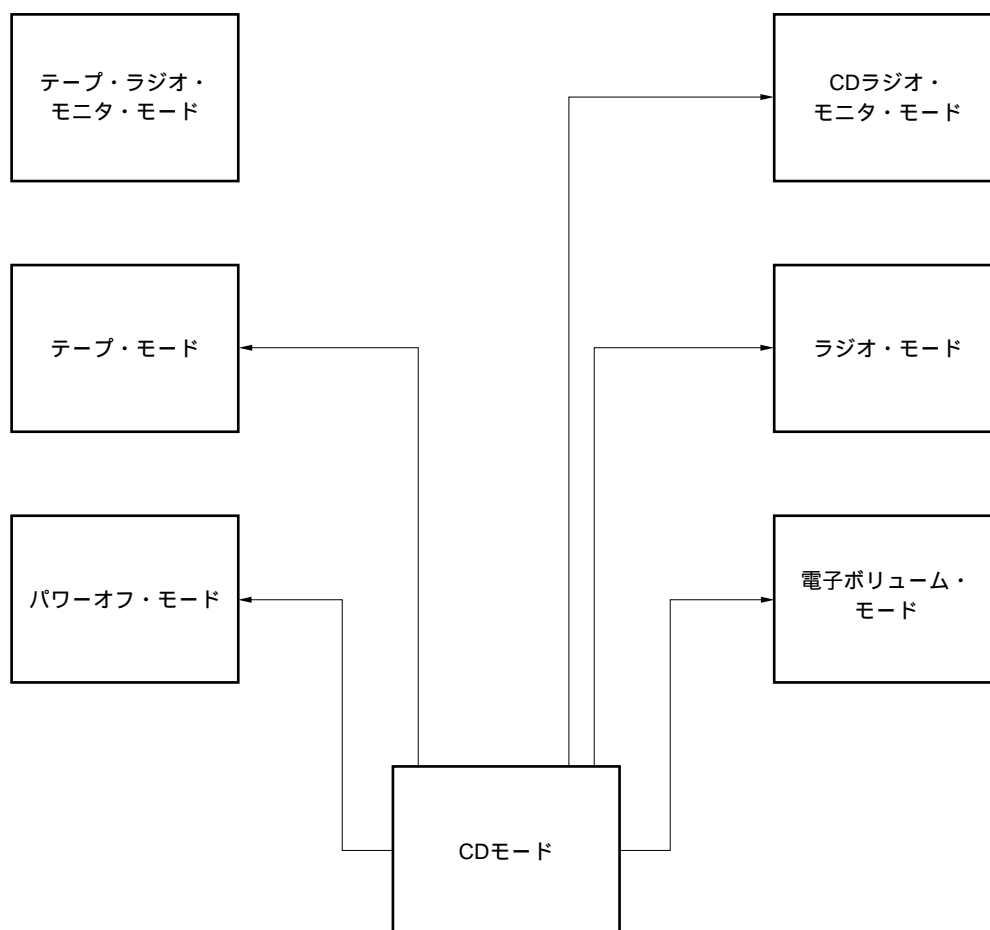
(c) テープ・ラジオ・モニタ・モードから他モードへの移行



備考 に囲まれた数字は、次のことを示します。

- | | |
|----------------|--|
| : CDSETスイッチ・オン | : RDMONI キー・オン |
| : CDSETスイッチ・オフ | : RDSETスイッチ・オン |
| : TPSETスイッチ・オン | : RDSETスイッチ・オフ |
| : TPSETスイッチ・オフ | : 電子ボリューム関連キー・オン |

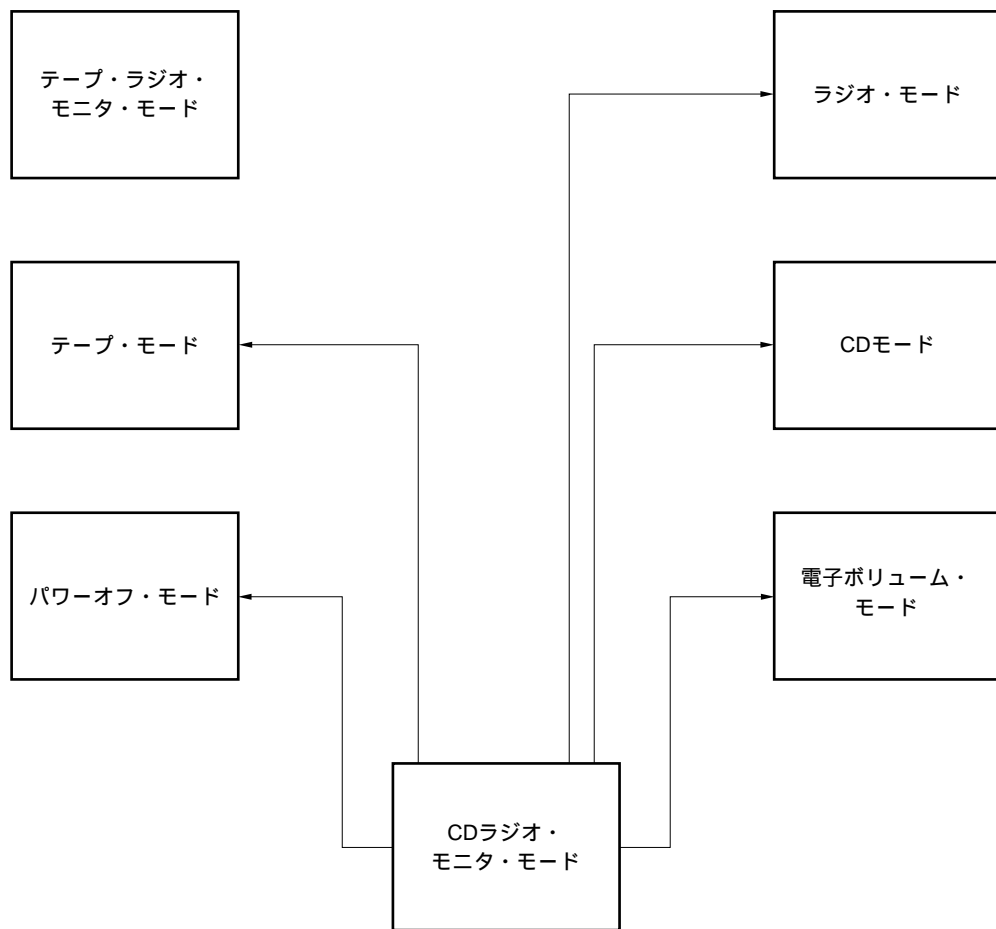
(d) CDモードから他モードへの移行



備考 に囲まれた数字は、次のことを示します。

- | | |
|----------------|--|
| : CDSETスイッチ・オン | : RDMONI キー・オン |
| : CDSETスイッチ・オフ | : RDSETスイッチ・オン |
| : TPSETスイッチ・オン | : RDSETスイッチ・オフ |
| : TPSETスイッチ・オフ | : 電子ボリューム関連キー・オン |

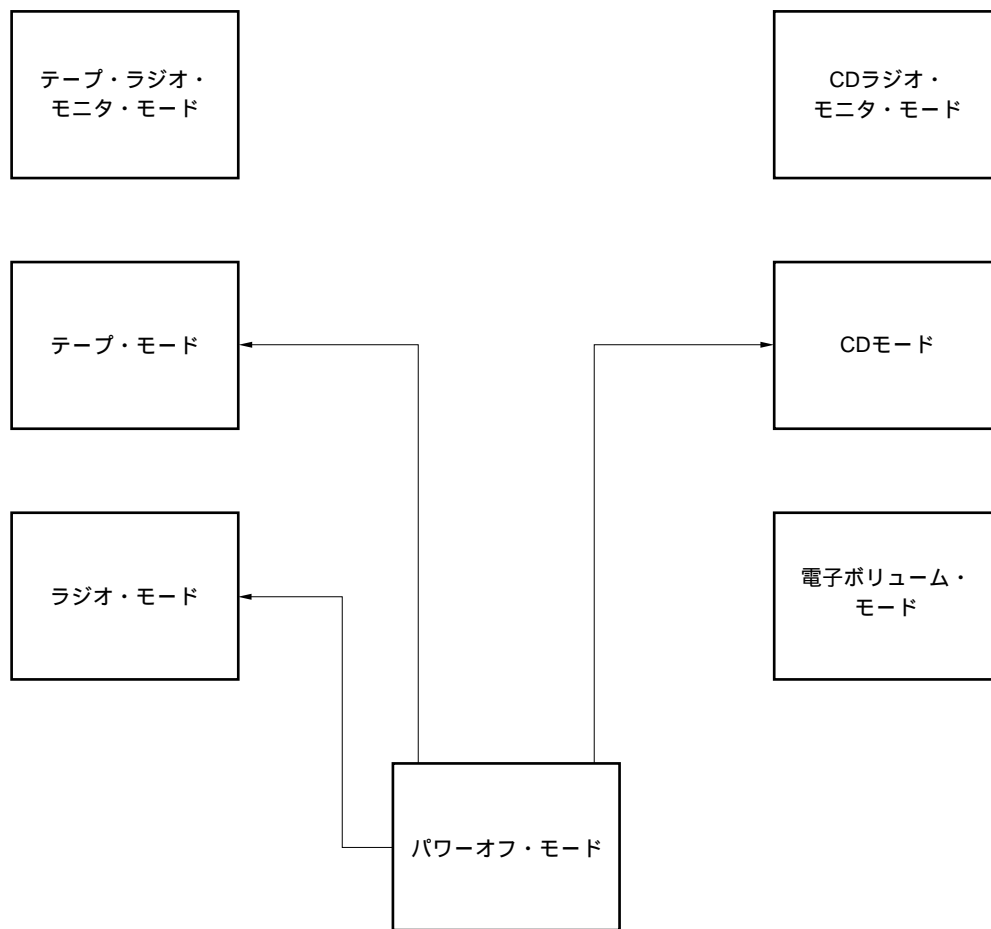
(e) CDラジオ・モニタ・モードから他モードへの移行



備考 囲まれた数字は、次のことを示します。

- | | |
|----------------|--|
| : CDSETスイッチ・オン | : RDMONI キー・オン |
| : CDSETスイッチ・オフ | : RDSETスイッチ・オン |
| : TPSETスイッチ・オン | : RDSETスイッチ・オフ |
| : TPSETスイッチ・オフ | : 電子ボリューム関連キー・オン |

(f) パワーオフ・モードから他モードへの移行



備考 囲まれた数字は、次のことを示します。

- | | |
|----------------|--|
| : CDSETスイッチ・オン | : RDMONI キー・オン |
| : CDSETスイッチ・オフ | : RDSETスイッチ・オン |
| : TPSETスイッチ・オン | : RDSETスイッチ・オフ |
| : TPSETスイッチ・オフ | : 電子ボリューム関連キー・オン |

5. 表 示

5.1 LCDパネル



5.2 字 体



5.3 表 示 例

(1) テープ・モード

TAPPE

(4) ボリューム・モード

VOL

(7) バランス・モード

BA

(2) CDモード

CD

(5) バス・モード

BAS

(8) フェーダ・モード

FA

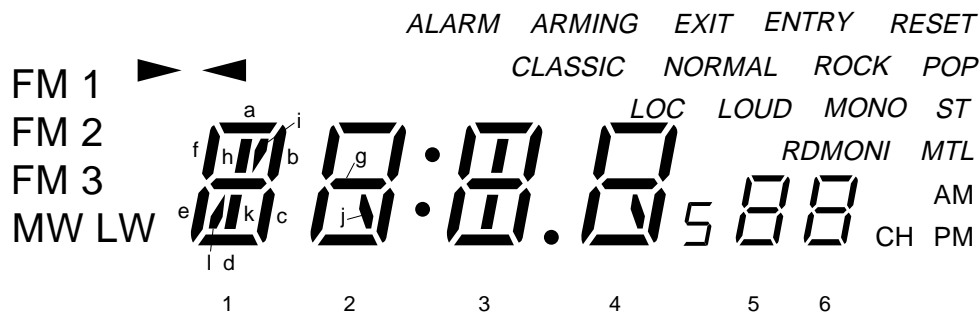
(3) オートストア

ATP

(6) トレブル・モード

TRE

5.4 LCD割り当て



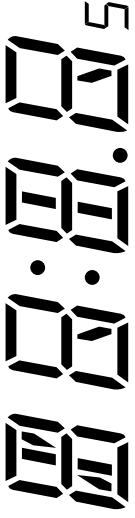

5.5 LCDコントローラ/ドライバ(μ PD7225)のLCD端子割り当て表

端子名 (端子番号)	COM0 (15)	COM1 (16)	COM2 (17)
S0 (19)	ST	MW	FM1
S1 (20)	◀	LW	▶
S2 (21)	POP	FM3	FM2
S3 (22)	1l, i	1d	1f
S4 (23)	1g	1e	1a
S5 (24)	1k, h	1c	1b
S6 (25)	ALARM	2e	2f
S7 (26)	2g	2d	2a
S8 (27)	2j	2c	2b
S9 (28)	:	3e	3f
S10 (29)	3g	3d	3a
S11 (30)	3h, k	3c	3b
S12 (31)	.	4e	4f
S13 (32)	4g	4d	4a
S14 (34)	4j	4c	4b
S15 (35)	AM	PM	MONO
S16 (36)	ARMING	5e	5f
S17 (37)	5g	5d	5a
S18 (38)	EXIT	5c	5b
S19 (39)	ENTRY	6e	6f
S20 (40)	6g	6d	6a
S21 (41)	RESET	6c	6b
S22 (42)	RDMONI	CH	MTL
S23 (43)	5	NORMAL	LOUD
S24 (44)	ROCK	CLASSIC	LOC

備考 ()内の数字は μ PD7225G (52ピン・プラスチックQFP)の端子番号です。

5.6 表示説明

表 示	説 明
ALARM ARMING EXIT ENTRY RESET	アラーム動作中に関する表示です。 ・ALARM : アラーム・モード時に点灯します。 ・ARMING : アラーム出力動作中に点灯します。 ・EXIT : イグジット時間設定中に点灯します。 ・ENTRY : エントリ時間設定中に点灯します。 ・RESET : リセット時間設定中に点灯します。
CLASSIC NORMAL POP ROCK	外部のサウンド・コントロールICのモードを示す表示です。 ・CLASSIC : クラシック・モード ・NORMAL : ノーマル・モード ・POP : ポップス・モード ・ROCK : ロック・モード
ST	ステレオ放送を受信していることを示す表示です。 (1) CDモード, テープ・モード時 消灯します。 (2) 上記モード以外 FMおよびMWバンド選択時, 放送局受信状態でSTスイッチがオンでモノラル・オフ状態のとき点灯します (MWバンドは, 初期設定ダイオードMWS = 1でステレオ受信機能ありのときのみST表示を点灯します)。 なお, 選択バンドにかかわらずチューニング動作中は消灯します。
LOC	ローカル状態であることを示す表示です。 (1) CDモード, テープ・モード時 消灯します。 (2) 上記モード以外 ローカル状態のとき点灯します。
LOUD	ラウドネス・オン状態であることを示す表示です。 モードにかかわらず, ラウドネス・オン状態のとき点灯します。
MTL	メタル・オン状態であることを示す表示です。 (1) テープ・モード, テープ・ラジオ・モニタ・モード時 メタル・オン状態のとき, 点灯します。 (2) 上記モード以外 消灯します。
RDMONI	ラジオ・モニタ・モード状態であることを示す表示です。
MONO	モノラル状態であることを示す表示です。 (1) CDモード, テープ・モード時 消灯します。 (2) 上記モード以外 FMおよびMWバンド選択時, モノラル・オフ状態で点灯します (MWバンドは, 初期設定ダイオードMWS = 1でステレオ受信機能ありのときのみモノラル表示を点灯します)。
 	テープの走行方向を示す表示です。 (1) テープ・モード, テープ・ラジオ・モニタ・モード時 RLスイッチの状態により走行方向を表示します。またFFスイッチがオンであれば点滅を行います。 (2) 上記モード以外 消灯します。

表 示	説 明
FM1 FM2 FM3 MW LW	受信バンドを示す表示です。 (1) CDモード, テープ・モード時 消灯します。 (2) 上記モード以外 受信バンドを点灯します。
	受信周波数, “ RPP ”, “ CD ”, “ TAPE ”, “ VOL ”, “ BBS ”, “ TRE ”, “ BR ”, “ FR ” および時計を表示します。 “ VOL ” 表示中にパネル全体が点滅している場合は, ミュート状態になっています。
AM PM	12時間制の時間表示の午前 (AM), 午後 (PM) 表示です。
	プリセット・メモリ・ナンバまたは電子ボリューム関連のボリューム値を示す表示です。 プリセット・メモリの書き込み, 呼び出しを行うと, 対応するプリセット・メモリ・ナンバと “ CH ” 表示を点灯します。電子ボリューム・モード時は, ボリューム値を点灯し, “ CH ” 表示は消灯します。 周波数表示中に点灯し, 時間表示中は消灯します。 プリセット・メモリ書き込み可能状態の時, “ CH ” 表示が1 Hzで点滅します。 プリセット・メモリ・スキャン中は対応するプリセット・メモリ・ナンバが1 Hzで点滅します。

6. リモート・コントロール

リモコン送信機用ICには μPD6121Gを使用します。このICにはカスタム・コードがあり、このカスタム・コードが正しく設定されていないと μPD17012GF-058をリモコンでコントロールすることはできません。

μPD17012GF-058を動作させるカスタム・コードは8604Hで、送信機用IC(μPD6121G)のキー・マトリクス上にダイオードとプルアップ抵抗を接続して設定します(6.4 μPD6121G-001を用いたリモコン回路例参照)。

6.1 リモコン・キーの配置(μPD6121Gを使用した場合)

入力端子 (端子番号) 出力端子 (端子番号)	KI ₀ (1)	KI ₁ (2)	KI ₂ (3)	KI ₃ (4)
KI/O ₀ (19)	M1	M2	M3	M4
KI/O ₁ (18)	M5	M6	SEEK UP	-
KI/O ₂ (17)	SCAN UP	SCAN DWN	P.SCAN	BAND
KI/O ₃ (16)	MODE	LOC	MONO	POWER
KI/O ₄ (15)	ILLUMINATION	LOUD	-	-
KI/O ₅ (14)	DISP	MAN UP	MAN DWN	-
KI/O ₆ (13)	-	-	MTL	VOL CON
KI/O ₇ (12)	VOL UP	VOL DWN	MUTE	CD

6.2 リモコン・キーの説明

μ PD17012GF-058のモメンタリ・キーと同様の動作をします。

6.3 リモコン・データ・コード一覧

単押し時

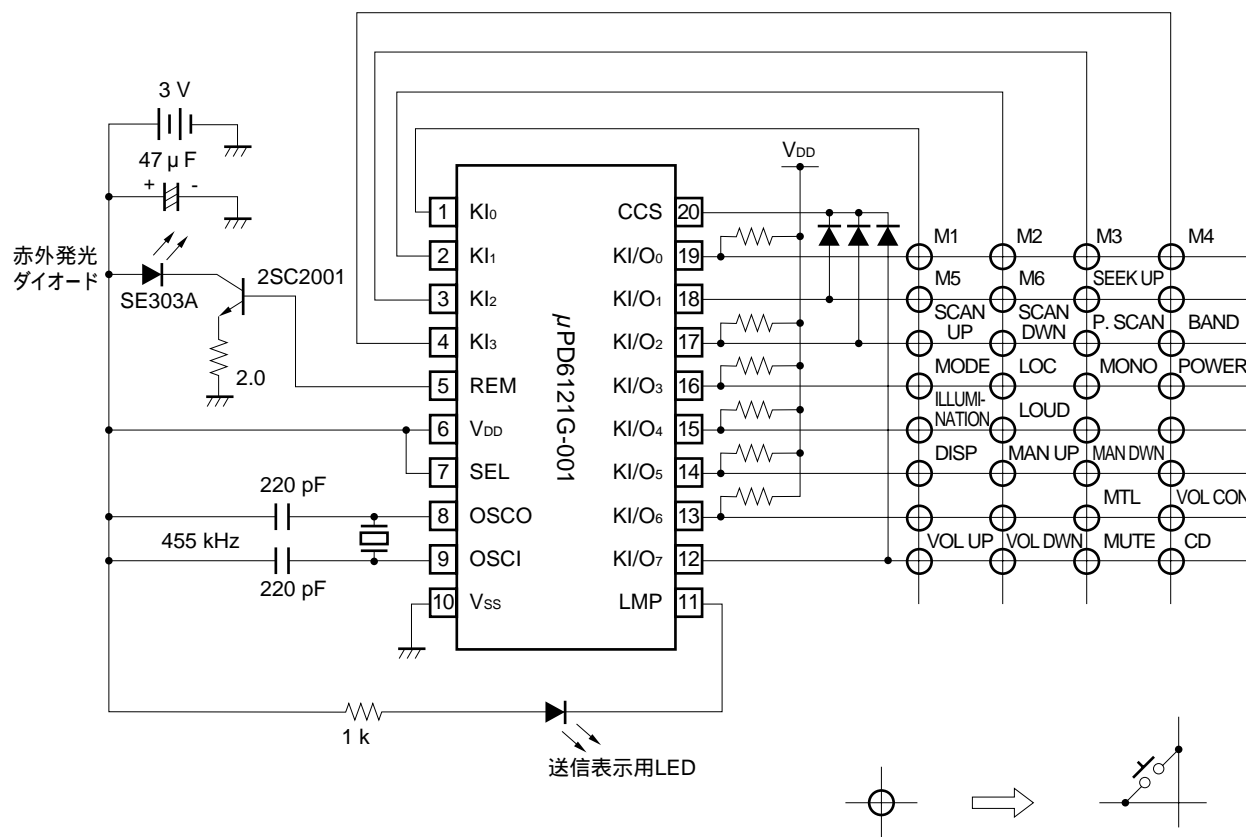
リモコン・キー	データ・コード							
	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7
M1	0	0	0	0	0	0	0	0
M2	1	0	0	0	0	0	0	0
M3	0	1	0	0	0	0	0	0
M4	1	1	0	0	0	0	0	0
M5	0	0	1	0	0	0	0	0
M6	1	0	1	0	0	0	0	0
SEEK UP	0	1	1	0	0	0	0	0
—	1	1	1	0	0	0	0	0
SCAN UP	0	0	0	1	0	0	0	0
SCAN DWN	1	0	0	1	0	0	0	0
P.SCAN	0	1	0	1	0	0	0	0
BAND	1	1	0	1	0	0	0	0
MODE	0	0	1	1	0	0	0	0
LOC	1	0	1	1	0	0	0	0
MONO	0	1	1	1	0	0	0	0
POWER	1	1	1	1	0	0	0	0

リモコン・キー	データ・コード							
	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7
ILLUMINATION	0	0	0	0	1	0	0	0
LOUD	1	0	0	0	1	0	0	0
—	0	1	0	0	1	0	0	0
—	1	1	0	0	1	0	0	0
DISP	0	0	1	0	1	0	0	0
MAN UP	1	0	1	0	1	0	0	0
MAN DWN	0	1	1	0	1	0	0	0
—	1	1	1	0	1	0	0	0
—	0	0	0	1	1	0	0	0
—	1	0	0	1	1	0	0	0
MTL	0	1	0	1	1	0	0	0
VOL CON	1	1	0	1	1	0	0	0
VOL UP	0	0	1	1	1	0	0	0
VOL DWN	1	0	1	1	1	0	0	0
MUTE	0	1	1	1	1	0	0	0
CD	1	1	1	1	1	0	0	0

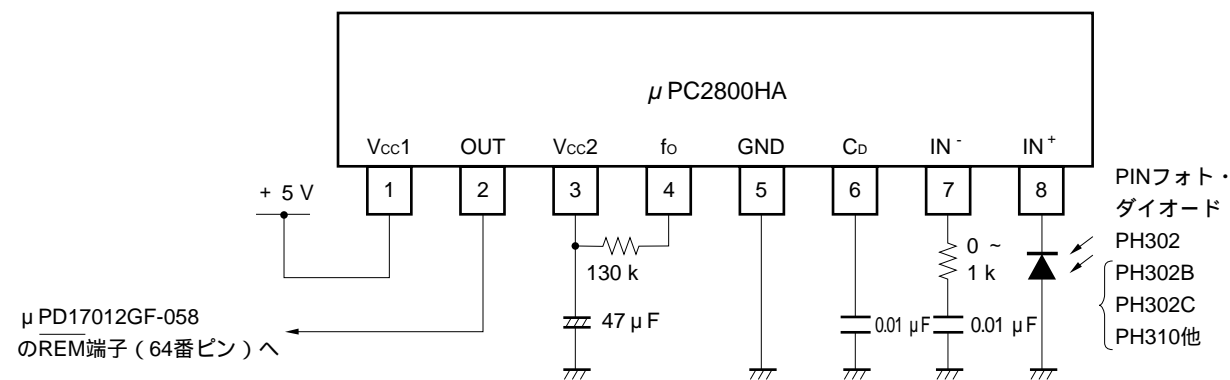
2重押し時

リモコン・キー	データ・コード							
	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7
DISP + MAN UP	1	0	1	0	1	1	0	0
DISP + MAN DWN	0	1	1	0	1	1	0	0

6.4 μ PD6121G-001を用いたリモコン回路例



6.5 μ PC2800HAを用いたリモコン・プリアンプ回路例



7. ミュート出力タイミング・チャート

この項のタイミング・チャートの中の - は、次のことを示しています。

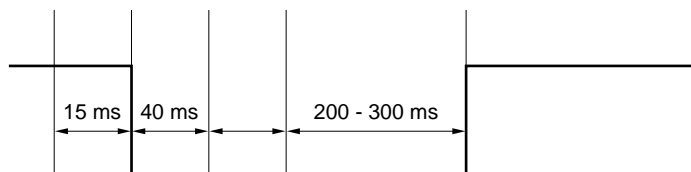
- : キー・オン・チャタリング防止
- : ミュート先出しおよびビープ出力
- : 分周比設定および表示内容の更新
- : ミュート後出し
- : スキャン時間
- : PLLのロック待ち

7.1 ラジオ・ミュート ($\overline{\text{RDMUTE}}$ 端子) 出力タイミング・チャート

(1) マニュアル・アップ/ダウン

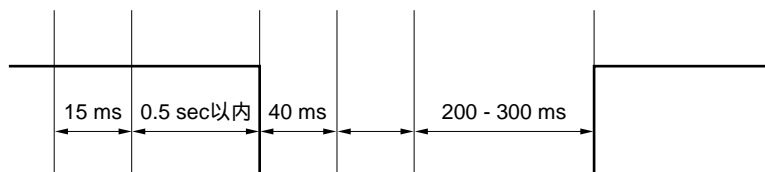
(a) 1チャンネル・アップ/ダウン

(i) AUTO500スイッチ = 0のとき



キー・オン

(ii) AUTO500スイッチ = 1のとき

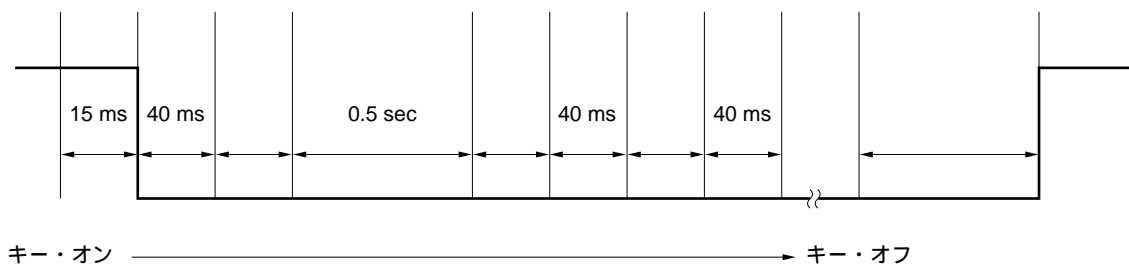


キー・オン → キー・オフ

(i), (ii) とともにバンド・エッジ (最低周波数 最高周波数) では の時間は600-700 msとなります。

(b) 連続アップ/ダウン

(i) AUTO500スイッチ = 0のとき



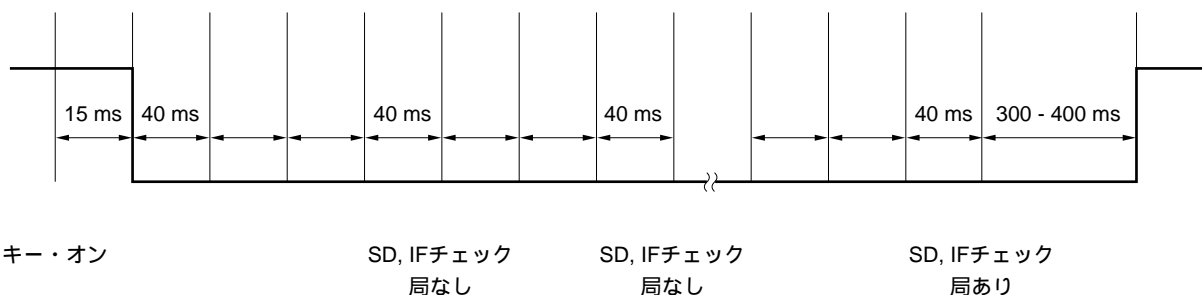
バンド・エッジでは の時間は500 msとなり、 の時間は600-700 msとなります。

(ii) AUTO500スイッチ = 1のとき

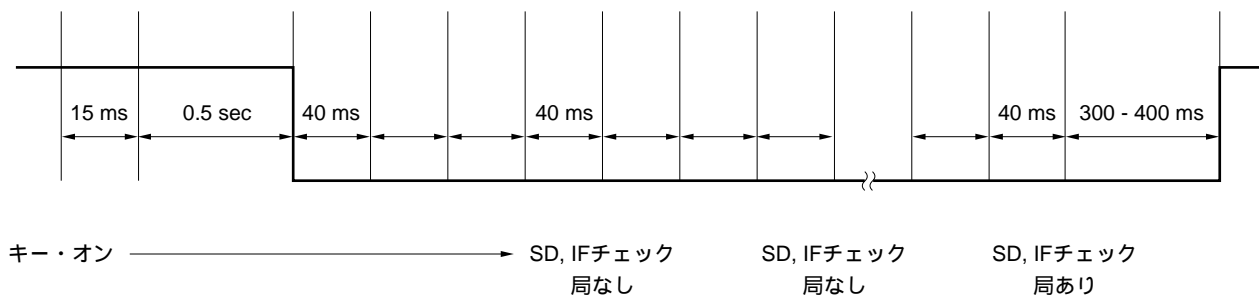
キーを0.5秒以上押し続けることによりオートチューニングとなるため、連続アップ/ダウンは行いません。

(2) オートアップ/ダウン

(a) **SEEK UP**, **SCAN UP**, **SCAN DWN** キー



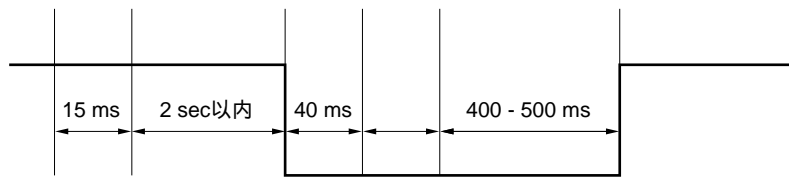
(b) AUTO500スイッチ = 1のときに **MAN UP** キーを0.5秒以上押し続けた場合



(a), (b) とともにバンド・エッジでは の時間が540 msとなります。

IFチェックは、FASTモードとSLOWモードで2回行います。

(3) プリセット・メモリ呼び出し

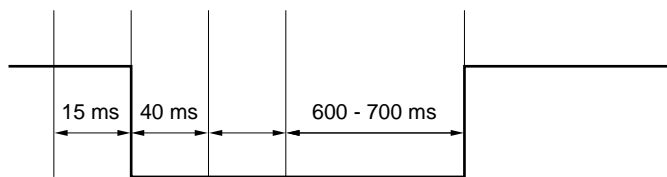


キー・オン → キー・オフ

(4) プリセット・メモリ書き込み

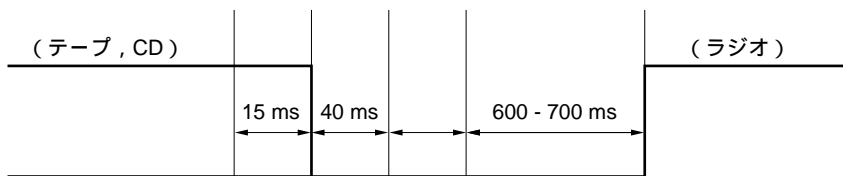
ミュートは出力しません。

(5) バンド切り替え



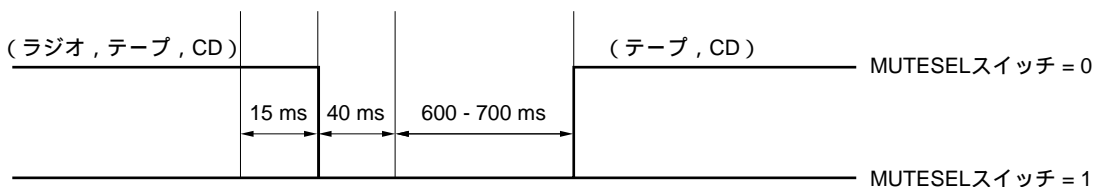
キー・オン

(6) ラジオのオフ オン



RDSETスイッチ・オン

(7) テープまたはCDのオフ オン



TPSETスイッチ・オン

CDSETスイッチ・オン

(8) CE端子のハイ・レベル ロウ・レベル

(ラジオ, テープ, CD)

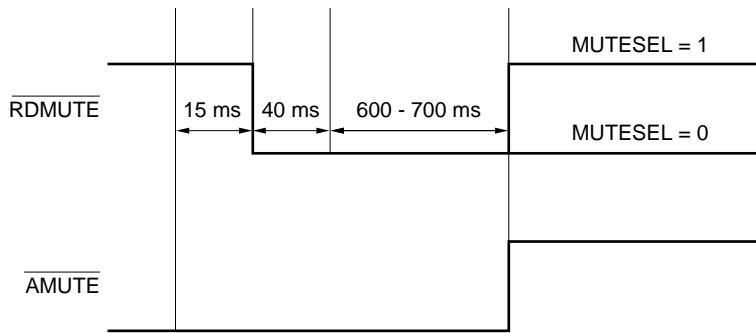


CE = ロウ・レベル

注意 アラーム・モードを使用する場合は、必ずCE端子をプルアップさせた状態で使用してください。

7.2 ラジオ・ミュート ($\overline{\text{RDMUTE}}$ 端子) とオーディオ・ミュート ($\overline{\text{AMUTE}}$ 端子) 出力タイミング・チャート

(1) ラジオ・モードからテープ, CDモードになったとき

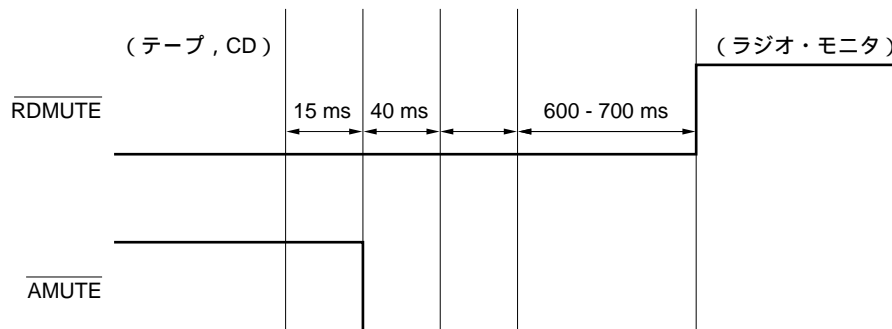


TPSETスイッチ・オン

CDSETスイッチ・オン

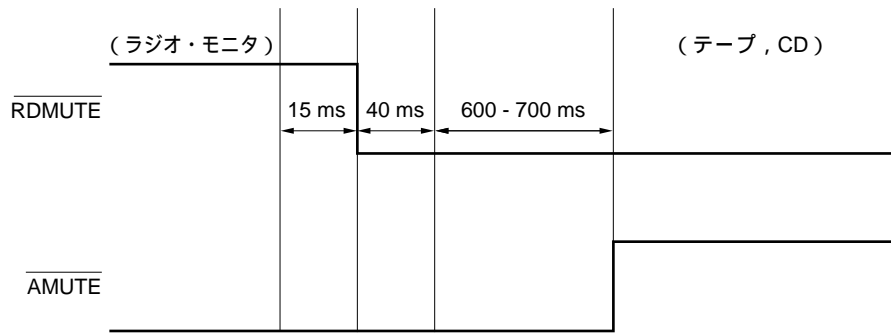
(2) ラジオ・モニタ時 (MUTESELは0にしてください)

(a) ラジオ・モニタ・オフ オン



RDMONIキー・オン

(b) ラジオ・モニタ・オン オフ

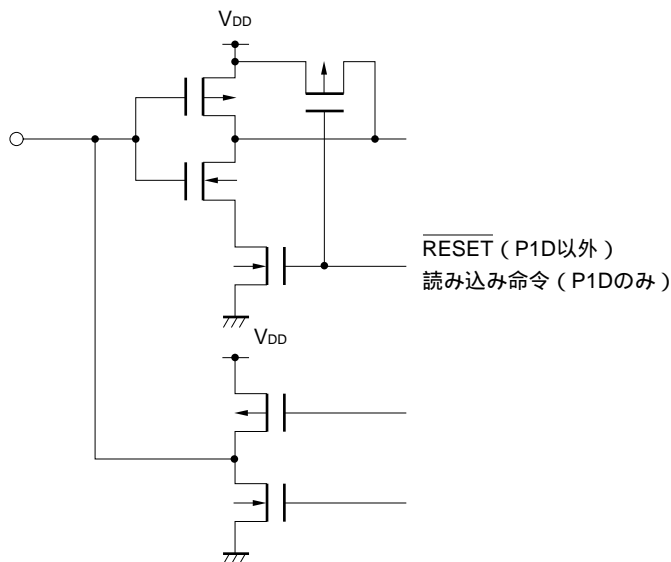


RDMONIキー・オン

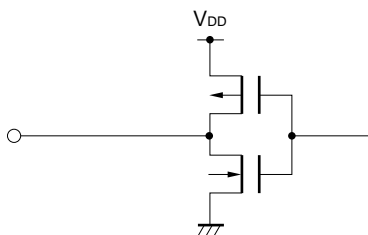
8. 端子の入出力回路

μ PD17012GF-058の各端子の入出力回路を一部簡略した形式を用いて示します。

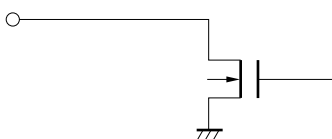
- (1) P0A (P0A0/ALARMIN, P0A1/SO1, P0A2/ $\overline{\text{SCK}}$)
 - P0B (P0B1/BEEP, P0B0/IGNITION)
 - P1A (P1A2/MONO, P1A1/EVOL_SCK, P1A0/EVOL_DA)
 - P1D (P1D3/LOUD, P1D2/POWER, P1D1/BAND1, P1D0/BAND2)
- } (入出力)



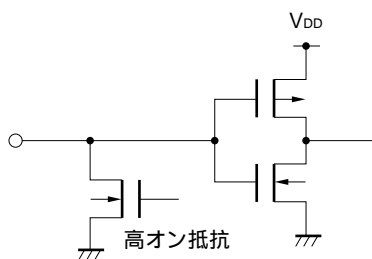
- (2) P1C (P1C3/AGCC, P1C2/LOC, P1C1/ $\overline{\text{AMUTE}}$, P1C0/ $\overline{\text{RDMUTE}}$)
 - P2H0/POUT, P2G0/ILLUMI, P2E0/ $\overline{\text{LCD CS}}$
 - PYA13/MTL, PYA12/CDOOUT, PYA11/MODE2, PYA10/MODE1,
 - PYA9/KS9-PYA0/KS0
- } (出力)



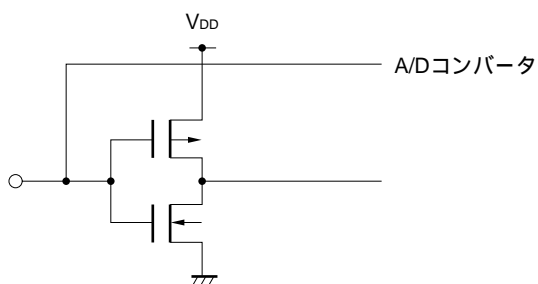
- (3) P0C (P0C3/ALARMOUT, P0C2/KEYS2-P0C0/KEYS0) (出力)



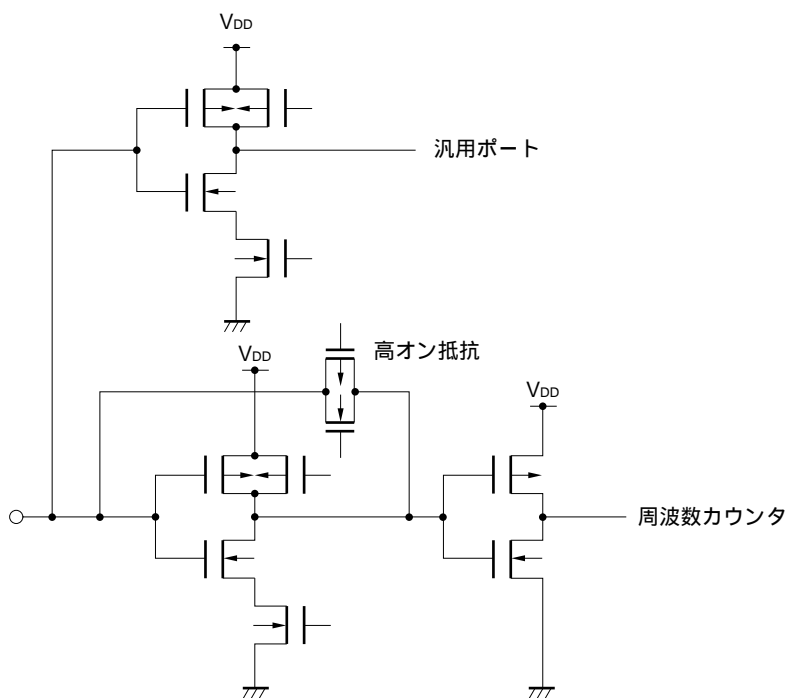
(4) P0D (P0D3/K3-P0D0/K0) (入力)



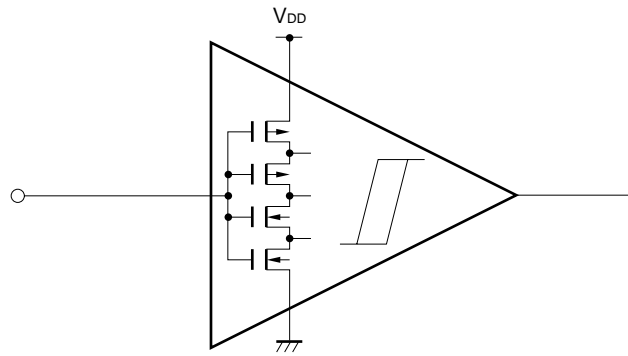
(5) P1B (P1B1/ADC1/KY-IN, P1B0/ADC0/SD) (入力)



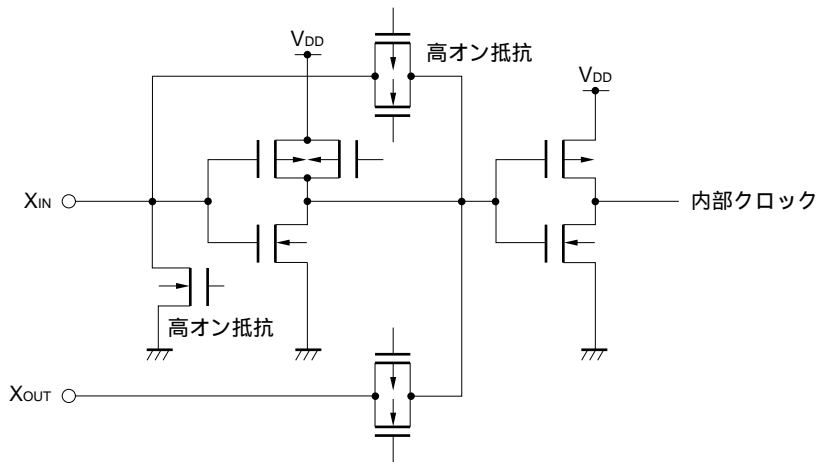
(6) P1B (P1B3/FMIFC, P1B2/AMIFC) (入力)



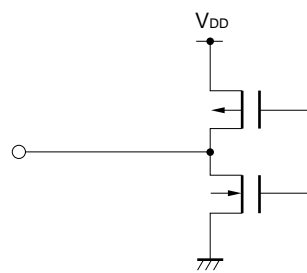
(7) CE } (シュミット・トリガ入力)
 INT/REM }



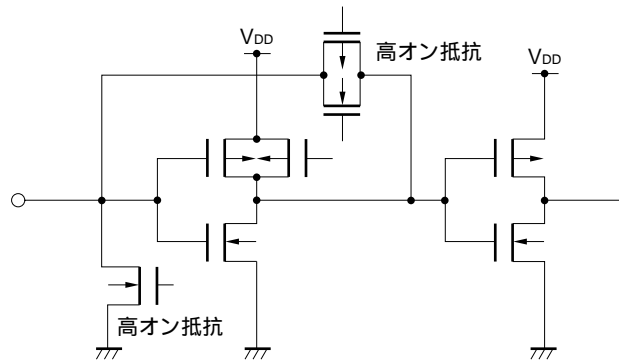
(8) XOUT (出力), XIN (入力)



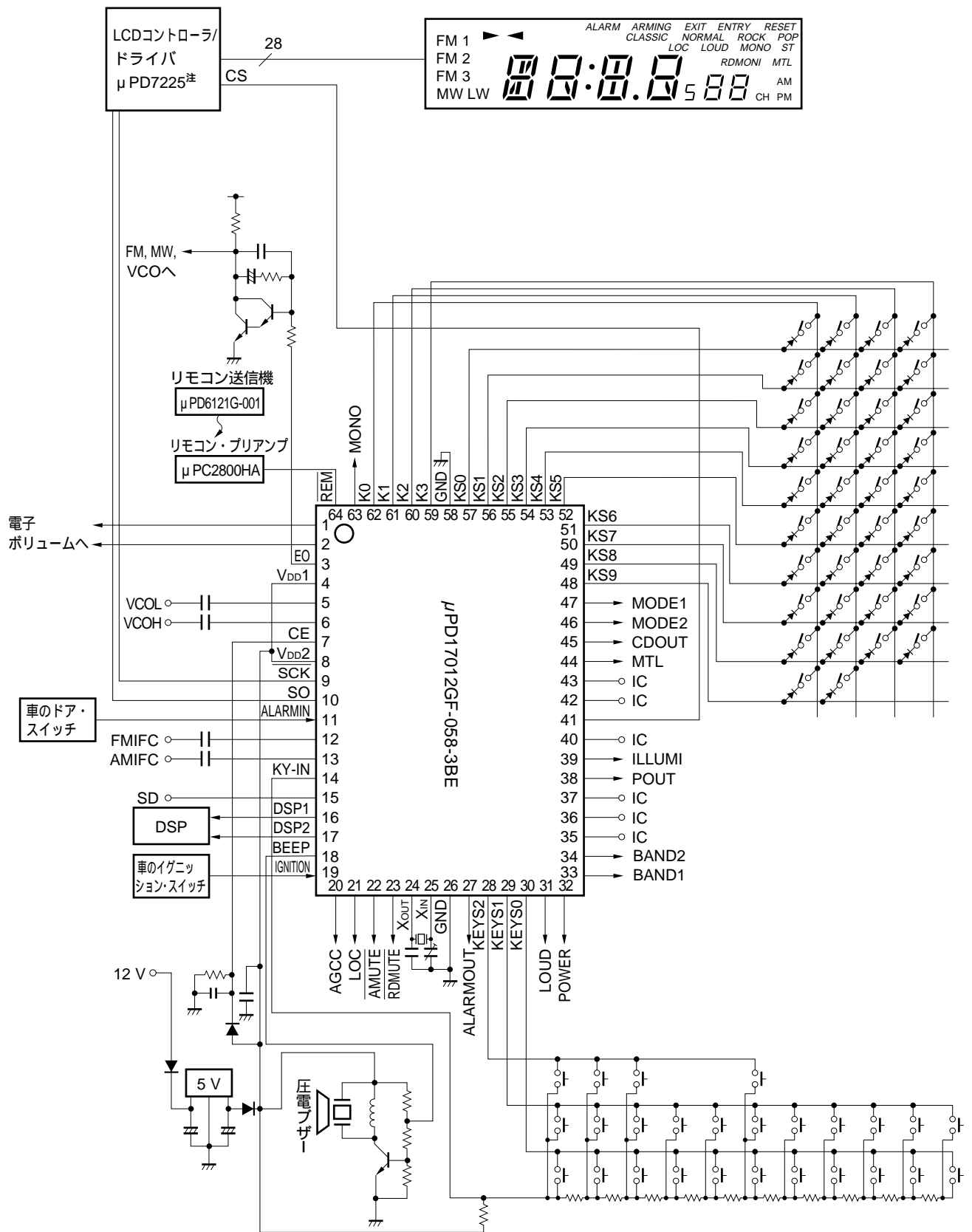
(9) EO (出力)



(10) VCOH } (入力)
 VCOL }



9. 応用回路例



注 外部LCDコントローラ/ドライバ μ PD7225を使用する場合, μ PD7225のC/D端子を μ PD7225のV_{DD}端子と接続してください。

10. 電気的特性 (暫定)

絶対最大定格 (TA = 25)

項目	略号	条件	定格	単位
電源電圧	V _{DD}		- 0.3 ~ + 6.0	V
入力電圧	V _I		- 0.3 ~ V _{DD} + 0.3	V
出力電圧	V _O	P0C0-P0C3を除く	- 0.3 ~ V _{DD} + 0.3	V
ハイ・レベル出力電流	I _{OH}	1端子	- 12.0	mA
		全端子合計	- 20.0	mA
ロウ・レベル出力電流	I _{OL}	1端子	15.0	mA
		全端子合計	30.0	mA
出力耐圧	V _{BDS}	P0C0-P0C3	14.0	V
全損失	P _t		200	mW
動作周囲温度	T _A		- 40 ~ + 85	
保存温度	T _{stg}		- 55 ~ + 125	

注意 各項目のうち1項目でも、また一瞬でも絶対最大定格を越えると、製品の品質を損なう恐れがあります。つまり絶対最大定格とは、製品に物理的な損傷を与えかねない定格値です。必ずこの定格値を越えない状態で、製品をご使用ください。

推奨動作範囲 (TA = - 40 ~ + 85)

項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
電源電圧	V _{DD1}	全機能動作	4.5	5.0	5.5	V
	V _{DD2}	CPU動作, PLL停止時	3.5	5.0	5.5	V
データ保持電圧	V _{DDR}	水晶発振停止時	2.3		5.5	V
出力耐圧	V _{BDS}	P0C0-P0C3			12.0	V
電源電圧立ち上がり時間	t _{rise}	V _{DD} : 0 4.5 V			500	ms

DC特性 (TA = -40 ~ +85 , VDD = 5 V ± 10 %)

項目	略号	条件		MIN.	TYP.	MAX.	単位
電源電流	IDD1	CPU動作, PLL停止, XIN端子正弦波入力 (fIN = 4.5 MHz, VIN = VDD)			1.0	2.0	mA
	IDD2	CPU動作, PLL停止, XIN端子正弦波入力 (fIN = 4.5 MHz, VIN = VDD) HALT命令使用			0.5	1.0	mA
データ保持電圧	VDDR1	水晶発振時	タイマFFによる停電検出使用	3.5			V
	VDDR2	水晶発振停止時	タイマFFによる停電検出使用	2.3			V
	VDDR3		データ・メモリ保持	2.0			V
データ保持電流	IDDR1	水晶発振停止時	VDD = 5 V, TA = 25		2.0	4.0	μA
	IDDR2				2.0	20.0	μA
	IDDR3		VDD = 2.3 V, TA = 25		1.0	2.0	μA
	IDDR4		VDD = 2.3 V		1.0	10.0	μA
ハイ・レベル入力電圧	VIH1	P0A1, P0B0-P0B3, P1A0-P1A2, P1B0-P1B3, P1D0-P1D3		0.7 VDD		VDD	V
	VIH2	P0A0, P0A2, CE, INT		0.8 VDD		VDD	V
	VIH3	P0D0-P0D3		0.6 VDD		VDD	V
ロウ・レベル入力電圧	VIL1	P0A1, P0B0-P0B3, P0D0-P0D3, P1A0-P1A2, P1B0-P1B3, P1D0-P1D3				0.2 VDD	V
	VIL2	P0A0, P0A2, CE, INT				0.2 VDD	V
ハイ・レベル出力電流	IOH1	P0A0-P0A2, P0B0-P0B3, P1A0-P1A2, P1C0- P1C3, P1D0-P1D3 VOH = VDD - 1 V		- 1.0			mA
	IOH2	PYA0-PYA9, PYA11-PYA15, P2E0, P2F0, P2G0, P2H0, EO VOH = VDD - 1 V		- 1.0			mA
ロウ・レベル出力電流	IOL1	P0A0-P0A2, P0B0-P0B3, P1A0-P1A2, P1C0-P1C3, P1D0-P1D3 VOL = 1 V		1.0			mA
	IOL2	PYA0-PYA9, PYA11-PYA15, P2E0, P2F0, P2G0, P2H0, EO VOL = 1 V		1.0			mA
	IOL3	P0C0-P0C3 VOL = 1 V		10			mA
ハイ・レベル入力電流	IIH1	VCOH端子ブルダウン時	VIH = VDD	0.1			mA
	IIH2	VCOL端子ブルダウン時	VIH = VDD	0.1			mA
	IIH3	XIN端子ブルダウン時	VIH = VDD	0.1			mA
	IIH4	P0D0-P0D3ブルダウン時	VIH = VDD	10		150	μA
出力オフ・リーク電流	IL1	P0C0-P0C3 VOH = 12 V				1.0	μA
	IL2	EO VOH = VDD, VOL = 0 V				± 1.0	μA

AC特性 (TA = -40 ~ +85 , VDD = 5 V ± 10 %)

項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
動作周波数	f _{IN1}	VCOL端子 MFモード 正弦波入力 V _{IN} = 0.15 V _{p-p}	0.90		3.0	MHz
		VCOL端子 MFモード 正弦波入力 V _{IN} = 0.3 V _{p-p}	0.50		20	MHz
	f _{IN2}	VCOL端子 HFモード 正弦波入力 V _{IN} = 0.15 V _{p-p}	5		25	MHz
		VCOL端子 HFモード 正弦波入力 V _{IN} = 0.3 V _{p-p}	5		40	MHz
	f _{IN3}	VCOH端子 VHFモード 正弦波入力 V _{IN} = 0.15 V _{p-p}	60		130	MHz
		VCOH端子 VHFモード 正弦波入力 V _{IN} = 0.3 V _{p-p}	30		250	MHz
	f _{IN4}	AMIFC端子 AMIFカウント・モード 正弦波入力 V _{IN} = 0.3 V _{p-p}	0.3		1.0	MHz
	f _{IN5}	AMIFC端子 AMIFカウント・モード 正弦波入力 V _{IN} = 0.1 V _{p-p}	0.44		0.46	MHz
	f _{IN6}	FMIFC端子 FMIFカウント・モード 正弦波入力 V _{IN} = 0.3 V _{p-p}	5		15	MHz
	f _{IN7}	FMIFC端子 FMIFカウント・モード 正弦波入力 V _{IN} = 0.1 V _{p-p}	10.5		10.9	MHz

A/Dコンバータ特性 (TA = -40 ~ +85 , VDD = 5 V ± 10 %)

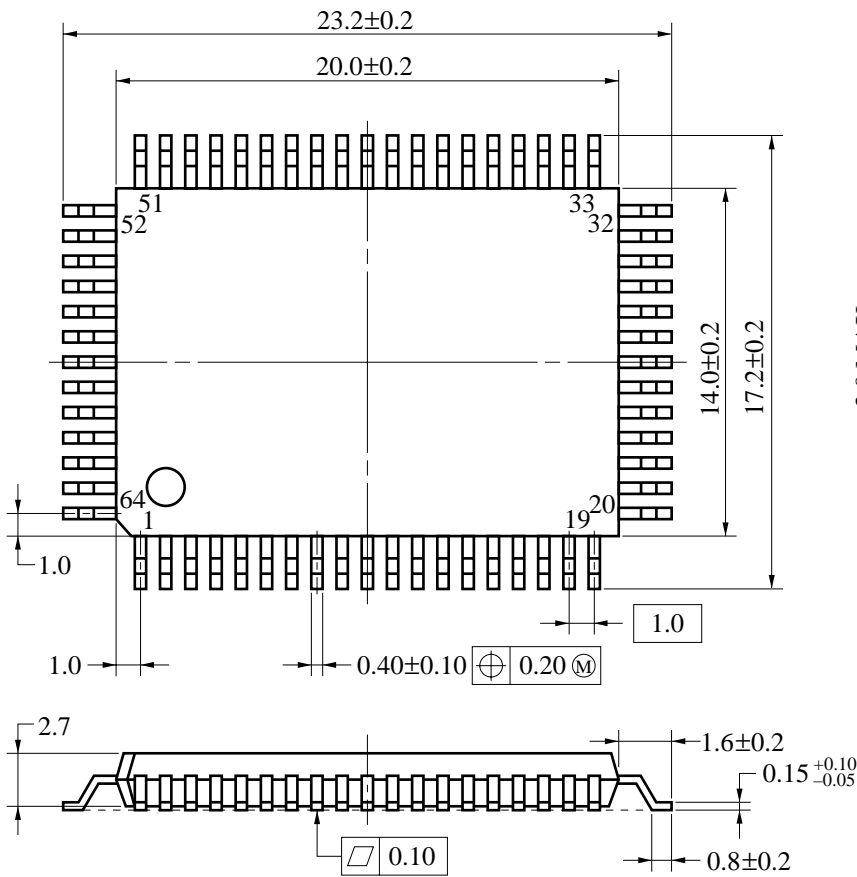
項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
A/D変換分解能					6	bit
A/D変換総合誤差		TA = -10 ~ +50		± 1.0	± 1.5	LSB

参考特性 (TA = +25 , VDD = 5.0 V)

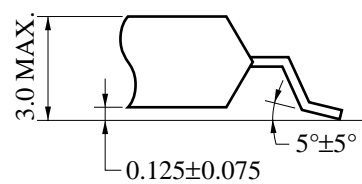
項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
電源電流	I _{DD3}	CPUおよびPLL動作, VCOH端子正弦波入力 (f _{IN} = 130 MHz, V _{IN} = 0.3 V _{p-p})		12		mA
	I _{DD4}	CPUおよびPLL動作, VCOH端子正弦波入力 (f _{IN} = 250 MHz, V _{IN} = 0.3 V _{p-p})		13		mA

11. 外形図

64ピン・プラスチック QFP (14×20) 外形図 (単位: mm)



端子先端形状詳細図



S64GF-100-3B8,3BE-3

12. 半田付け推奨条件

μ PD17012GF-058の半田付け実装は、次の推奨条件で実施してください。

半田付け推奨条件の詳細は、インフォメーション資料「半導体デバイス実装マニュアル」(C10535J)を参照してください。

なお、推奨条件以外の半田付け方式および半田付け条件については、当社販売員にご相談ください。

表12 - 1 表面実装タイプの半田付け条件

μ PD17012GF-058-3BE : 64ピン・プラスチックQFP (14 × 20 mm, 1.0 mmピッチ)

半田付け方式	半田付け条件	推奨条件記号
赤外線リフロ	パッケージ・ピーク温度：235℃，時間：30秒以内（210℃以上），回数：2回以内， 制限日数：7日間 ^注 （以降は125℃プリバーク20時間必要） 留意事項 耐熱トレイ以外（マガジン，テーピング，非耐熱トレイ）は，包装状態でのベーキングができません。	IR35-207-2
VPS	パッケージ・ピーク温度：215℃，時間：40秒以内（200℃以上），回数：2回以内， 制限日数：7日間 ^注 （以降は125℃プリバーク20時間必要） 留意事項 耐熱トレイ以外（マガジン，テーピング，非耐熱トレイ）は，包装状態でのベーキングができません。	VP15-207-2
ウエーブ・ソルダーリング	半田槽温度：260℃以下，時間：10秒以内，回数：1回， 予備加熱温度：120℃MAX.（パッケージ表面温度） 制限日数：7日間 ^注 （以降は125℃プリバーク20時間必要） 留意事項 耐熱トレイ以外（マガジン，テーピング，非耐熱トレイ）は，包装状態でのベーキングができません。	WS60-207-1
端子部分加熱	端子温度：300℃以下，時間：3秒以内（デバイスの一辺当たり）	-

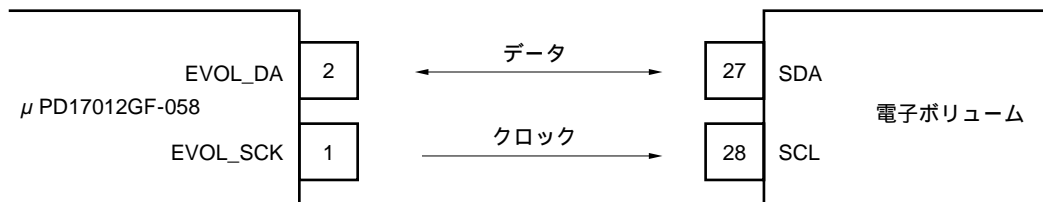
注 ドライパック開封後の保管日数で，保管条件は25℃，65 %RH以下。

注意 半田付け方式の併用は避けください（ただし，端子部分加熱方式は除く）。

付録 電子ボリュームICとの通信 (I²Cバス方式)

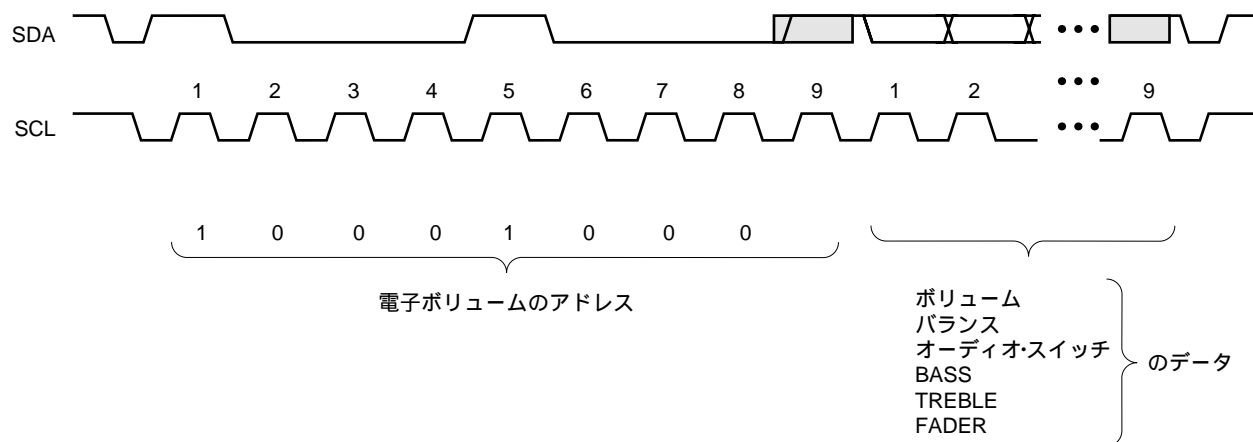
μ PD17012GF-058は電子ボリュームへ任意のボリューム、バランスなどのデータを送ります。
 電子ボリュームへのデータ出力には、データ・クロックの2本のデータ・バスが必要です。
 これらは μ PD17012GF-058のEVOL_DA端子 (2ピン) , EVOL_SCK端子 (1ピン) より出力します。

図付 - 1 端子接続 (電子ボリューム)



電子ボリュームのデータ構成は9ビット (データ : 8ビット + 確認信号 : 1ビット) です。
 電子ボリュームのアドレス (9ビット) + コントロール・データ (9ビット) の構成でN回続けて転送します。ただし、Nはボリューム、バランス等の送信するデータの個数です。

図付 - 2 データ転送フォーマット (電子ボリューム)



(メ 毛)

CMOSデバイスの一般的注意事項

静電気対策 (MOS全般)

注意 MOSデバイス取り扱いの際は静電気防止を心がけてください。

MOSデバイスは強い静電気によってゲート絶縁破壊を生じることがあります。運搬や保存の際には、NECが出荷梱包に使用している導電性のトレイやマガジン・ケース、または導電性の緩衝材、金属ケースなどを利用し、組み立て工程にはアースを施してください。プラスチック板上に放置したり、端子を触ったりしないでください。

また、MOSデバイスを実装したボードについても同様の扱いをしてください。

未使用入力の処理 (CMOS特有)

注意 CMOSデバイスの入力レベルは固定してください。

バイポーラやNMOSのデバイスと異なり、CMOSデバイスの入力に何も接続しない状態で動作させると、ノイズなどに起因する中間レベル入力が生じ、内部で貫通電流が流れて誤動作を引き起こす恐れがあります。プルアップかプルダウンによって入力レベルを固定してください。また、未使用端子が出力となる可能性 (タイミングは規定しません) を考慮すると、個別に抵抗を介してV_{DD}またはGNDに接続することが有効です。

資料中に「未使用端子の処理」について記載のある製品については、その内容を守ってください。

初期化以前の状態 (MOS全般)

注意 電源投入時、MOSデバイスの初期状態は不定です。

分子レベルのイオン注入量等で特性が決定するため、初期状態は製造工程の管理外です。電源投入時の端子の出力状態や入出力設定、レジスタ内容などは保証しておりません。ただし、リセット動作やモード設定で定義している項目については、これらの動作ののちに保証の対象となります。

リセット機能を持つデバイスの電源投入後は、まずリセット動作を実行してください。

注意：本製品はFPCバス・インタフェース回路を内蔵しています。

FPCバス・インタフェースを使用される場合には、カスタム・コードをご発注いただく時に、事前にその旨ご申告下さい。申告に基づき、以下の特典が受けられます。

日本電気株式会社のFPCバス対応部品をご購入いただくことにより、これらの部品をFPCシステムに使用する実施権がフィリップス社FPC特許に基づき許諾されることとなります。ただし、これらのFPCシステムはフィリップス社によって設定されたFPC標準規格に合致しているものとします。

Purchase of NEC FPC components conveys a license under the Philips FPC Patent Rights to use these components in an FPC system, provided that the system conforms to the FPC Standard Specification as defined by Philips.

本資料に掲載の応用回路および回路定数は、例示的に示したものであり、量産設計を対象とするものではありません。

- 本資料は、この製品の企画段階で作成していますので、予告なしに内容を変更することがあります。また本資料で扱う製品の製品化を中止することがあります。
- 文書による当社の承諾なしに本資料の転載複製を禁じます。
- 本資料に記載された製品の使用もしくは本資料に記載の情報の使用に際して、当社は当社もしくは第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。上記使用に起因する第三者所有の権利にかかわる問題が発生した場合、当社はその責を負うものではありませんのでご了承ください。
- 本資料に記載された回路、ソフトウェア、及びこれらに付随する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するためのものです。従って、これら回路・ソフトウェア・情報をお客様の機器に使用される場合には、お客様の責任において機器設計をしてください。これらの使用に起因するお客様もしくは第三者の損害に対して、当社は一切その責を負いません。
- 当社は品質、信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生します。当社半導体製品の故障により結果として、人身事故、火災事故、社会的な損害等を生じさせない冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等安全設計に十分ご注意願います。
- 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「特別水準」およびお客様に品質保証プログラムを指定して頂く「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認の上ご使用願います。

標準水準：コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット

特別水準：輸送機器（自動車、列車、船舶等）、交通用信号機器、防災／防犯装置、各種安全装置、生命維持を直接の目的としない医療機器

特定水準：航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器、生命維持のための装置またはシステム等

当社製品のデータ・シート／データ・ブック等の資料で、特に品質水準の表示がない場合は標準水準製品であることを表します。当社製品を上記の「標準水準」の用途以外でご使用をお考えのお客様は、必ず事前に当社販売窓口までご相談頂きますようお願い致します。

M5 98.8

— お問い合わせ先 —

【技術的なお問い合わせ先】

NEC半導体テクニカルホットライン
(電話：午前 9:00～12:00、午後 1:00～5:00)

電話 : 044-435-9494
FAX : 044-435-9608
E-mail : s-info@saed.tmg.nec.co.jp

【営業関係お問い合わせ先】

第一販売事業部

東京 (03)3798-6106, 6107,
6108

名古屋 (052)222-2375

大阪 (06)6945-3178, 3200,
3208, 3212

仙台 (022)267-8740

郡山 (024)923-5591

千葉 (043)238-8116

第二販売事業部

東京 (03)3798-6110, 6111,
6112

立川 (042)526-5981, 6167

松本 (0263)35-1662

静岡 (054)254-4794

金沢 (076)232-7303

松山 (089)945-4149

第三販売事業部

東京 (03)3798-6151, 6155, 6586,
1622, 1623, 6156

水戸 (029)226-1702

広島 (082)242-5504

高崎 (027)326-1303

鳥取 (0857)27-5313

太田 (0276)46-4014

名古屋 (052)222-2170, 2190

福岡 (092)261-2806

【資料の請求先】

上記営業関係お問い合わせ先またはNEC特約店へお申しつけください。

【インターネット電子デバイス・ニュース】

NECエレクトロニクスデバイスの情報がインターネットでご覧になれます。

URL(アドレス)

<http://www.ic.nec.co.jp/>